

LM-550W2・LM-500W2・LM-500F2

取扱説明書

LETATWIN



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
 - この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
 - 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
 - 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
 - 本体画面右上のQRコード・以下に示すURL又はQRコードより最新モデル・消耗品・オプション品・取扱説明書等を閲覧できます。
<https://wis.max-ltd.co.jp/op/letatwin/>
- ※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



はじめに

1-1	安全上のご注意.....	2
1-2	使用上のご注意.....	5

はじめに

1-1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよく読み、本機を正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■表示について

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性および物的損害のみの発生、また、作成したデータが消失する可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示について

 <p>「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。</p>	 <p>「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。</p>	 <p>「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な指示内容です。</p>
--	--	--

お願い

本機が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。



説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。


警告

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない

故障や火災、感電、けがの原因になります。

- 電源コードは必ず付属のものを使用する

火災や感電の原因になります。

- 電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない

火災の原因になります。

- 電源コードを加工しない

火災や感電の原因になります。

- 電源コードの上に重いものを絶対にのせない
- コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。

- 電源コードは、束ねたまま使用しない

発熱により、火災や故障の原因になります。必ずほどいてご使用ください。

- 傷がついたり傷んだりした電源コードやケーブルは使わない

故障や火災、感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
- 感電の原因になります。

- 濡れた手、衣服のまま本機の操作をしない
- 感電の原因になります。

- コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない
- 火災や故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く
- コードが破損して火災や感電の原因になります。

- 水、薬品などが本機にかからないようにする
- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、故障や火災、感電の原因になります。



- 故障のまま本機を使わない

煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災や感電の原因になります。

すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



- 本機は絶対に分解または改造しない
- 火災や感電、故障の原因になります。

- 電源は100Vのコンセントを使用する

100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。



- 電源プラグは定期的に清掃する

長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。

電池の取り扱いについて

液漏れや発火、破裂の原因になり、けがややけどをするおそれがありますので以下のことを必ず守ってください。



- 電池の分解、加熱、ショートなどは絶対しない

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない



- 電池の＋－の向きを正しくセットする

- 長期間使用しないときは、電池を取り出して保管する

- 電池はeneloopスタンダードモデル (BK-3MCC) のみ使用できます。

⚠ 注意

- 本機は必ず水平に設置する。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない
台から落ちて、けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態では使用しない
動作が不安定になったり、故障の原因になります。
- 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しない
電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。
- USB、電源コネクタには直接手で触れない
静電気により故障の原因となることがあります。

- パソコンや本体メモリ、USBメモリに保存した内容は永久的な保存はできません
故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く
- 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う
電源プラグをコンセントに差したまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電の原因になります。

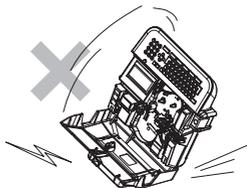
- プリントヘッドには絶対にさわらない
印刷直後のプリントヘッドは高温になっており、やけどをするおそれがあります。また、手の汚れがプリントヘッドの故障の原因になることがあります。
- フルカット刃、ハーフカット刃には絶対にさわらない
けがをするおそれがあります。
- チューブウォーマーのチューブ出入口には絶対にさわらない
やけどをするおそれがあります。

- 本機内部にチューブ、テープ、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除く
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- ハーフカット（刃）の交換時には、必ず電源を切る
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- USBメモリの装着脱時には、必ず電源を切る
電源が入ったまま装着脱するとデータ消失や故障の原因になります。

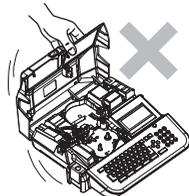
1-2 使用上のご注意

本機の故障、トラブルを未然に防ぐため、下記の事項を必ずお守りください。

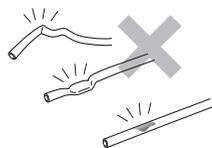
- 本機とACアダプタは精密機械です。落としたり、衝撃を与えたり、お取扱いにはご注意ください。



- カセットカバーをつかんで持ち上げないでください。部品が破損し機械が落下することがあります。



- チューブ印字の際は、チューブの曲がりグセ、ツブした物、ヨゴレのひどい物は、使用できません。特に、チューブに付着した硬いゴミ等はプリンターヘッドの故障の原因になります。



- テープチューブ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。印字中にテープチューブはひっぱらないでください。



- 本体の電源キーを入れたまま、または電源キーを切った直後に、電源ケーブルを引き抜かないでください。設定やメモリ内容の消去といった誤動作や故障の原因となるおそれがあります。LCD画面の表示が消えてから電源コードを抜いてください。

- LCD画面を強く押さないでください。割れることがあります。

- 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や薬品を使わないでください。機械が変形したり、変色する原因になります。

- 寒い屋外から暖房の効いた室内に持ち込んだ時など、急激な温度変化により本体内部が結露することがあります。この時は室内に30分以上放置して霜が取れたことを確かめてからご使用ください。

- トラブルの原因になりますので次の様な場所では使用、保管をしないでください。
 - ①直射日光の当たる場所や、ヒーター等の熱源に近い場所
 - ②ほこりや湿気の多い場所
 - ③振動や衝撃の加わる場所
 - ④LM-500F2：温度が15℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
LM-550W2、LM-500W2：温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
 - ・本機を高温（35℃以上）環境に放置するとLCD画面が黒くなり、文字が見えにくくなる場合があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
 - ・本機を低温（5℃以下）環境に放置するとLCD画面の表示が薄くなり、見えにくくなる場合があります。機械使用温度範囲内でご使用ください。
 - ⑤温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。

- 保管、輸送する時は、ご購入時の専用キャリングケースまたは包装箱をご使用ください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 快適にご使用いただくために消耗品は、マックス純正品をお奨めします。



■市販消耗品について (2020年11月現在)

以下の市販消耗品で動作確認 (25℃環境) を行っています。

ただし、正常な印字・動作を保証するものではありません。特にチューブについては、温度環境、チューブの硬さ、表面状態で印字品質が変わります。お客様にて印字確認の上、ご使用ください。

<チューブ> φ6.5を超えるチューブはハーフカットできません。

メーカー	品名	型番・サイズ (肉厚)
横山化成 (株)	YK チューブ (白色)	φ 3.2 YK3204W1 (0.4 mm)
北港化成 (株)	HKI チューブ (白色)	φ 3.2 (0.4mm)
三平化学工業 (株)	三平チューブ	φ 2.5 (0.4mm)
スズデン (株)	Ubon チューブ (白色)	φ 3.2 UT-N3.2W (0.45mm)
CTK	ホットマーカ専用チューブ (白色)	φ 3.2 3204-200 (0.4mm)
セフティデンキ (株)	ピタットチューブ (白色)	φ 3.2 PT3.2-1-200 (0.4mm)

<収縮チューブ>

メーカー	品名	収縮前サイズ
住友電工ファインポリマー (株)	スミチューブ (黒色)	φ 2.0 SMT-F1.5-10M φ 3.5 SMT-F3-10M
バンドウィットコーポレーション	HSTT チューブ (白色)	φ 3.2 HSTT12-48-Q10

<記名板(PVC製/0.5mm厚)>

メーカー	品番	サイズ
CTK	MP-80-25	8.0mm
WAGO	709-196JW-PK	10.7mm
東洋技研	AP-12	12.0mm

もくじ

はじめに	2
1-1 安全上のご注意 (必ずお守りください)	2
1-2 使用上のご注意	5
もくじ	8
第1章 お使いになる前に	13
1-1 同梱品の確認	14
1-2 各部の名称	15
1-3 キーの名称と役割	16
1-4 画面の見かた	19
1-5 「ブロック」と「ピッチ長 / ピッチ印刷」	20
1-6 印字領域	21
1-7 AC アダプタを接続する	22
1-8 充電式電池で使用する	22
1-9 PC エディタのダウンロード	23
第2章 消耗品のセットのしかた	25
2-1 インクリボンカセットのセットのしかた	26
2-2 チューブのセットのしかた	27
2-2-1 チューブをセットする	27
2-2-2 細径チューブをセットする	29
2-2-3 太径チューブをセットする	30
2-2-4 グリップチューブをセットする	31
2-3 テープカセットのセットのしかた	32
2-4 記名板のセットのしかた	34
2-5 デバイスラベルのセットのしかた	36
2-6 ハーフカッタの交換のしかた	38
2-7 USB メモリのセットのしかた	39

第3章 基本操作	41
3-1 チューブに印刷する	42
3-2 テープに印刷する	45
3-3 記名板に印刷する	51
3-4 デバイスラベルに印刷する	54
第4章 文字や記号を入力する	57
4-1 英数字を入力する	58
4-2 ローマ字を入力する	59
4-3 かな入力（かなめくり方式）をする	60
4-4 漢字に変換する	62
4-4-1 熟語変換する	62
4-4-2 単漢字変換する	63
4-5 カタカナ変換する	64
4-6 JIS コード入力をする	66
4-7 記号入力をする	67
4-8 文字を複写・貼付する	68
4-9 入力補助機能	68
第5章 文字を削除する、操作を取り消す、設定を初期化する	69
5-1 削除キーで文字を削除する	70
5-2 BS キーで文字を削除する	71
5-3 取消キーで操作を取り消す	72
5-4 入力した文字を全文削除する	72
5-5 設定を初期化する	73

第6章 機能を使いこなす	75
6-1 文字高さを変える・オート機能	76
6-2 文字幅を変える	78
6-3 文字間隔や行間隔を変える	79
6-4 文字を枠で囲む	80
6-5 連続印刷回数を設定する	81
6-6 アンダーラインを設定する	82
6-7 連番を設定する	83
6-8 ピッチ印刷を設定する	84
6-8-1 ピッチ長を設定する	84
6-8-2 ピッチ印刷時のピッチカット方法を変える	87
6-8-3 縦書き・横書きを設定する	88
6-9 反転印刷する	89
6-10 オプションキーで設定できること	90
6-10-1 チューブウォーマーを使う	90
6-10-2 書体を選択する	92
6-10-3 印字濃度を調整する	94
6-10-4 低温時の印刷モード	95
6-10-5 先頭空送りする・しないを設定する	96
6-10-6 「6、9」の印字を変える	97
6-10-7 上下印字位置を調整する	98
6-10-8 ハーフカット位置を調整する	99
6-10-9 オートオフ機能を設定する	100
6-10-10 ピッチ長の初期値を設定する	101
6-10-11 連続印刷回数の初期値を設定する	102
6-10-12 文字配置を変える	103
6-10-13 連番を連続印刷する際の順序を設定する	104
6-10-14 画面表示濃度を調整する	105
6-10-15 LCDバックライトの明るさを変える	106

6-10-16	印刷の基本設定を登録する	107
6-10-17	ピリオドを一括で付加する	109
6-10-18	ラベル先端送り量	110
6-11	メモリに保存する / 呼び出す / 削除する	111
6-11-1	本体メモリに文書を保存する	111
6-11-2	本体メモリから文書を呼び出す	112
6-11-3	本体メモリから選択した文書を削除する	113
6-11-4	本体メモリからすべての文書を削除する	114
6-11-5	USBメモリに文書を保存する	115
6-11-6	USBメモリから文書を読み込む	117
6-11-7	USBメモリのファイルを削除する	118
6-12	よく使う語句を登録する / 呼び出す	119
6-12-1	語句を登録する	119
6-12-2	登録した語句を呼び出す	120
6-12-3	登録した語句を削除する	121
6-12-4	登録した語句をすべて削除（初期化）する	121
第7章	印刷オプションを設定する	123
7-1	印刷イメージを確認する	124
7-2	印刷範囲（部数、開始 / 終了ブロック）を指定する	125
7-3	180°回転印刷をする	126
7-4	印刷物全体の長さを補正する	127
7-5	ピッチ印刷ではない印刷方法（印字長モード）	128
第8章	パソコンで作成したデータを活用する	131
8-1	パソコンで作成したデータの活用方法	132
8-2	表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む	133

第 9 章	お手入れのしかた	135
9-1	プラテンローラをクリーニングする	136
9-2	プリンタヘッドをクリーニングする	137
第 10 章	トラブルシューティング	139
10-1	エラーメッセージ一覧	140
10-2	こんなときは	144
付 録	147
付録-1	消耗品・オプション品一覧	148
付録-2	製品仕様	150
付録-3	ローマ字入力規則表	151
付録-4	JIS コード一覧表	152
付録-5	記号類一覧表	179

第 1 章 お使いになる前に

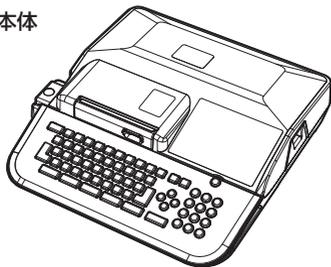
1-1 同梱品の確認.....	14
1-2 各部の名称.....	15
1-3 キーの名称と役割.....	16
1-4 画面の見かた.....	19
1-5 「ブロック」と「ピッチ長/ピッチ印刷」.....	20
1-6 印字領域.....	21
1-7 ACアダプタを接続する.....	22
1-8 充電式電池で使用する.....	22
1-9 PCエディタのダウンロード.....	23

第1章 お使いになる前に

1-1 同梱品の確認 (LM-550W2・LM-500W2・LM-500F2)

以下の同梱品が揃っているか、ご確認ください。

本体

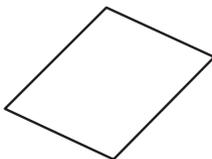


キャリングケース

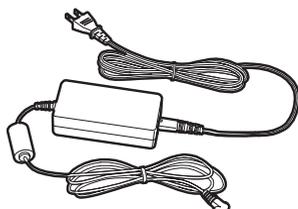
LM-550W2・LM-500W2に付属



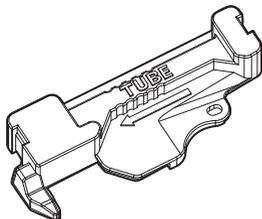
取扱説明書、保証書(本書)



お客様登録用紙



ACアダプタ



細径チューブ用アタッチメント

※φ1.5、φ2.0塩ビチューブ
φ2.9、φ3.7マックスグリップチューブに使用

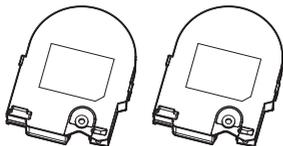


ハーフカッタ(キイロ)

※本機にセットされています。



インクリボン
(LM-IR500B黒)



記名板用アタッチメント
(LM-550W2のみ)

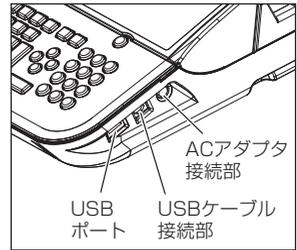
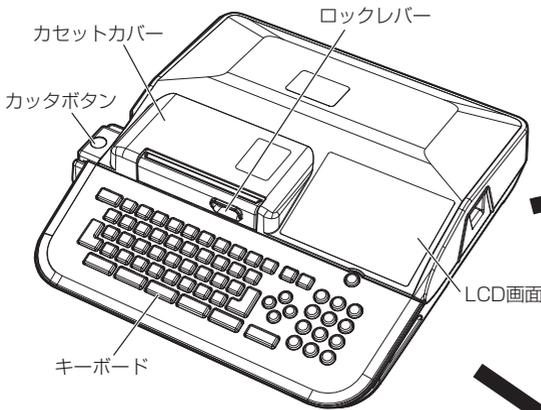
8.0/8.5/9.5/10.0用
10.7/12.0用



リングアタッチメント

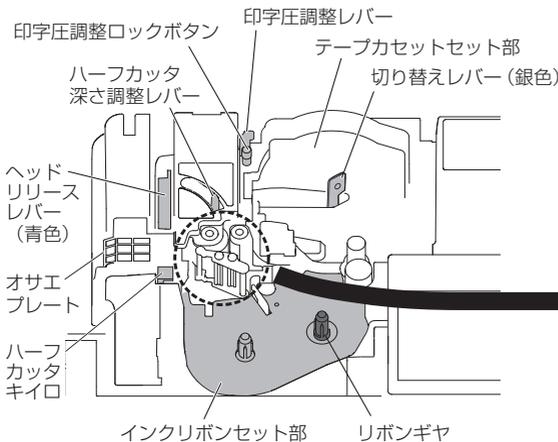
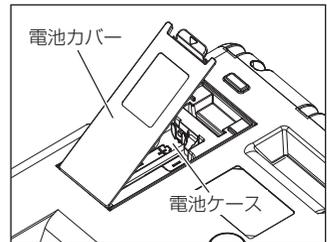
※φ8チューブ、φ2.9、φ3.7マックスグリップチューブ
記名板(LM-550W2のみ)を印刷するときに使います。
※LM-550W2・LM-500W2では、キャリングケース内の
細径チューブアタッチメントの下に収納されています。

1-2 各部の名称



USBケーブル接続部は
LM-550W2、LM-500W2のみ

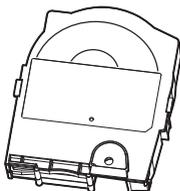
〈電池ケース（本体裏側）〉



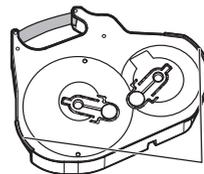
〈プリンタヘッド部拡大図〉



●テープカセット

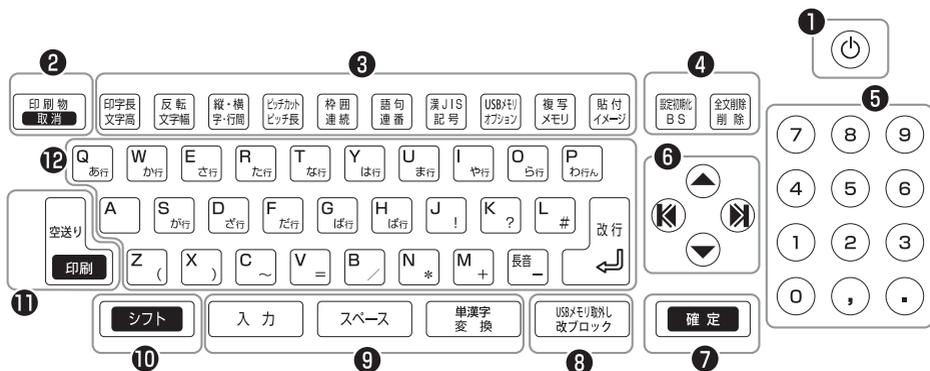


●インクリボンカセット



取り外しツメ

1-3 キーの名称と役割



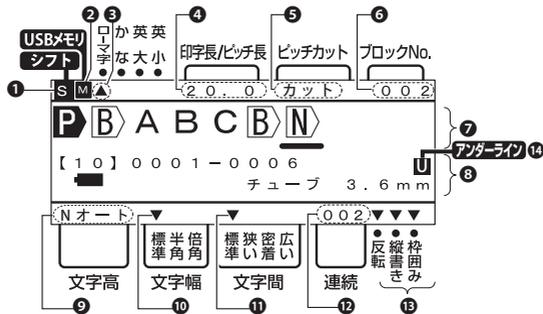
①	電源		電源を ON/OFF します。	P.42
②	取り消し		設定途中の操作や文字の変換を取消します。	P.72
	印刷物	+	チューブ・テープなど印刷物の種類とサイズを設定・変更します。	P.42
③	文字高さ		文字の高さを設定・変更します。	P.76
	印字長	+	デバイスラベル用のテープ印字等であらかじめ印字長を指定します。	P.128
	文字幅		文字の幅を設定・変更します。	P.78
	反転	+	カーソルのあるブロックの反転印刷（白抜き文字）を設定します。	P.89
	文字間隔・行間隔		入力中のファイル全体に関わる文字と文字の間隔、行間隔を設定・変更します。	P.79
	縦・横	+	縦書きを設定します。チューブとテープ・記名板の場合では印刷結果が異なります。	P.88
	ピッチ長		カーソルをあわせたブロックマーク以降のピッチ長を設定・変更します。	P.84
ピッチカット	+	ピッチ印刷時のブロック間の処理（-halfカット、実線、点線、なし）を設定・変更します。	P.87	

3	連続		カーソルのあるブロックの連続印刷回数を設定・変更します。 アンダーラインの設定を行います。	P.81
	枠囲み	+	印字全体の枠囲みを設定します。	P.80
	連番		カーソルのあるブロックに連番を設定します。	P.83
	語句	+	よく使う語句を登録／呼出します。	P.119
	記号		記号を一覧から選択して入力します。	P.67
	漢 JIS	+	JIS コード（本書巻末に収録）を入力して、漢字やギリシャ文字などを入力します。	P.66
	オプション		以下の機能は、このキーを押して表示されるメニューから選択して設定します。 ・PC ダイレクト印刷：専用 PC ソフトからの直接印刷機能を有効にします。 ・PC ファイル転送：専用 PC ソフトからのデータ転送機能を有効にします。 ・チューブウォーマー：チューブウォーマー機能を有効にします。（LM-550W2・LM-500W2 のみ） ・各種設定：印刷フォント、印字濃度、低速モード、先頭空送り、6/9 印字、上下印字位置、カット位置、オートオフ、ピッチ長初期値、連続初期値、文字配置、連番印刷順序、表示濃度、LCD バックライト、基本設定登録、ピリオド付加、ラベル先端送り量	P.90
	USB メモリ	+	本機にセットした USB メモリ（外部メモリ）へのデータの書出／読込などを行ないます。	P.115
	メモリ		本体内部メモリへのデータの登録／呼出などを行ないます。	P.111
	イメージ		現在入力しているファイルの印刷イメージを表示します。	P.124
4	複写	+	カーソルのあるブロックを複写（コピー）します。	P.68
	貼付	+	直前に複写したブロックを、カーソル位置に貼り付けます。	P.68
	BS（バックスペース）		入力画面などでカーソルの 1 文字前を削除します。	P.71
	削除		入力画面などでカーソルの 1 文字後を削除します。 設定画面では選択値を初期化します。	P.70
	設定初期化	+	入力中の設定をすべてクリアし、入力初期状態にします。 入力中の文字や記号がある場合は、初期化できません。 全文削除後に操作します。	P.73
	全文削除	+	先頭の P 以外の入力中データをすべてクリアします。	P.72

5	テンキー		数字やカンマ、ピリオドを入力します。	P.58
6	カーソルキー		カーソルの移動、選択項目を切り替えます。	P.42
	ジャンプ		入力中のデータの文頭（文末）にカーソルを移動します。	P.42
7	確定		設定画面で選択した項目・数値の確定を行います。	P.42
8	改ブロック		改ブロックします（次のブロックに移ります）。	P.43
	USBメモリ取外し		USBメモリを本機から取り外すときに押します。USBメモリへのアクセスを中止し、安全に本機から取外しができます。	P.39
9	変換		入力中の文字を漢字変換します。	P.62
	単漢字		入力中の文字を単漢字変換します。漢字変換ですぐに変換したい文字が出ないときなどに使います。	P.63
	スペース		空白（スペース）を入力します。	—
	入力		入力モード（ローマ字、かな、英数大文字、英数小文字）を切替えます。キーを押すと表示部のインジケータが変わります。	P.58
	入力補助		1つ前のブロックで入力した内容呼び出します。	P.68
10	シフト		各機能キーにオレンジ色で表示されている機能を使うときに押します。 を押しながら、または押してから各機能キーを押します。	P.50
11	印刷		入力した文書（データ）を印刷します。	P.44
	空送り		本機にセットしたチューブやテープ・記名板を一定量空送りします。	—
12	文字キー		文字を入力します。かな入力モード時は、かなが表示されているキーのみが有効です。	—
	改行		カーソル位置で改行します。	P.46

1-4 画面の見かた

基本入力画面の表示の意味は、下図の通りです。



①	シフトインジケータ	<input type="checkbox"/> シフト	を1度押すと点灯します。再度押すか、他のキーを押すと消えます。
②	USBメモリインジケータ	<input type="checkbox"/> USBメモリ 使用/印刷 変更/ロック	USBメモリが本機にセットされ使用可能な状態を示します。 を押すと消えます。
③	入力モードインジケータ	<input type="checkbox"/> 入力	現在の文字の入力モードを表示しています。 <input type="checkbox"/> を押すと切り替わります。
④	印字長 / ピッチ長	2.0...0	設定されている印字長またはピッチ長が表示されます。
⑤	ピッチカット	カット	現在のピッチカット設定が表示されます。
⑥	ブロック No.	0.0.2	カーソルのあるブロックが先頭から何番目のブロックが表示します。
⑦	入力エリア		文字や編集マークを入力するエリアです。
⑧	状態表示 (1)		設定状態を表示するエリアです。 上段：連番設定がある場合、連番の設定状態を表示します。 下段：設定されている印刷物が表示されます。 漢字入力時は「よみ」が表示されます。 電池使用時、電池残量が表示されます。
⑨	文字高さインジケータ	N オート	カーソルのある行の文字高さの設定値が表示されます。 「オート」は自動設定です。
⑩	文字幅インジケータ	標準 半倍 角角	カーソルのある行の文字幅の設定値が表示されます。
⑪	文字間隔インジケータ	標準 狭密 広着い	文字間隔の設定値が表示されます。
⑫	連続印刷インジケータ	0.0.2	カーソルのあるブロックの連続印刷設定値を表示します。
⑬	状態表示 (2)	<input type="checkbox"/> 反転 <input type="checkbox"/> 縦書き <input type="checkbox"/> 枠囲み	枠囲み、縦書き、反転の設定を表示します。設定されている場合に点灯します。
⑭	アンダーラインインジケータ	<input type="checkbox"/> アンダーライン	アンダーラインが設定されていることを示しています。
P	ピッチマーク		ピッチ長モードであることを示しています。
B	ブロックマーク		ブロックの先頭を示しています。
↵	改行マーク		改行されていることを示しています。
N	連番マーク		連番が設定されていることを示しています。

1-5 「ブロック」と「ピッチ長 / ピッチ印刷」

本機をご使用になるうえで重要となる、「ブロック」と「ピッチ長/ピッチ印刷」について説明します。

■ブロック

1個のチューブ、1枚のラベルに印刷する文字のかたまりを「ブロック」といい、 を押すと新たに **B** (ブロックマーク) が表示され、次のブロックに移ります。入力可能なブロック数は最大999ブロックです。

■ピッチ長

1ブロックの長さを「ピッチ長」といい、ピッチ長が変わるごとに **P** (ピッチマーク) が表示されます。

■ピッチ印刷

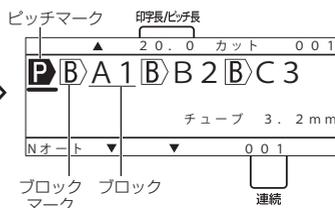
ピッチ長を設定した印刷を「ピッチ印刷」といい、設定したピッチ長に各ブロックを割り当てて連続印刷します。先頭に必ず **P** (ピッチマーク) が表示されます。



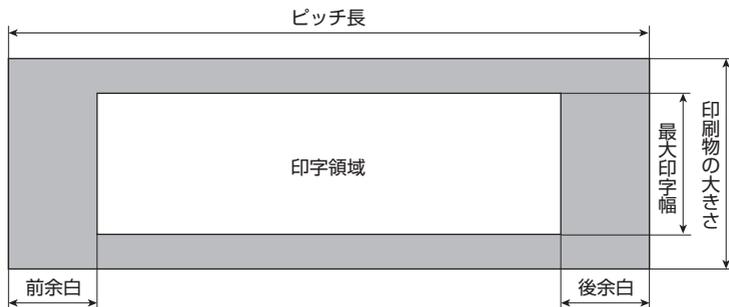
印刷イメージ



画面表示



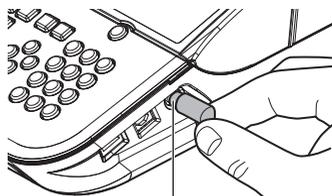
1-6 印字領域



印刷物	サイズ	前後余白	最大印字幅	印刷可能な複数行数と設定条件 ※記載の設定条件以下であれば各行数で印字可能です
チューブ	φ 1.5、φ 2.0	各 2mm	1.3mm	×
	φ 2.5、φ 2.7		3.0mm	2行：文字高さ 1.3mm・行間 狭い
	φ 3.2、φ 3.4、φ 3.6		3.9mm	2行：文字高さ 2.0mm・行間 密着
	φ 4.2		4.0mm	2行：文字高さ 2.0mm・行間 密着
	φ 5.2、φ 5.5、φ 6.0 φ 6.4、φ 6.5、φ 8.0		4.6mm	2行：文字高さ 2.0mm・行間 標準 3行：文字高さ 1.3mm・行間 狭い
グリップ チューブ	φ 2.9	各 2mm	3.0mm	2行：文字高さ 1.3mm・行間 狭い
	φ 3.7		3.9mm	2行：文字高さ 2.0mm・行間 密着
テープ	5mm	各 1mm	3.0mm	2行：文字高さ 1.3mm・行間 狭い
	9mm、12mm		7.4mm	2行：文字高さ 3.0mm・行間 広い 3行：文字高さ 2.4mm・行間 狭い 4行：文字高さ 1.3mm・行間 標準
記名板	8mm	各 0.5mm	6.5mm	2行：文字高さ 3.0mm・行間 標準 3行：文字高さ 2.0mm・行間 狭い 4行：文字高さ 1.3mm・行間 狭い
	8.5mm		6.9mm	2行：文字高さ 3.0mm・行間 広い 3行：文字高さ 2.0mm・行間 標準 4行：文字高さ 1.3mm・行間 標準
	9.5mm、10.0mm、 10.7mm、12.0mm		7.4mm	2行：文字高さ 3.0mm・行間 広い 3行：文字高さ 2.4mm・行間 狭い 4行：文字高さ 1.3mm・行間 標準
ラベル	6×17mm、6×20mm、 6×23mm	各 3mm	4.0mm	2行：文字高さ 2.0mm・行間 狭い 3行：文字高さ 1.3mm・行間 密着

1-7 ACアダプタを接続する

- 1 ACアダプタのジャックを本体右側の接続部にしっかりと差し込みます。
- 2 ACアダプタの電源プラグをコンセント (AC100V) に差し込みます。

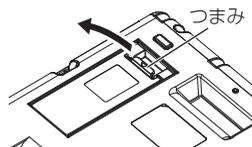


ACアダプタ接続部

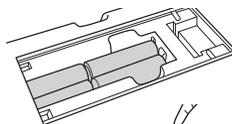
1-8 充電式電池 (eneloop/ エネループ) で使用する

電池で使用する場合、充電式ニッケル水素電池「eneloop スタANDARDモデル単3形 (BK-3MCC) ×4本：別売」のみ使用できます。電源の取れない現場でも作業ができ便利です。電池使用時は画面に  マークが表示されます。

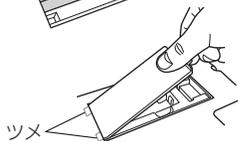
- 1 本体底面の電池カバーをはずします。
つまみを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。



- 2 + - の向きに注意して電池を入れます。
電池は必ず充電式ニッケル水素電池「eneloop STANDARDモデル単3形 (BK-3MCC) ×4本：別売」をご使用ください。



- 3 電池カバーのツメを本体底面のミゾに合わせ、しっかりとはめます。



ご注意

- 充電電池は、必ず市販のパナソニック株式会社製 eneloop (エネループ) STANDARDモデル単3形 (BK-3MCC) ×4本をご使用ください。その他の電池・充電電池を使用しますと、本機の本来の性能を発揮できず、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 本機に電池は付属していません。上記電池を別途ご購入ください。
- 本機に電池の充電機能はありません。電池の充電には必ず専用の充電器をご使用ください。
- 電池のセット・交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 満充電の状態で500個程度のチューブが作成できます。
- 電池使用時はチューブオーマーマーは使用できません。
- 低温下 (おおむね 15°C以下) では、電池の性能が低下し正常に動作できない場合がありますので、必ずACアダプタで使用してください。

※「eneloop」はパナソニックグループの登録商標です。

1-9 PC エディタのダウンロード (550W2・500W2のみ)

PCエディタを使用して、PCで印刷データの作成や印刷を行うことができます。
ログインページより「新規購入の登録」又は「利用者登録」を行っていただき、所定のページよりインストール方法をご確認の上、「PCエディタ」、「プリンタドライバ」をダウンロード、インストールを行ってください。

以下に示すURLより、無償でダウンロードすることができます。

<https://wis.max-ltd.co.jp/register/member/login.html>

※プリンタドライバのインストールには別途USBケーブルが必要です。

対応OS:Windows 10 / 8.1 (2021年5月現在)

※最新の情報はダウンロードページよりご参照ください。

第2章 消耗品のセットのしかた

2-1	インクリボンカセットのセットのしかた	26
2-2	チューブのセットのしかた.....	27
2-2-1	チューブをセットする.....	27
2-2-2	細径チューブをセットする.....	29
2-2-3	太径チューブをセットする.....	30
2-2-4	グリップチューブをセットする	31
2-3	テープカセットのセットのしかた.....	32
2-4	記名板のセットのしかた.....	34
2-5	デバイスラベルのセットのしかた.....	36
2-6	ハーフカッタの交換のしかた.....	38
2-7	USBメモリのセットのしかた.....	39

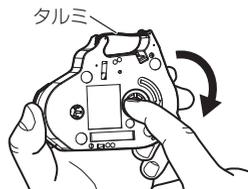
第2章 消耗品のセットのしかた

2-1 インクリボンカセットのセットのしかた

1 インクリボンカセットを用意します。

インクリボンがたるんでいるときは、裏面側の黒色の巻き取りコアを回転させタルミを取ります。

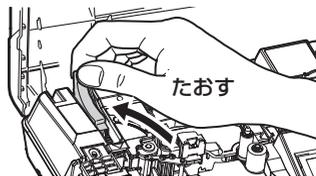
印刷開始時「インクリボンなし」と表示されるときは、緑色のコアが動くまで巻き取りコアを回転させてタルミを取ってください。



2 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。

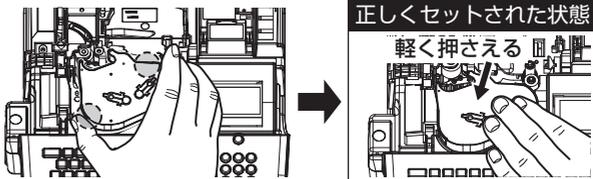


3 青色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。

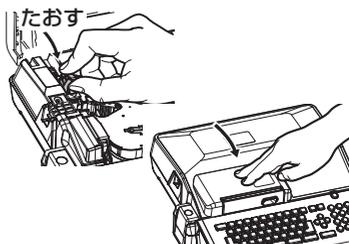


4 図のようにインクリボンカセットの2つのツメを持ち、本体にセットします。

浮き防止のため上から軽く押さえます。



5 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



6 カセットカバーをしっかりと閉じます。

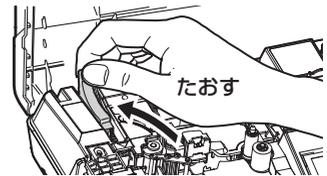
2-2 チューブのセットのしかた

2-2-1 チューブをセットする

- 1 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。

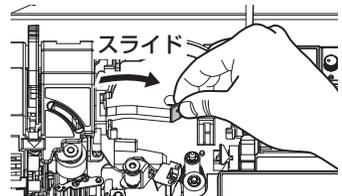


- 2 青色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



- 3 銀色の切り替えレバーを右端までスライドします。

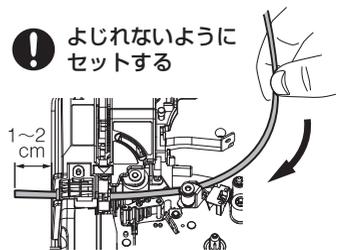
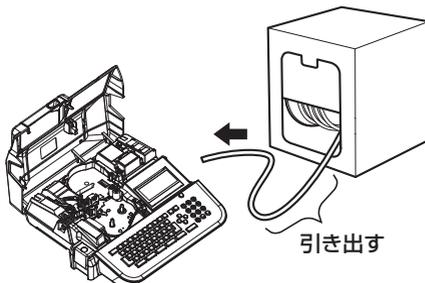
※細径(φ1.5、φ2.0)、太径(φ8.0)チューブをご使用になる場合は、専用のアタッチメントを使用します。



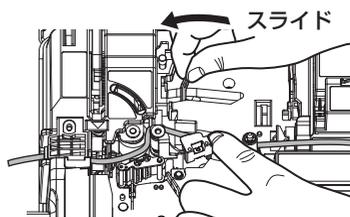
→ 29, 30 ページ

- 4 チューブを必要な長さ引き出した上で巻きグセに注意しながらオサエプレートの下に通し、先端を本体より1~2cm出します。

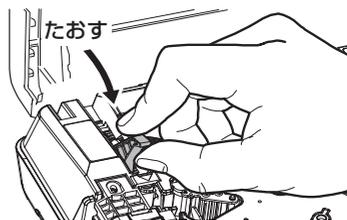
チューブがよじれた場合には再度セットし直してください。



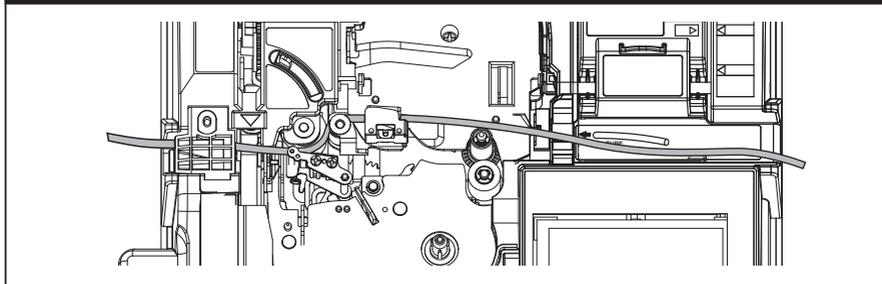
- 5 チューブが浮かないように、指で軽く押さえながら、チューブ先端を軽く引っ張り、途中のたるみを取りのぞいてから銀色の切り替えレバーを左端までスライドさせます。



- 6 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



正しくチューブがセットされた状態



- 7 カセットカバーをしっかりと閉じます。



<チューブ印刷時、チューブが汚れる場合には…>

チューブに印刷する際、チューブによってはインクリボンとのこすれにより、表面に汚れが付くことがあります。

この場合は印字圧調整レバーを「弱」にセットして使用してください。

※印字圧調整レバーの操作は、青色のヘッドリリースレバーを中央位置に起こして行ってください。手前または奥にたおしたまま無理に操作すると故障の原因となります。

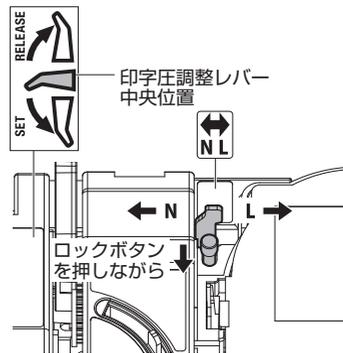
印字圧を「弱」にセットする

- 印字圧調整ロックボタンを押しながら、印字圧調整レバーを「L」にスライドさせます。

※印字圧調整レバーが「弱」に設定してあると、印字がかすれたり欠けたりする場合があります。その場合は「通常」に戻してご使用ください。

印字圧を「通常」に戻す

- 印字圧調整ロックボタンを押しながら、印字圧調整レバーを「N」に戻します。



2-2-2 細径チューブ (φ1.5、φ2.0) をセットする

φ1.5、φ2.0の細径チューブに印刷する際は、付属の細径チューブ用アタッチメントを装着してチューブをセットします。

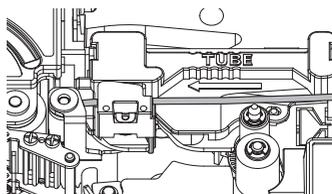
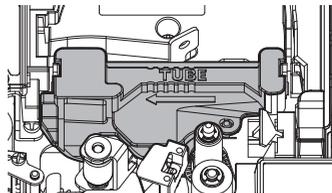
印字のズレや欠けを防ぐために、必ずアタッチメントを使用してください。

- 1 銀色の切り替えレバーを右端までスライドします。

- 2 細径チューブ用アタッチメントを図のように本体にセットします。

- 3 「2-2-1 チューブをセットする」の4以降の手順にしたがいチューブをセットします。

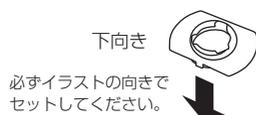
※φ1.5、φ2.0以外のサイズのチューブを使用する際には、必ずアタッチメントをはずしてご使用ください。



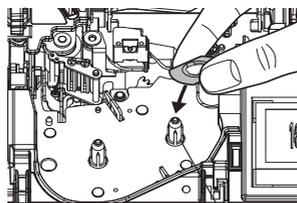
2-2-3 太径チューブ(φ8.0)をセットする

φ8.0の太径チューブに印刷する際は、付属のリングアタッチメントを装着して、チューブをセットします。印字のシワや欠けを防ぐために、必ずリングアタッチメントを使用してください。

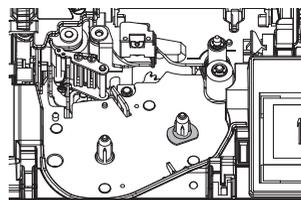
- 1 インクリボンカセットを外した状態で、銀色の切り替えレバーを右端までスライドします。
- 2 リングアタッチメント(緑色)を図のように向かって右側のリボンギヤにセットします。



※誤ってリングアタッチメントが本体内部に入り込んでしまった場合は、無理に取り出そうとせず最寄りのマックスエンジニアリングサービスセンターまでご連絡ください。



リボンギヤ

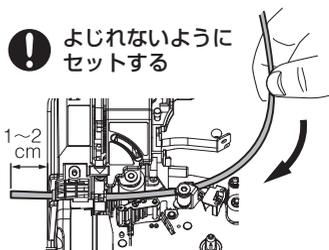
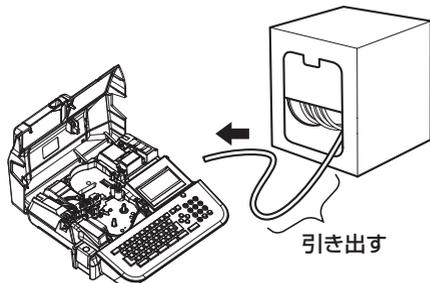


※リングとギヤの形状を合わせて
セットしてください。

- 3 インクリボンを本体にセットします。

- 4 チューブを必要な長さ引き出した上で巻きグセに注意しながらオサエプレートの下に通し、先端を本体より1~2cm出します。

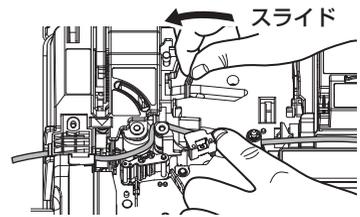
チューブがよじれた場合には再度セットし直してください。



MEMO

☆リングアタッチメントは、太径φ8チューブ・グリップチューブおよび記名板専用のアタッチメントです。他の印刷物に印刷する際は、印字不良の原因となる場合がありますので、必ずリングアタッチメントをはずしてからインクリボンをセットしてください。(LM-550W2のみリングアタッチメントをつけたままで他の印刷物にも印字できます)

- 5 チューブが浮かないように、指で軽く押さえながら、チューブ先端を軽く引っ張り、途中のたるみを取りのぞいてから銀色の切り替えレバーを左端までスライドさせます。

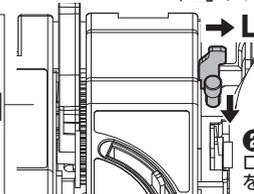


- 6 切り替えレバーをスライドさせた後、印字圧調整レバーを「弱」に設定します。

- ① 青色のヘッドリリースレバーを中央位置に起こす

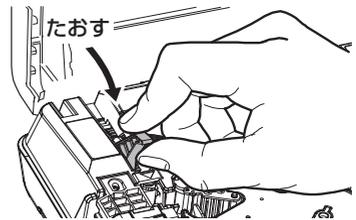
- ③ 印字圧調整レバーを「L」にスライド

※印字圧調整については、
27 ページを参照ください。



- ② ロックボタンを押しながら

- 7 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



- 8 カセットカバーをしをしっかりと閉じます。



2-2-4 マックス グリップチューブ (φ2.9、φ3.7) をセットする

φ2.9、φ3.7のグリップチューブに印刷する際は、付属の細径チューブ用アタッチメント・リングアタッチメントを装着して、チューブをセットします。印字のズレや欠けを防ぐために、必ずアタッチメントを使用してください。

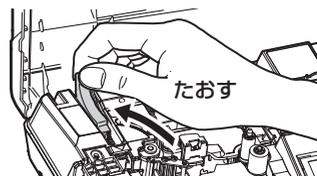


2-3 テープカセットのセットのしかた

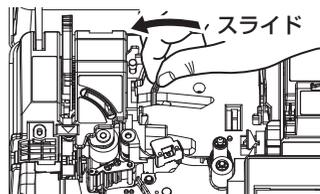
- 1 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



- 2 青色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



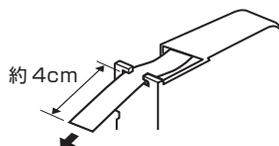
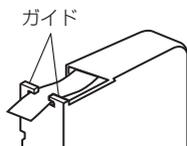
- 3 銀色の切り替えレバーを左端までスライドします。



- 4 テープカセットを準備します。

テープカセットを本機にセットする前に以下を確認してください。

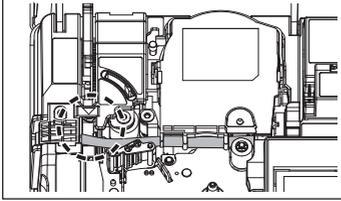
1. テープ両側がテープガイドの間を
通っていることを確認してください。
2. テープ先端を約4cm引き出して
ください。



注意：テープ先端が折れているものはハサミなどで切ってからセットしてください。

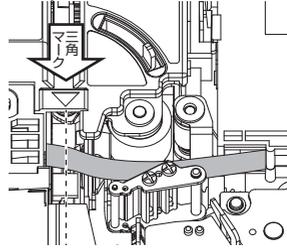
5 図の位置にセットします。

正しくテープがセットされた状態

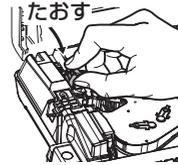


お願い

テープ先端が三角マークを超えた位置にあることを確認してください。(超えていないと送り不良の原因になります)



6 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



7 カセットカバーをしっかりと閉じます。



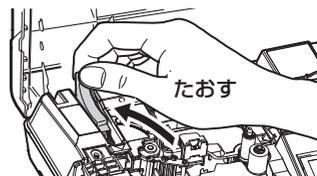
2-4 記名板のセットのしかた (LM-550W2 のみ)

記名板に印刷する際は、別売の記名板用アタッチメントと付属のリングアタッチメントを使用します。

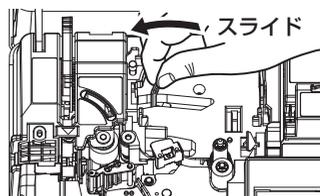
- 1 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



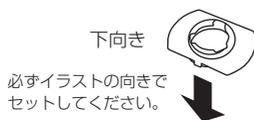
- 2 青色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。



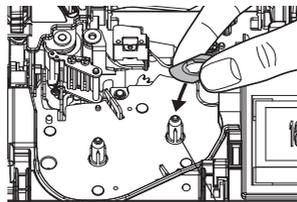
- 3 インクリボンカセットをはずした状態で、銀色の切り替えレバーを左端までスライドします。



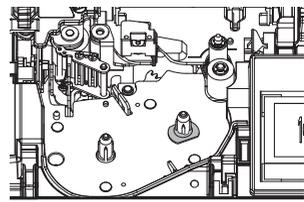
- 4 リングアタッチメント (緑色) を図のように向かって右側のリボンギヤにセットします。



※誤ってリングアタッチメントが本体内部に入り込んでしまった場合は、無理に取り出そうとせず最寄りのマックスエンジニアリングサービスセンターまでご連絡ください。



リボンギヤ



※リングとギヤの形状を合わせてセットしてください。

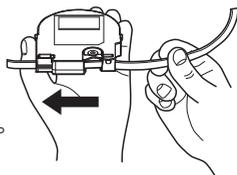
- 5 インクリボンを本体にセットします。

MEMO

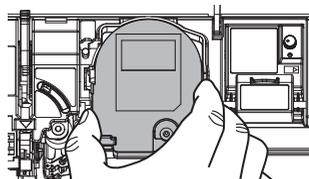
☆リングアタッチメントは、太径φ8チューブおよび記名板専用のアタッチメントです。他の印刷物に印刷する際は、印字不良の原因となる場合がありますので、必ずリングアタッチメントをはずしてからインクリボンを設定してください。(LM-550W2のみリングアタッチメントをつけたままで他の印刷物にも印字できます)

6 記名板用アタッチメントを準備し、挿入口から記名板を挿し込みます。

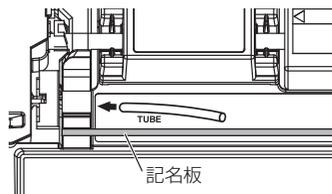
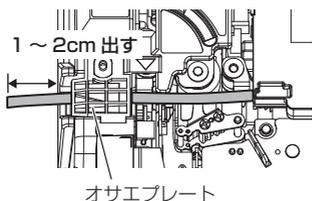
※記名板用アタッチメントは、幅8.0/8.5/9.5/10.0mm用と10.7/12.0mmの2種類があります。ご使用になる記名板の幅に合わせて選択してください。



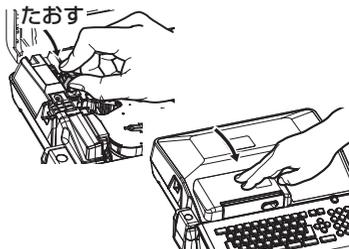
7 記名板を通したアタッチメントを本体にセットします。



8 記名板の先端はオサエプレートの下を通し、本体より1~2cm出します。挿入部は、記名板が図の経路を通るようにセットします。



9 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



10 カセットカバーをしっかりと閉じます。

MEMO

☆記名板は図のような巻グセ方向でセットしてください。また、リール状態で使用すると引き出し負荷がかかり印刷ピッチがずれる原因となりますので、必要な長さより多めに切ってください。

☆記名板は静電気でゴミやホコリが付きやすいためビニール袋に入れて保管してください。ゴミやホコリが付いていると、プリンタヘッドの故障の原因になります。

☆記名板の切断には必ず市販のハサミをご使用ください。本機のカッターボタンを使用すると故障の原因となります。



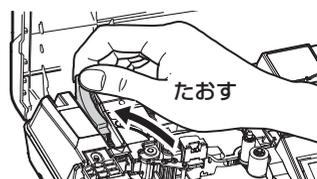
2-5 デバイ斯拉ベルのセットのしかた (LM-550W2 のみ)

デバイ斯拉ベルに印刷する際は、別売のデバイ斯拉ベル用アタッチメント (LM-LA500) を使用します。

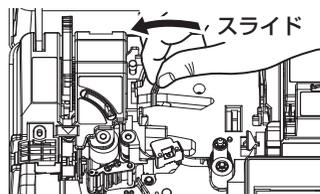
- 1 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。



- 2 青色のヘッドリリースレバーを奥側にたおします。

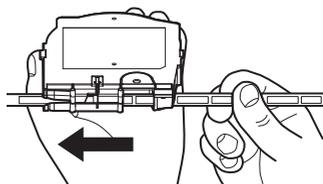
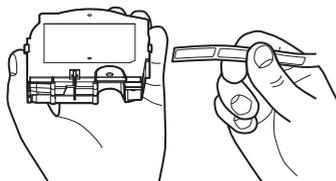


- 3 銀色の切り替えレバーを左端までスライドします。



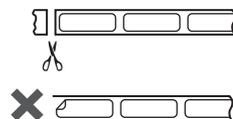
- 4 デバイ斯拉ベル用アタッチメントを準備し、挿入口からラベルを挿し込みます。

※ラベルの面を手前にして挿し込んでください。

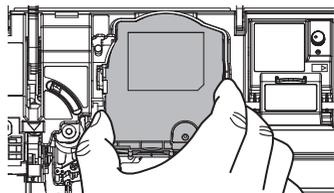


MEMO

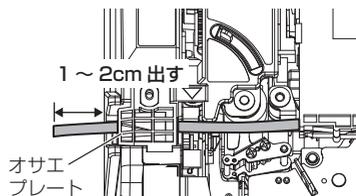
☆アタッチメント挿入時の引っ掛かりや貼りつきを防ぐために、デバイ斯拉ベルは先端をハサミ等できれいにカットし、ラベルがめくれていないことを確認してからアタッチメントにセットしてください。



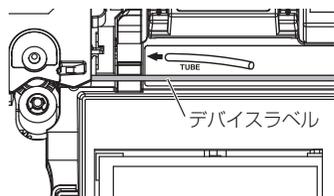
- 5 デバイ斯拉ベルを通したアタッチメントを本体にセットします。



- 6 デバイ斯拉ベルの先端はオサエプレートの下を通し、本体より1~2cm出します。



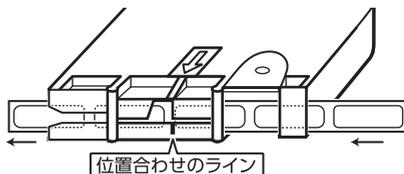
- 7 挿入部は、デバイ斯拉ベルが図の経路を通るようにセットします。



- 8 ラベルの位置を調整します。

ラベルのセット方法

ラベルの先端部分  を、矢印  の先が示す位置合わせのラインに合わせます。



※印刷後、ハサミでカットできる位置までラベルを自動で送ります。
そのため次のラベルを印刷する場合は、再度位置合わせが必要です。

- 9 青色のヘッドリリースレバーを手前にたおします。



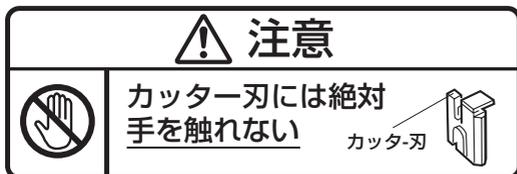
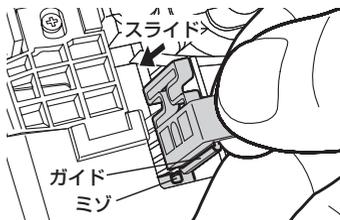
- 10 カセットカバーをしっかりと閉じます。



2-6 ハーフカッタの交換のしかた

ハーフカッタは、あらかじめ本体にセットされています。チューブやテープのハーフカッタの切れ味が悪くなった場合は、下記の手順で交換してください。

- 1 黒色のロックレバーを引き上げながら、カセットカバーを開きます。
- 2 黄色のハーフカッタを上方に引き抜きます。
- 3 新しいハーフカッタを用意し、ハーフカッタのガイドと本機のミゾを合わせ突き当たるまで挿入します。
交換完了です。

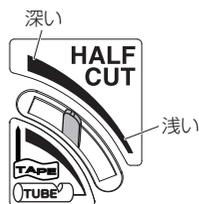


<ハーフカッタの調整>

ハーフカッタ深さ調整レバーは左側が深く右側が浅く調整されます。

※チューブの場合、ハーフカッタ深さ調整レバーを中央位置にセットしてください。ただし気温や材質により、切れすぎたり切れにくかったりすることがありますのでその場合は、レバー位置を調整してから使用してください。

※テープの場合、ハーフカッタ深さ調整レバーを **TAPE** 側(深め)にセットして使用してください。レバーの位置が途中にあるとハーフカットできない場合があります。切れすぎたり切れにくかったりすることがありますのでその場合は、レバー位置を調整してから使用してください。



チューブ



テープ



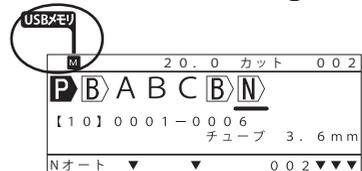
2-7 USBメモリのセットのしかた

⚠ 注意

USBメモリ内のデータを保護するため、装脱着は本書の指示にしたがってください。
特にUSBメモリ取り外しの操作をせずに取り外した場合は、データを破損するおそれがありますので
十分ご注意ください。

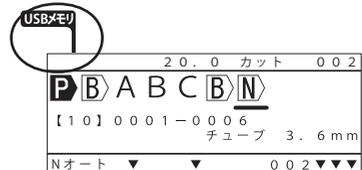
<セットのしかた>

- 1 本体側面のUSBポートに、USBメモリを向きに注意して挿入します。
- 2 本体の電源をONにします。
- 3 画面左上のメモリインジケータが点灯します。
本書115、117ページにしがたってファイルを保存/呼出します。



<取り外し方>

- 1 **シフト** + **USBメモリ脱し
改ブロック** を押します。「する」を選び、
確定 を押します。
- 2 本画面左上のインジケータが消えていることを確認してから、USBメモリを取り外します。



MEMO

- ☆セキュリティ機能のあるUSBメモリは使用できません。
- ☆本機にセットしたUSBメモリにパソコンから直接データを保存したり、呼び出したりすることはできません。
- ☆USBメモリを外すキー操作をした後、再度読み込み可能とするためには、USBメモリを一旦外してから、再度装着してください。

第 3 章 基本操作

3-1 チューブに印刷する	42
3-2 テープに印刷する	45
3-3 記名板に印刷する(LM-550W2のみ)	51
3-4 デバイスラベルに印刷する(LM-550W2のみ)	54

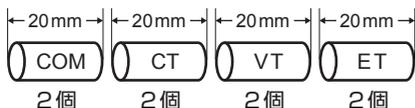
第3章 基本操作

3-1 チューブに印刷する

■ここがポイント！

- 使用できる塩ビチューブは、内径φ1.5～φ8.0です。
(φ1.5、φ2.0は細径チューブ用アタッチメントを使用、φ8はリングアタッチメントを使用、マックスグリップチューブφ2.9、φ3.7は細径チューブ用アタッチメント、リングアタッチメントを使用)
- 使用できる熱収縮チューブは、内径φ2.0～φ6.4です。
- 設定できるピッチ長は10～60mm、最大印字長は100mです。
- φ6.5を超える市販チューブはハーフカットできません。
(純正チューブはφ8までハーフカットできますが、精度がばらつく場合があります)
- 15℃以上の環境でご使用ください。寒い場所では印字がカスレやすくなるので、チューブウォーマーをご使用ください。(LM-550W2、LM-500W2に搭載・φ2.5～φ4.2)
- 市販チューブは7ページ掲載のチューブで印字確認を行なっておりますが、正常な印字・動作を保証するものではありません。
- 熱収縮チューブ/非塩ビチューブの印字には、LM-IR500BP (黒)、LM-IR500W (白) をご使用ください。LM-IR500B (黒) では正常な印字ができません。
- 温湿度環境、チューブの状態、種類によっては印字がかすれる場合があります。

次のようなマークチューブを作ってみましょう。



印刷物	: MAXチューブ
サイズ	: 3.2mm
ピッチ長	: 20mm
個数	: 2個ずつ
ピッチカット	: ハーフカット

1 インクリボンカセットとチューブをセットし、電源をONにします。



2 **⏪** で「新規」を選び、**確定** を押します。

前に操作したときに入力した文書がない場合は、この画面は表示されません。

作成中の文書が
残っています
新規 **継続**

3 **⏪** **⏩** で「MAXチューブ」を選び、**▼** でサイズに移ります。

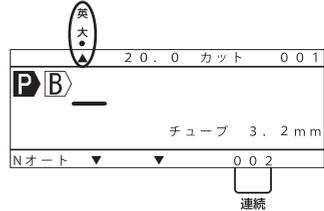
【印刷物選択】
MAXチューブ
サイズ = --- mm
通常の設定

- 4 で「3.2」mmを選び、 を押します。



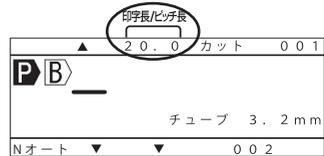
- 5 「入力モード」が「英大」になっていることを確認します。

異なる場合は、 を押して切り替えます。



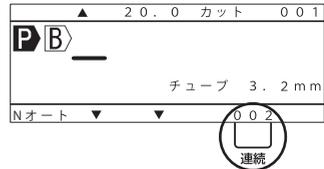
- 6 「印字長/ピッチ長」が「20.0」になっていることを確認します。

異なる場合は先頭の にカーソルを合わせ、 を押して「20.0」に設定します。



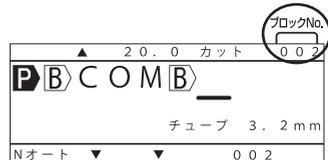
- 7 「連続」が「002」になっていることを確認します。

異なる場合は を押して、2回に設定します。



- 8 と入力して、 を押します。

右上のブロックが「No.002」になります。



- 9 と入力して、 を押します。

右上のブロックが「No.003」になります。



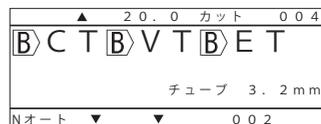
10 **V** **=** **T** と入力して、**USBメモリ取り出し
改ブロック** を押します。

右上のブロックが「No.004」になります。



11 **E** **さ**行 **T** と入力します。

以上で入力は終了です。続けて印刷してみましょう。



12 **空送り** **印刷** を押します。

13 **【印刷範囲】**を確認して、**確定** を押します。



【印刷範囲】	
部数	1
開始ブロック	1
終了ブロック	4

14 **【通常印刷】**または**【180°回転印刷】**を設定し、

確定 を押します。



【印刷設定】	
通常印刷	
180°回転印刷	

15 **【印刷全長】** **【全長補正】**を確認して、**確定**

を押します。

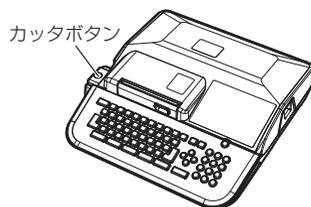
印刷を開始します。



【印刷全長】	
全長補正 =	160.0 mm
	0 mm

16 印刷が終了したら、本体左横のカッタボタンを押し、チューブをカットします。

- オプション設定の「先頭空送り」を「する」に設定していると、先端の余白が長くなります。



MEMO

☆途中で印刷を中止したいときは、**印刷物
取消** を押してください。

3-2 テープに印刷する

■ここがポイント！

- 使用できるテープカセットは、LM-TP505W (5mm幅・白)、LM-TP509W (9mm幅・白)、LM-TP512W (12mm幅・白)、LM-TP505Y (5mm幅・黄)、LM-TP509Y (9mm幅・黄)、LM-TP512Y (12mm幅・黄)、LM-TP505T (5mm幅・透明)、LM-TP509T (9mm幅・透明) です。
- 設定できるピッチ長は3.5~60mm、最大印字長は5mです。
- インクリボンカセットはLM-IR500B (黒) をご使用ください。

<端子台に貼るテープ>

次のようなテープを作ってみましょう。

	15 mm	15 mm	15 mm	15 mm					
U1	SLD X18	SLD X19	SLD X1A	SLD X1B	SLD X1C	COM	COM		

印刷物 : テープ
 サイズ : 9mm
 ピッチ長 : 15mm
 ピッチカット : 実線

- 1 インクリボンカセットとテープをセットし、電源を ONIにします。



- 2 で「新規」を選び、 を押します。

前に操作したときに入力した文書がない場合は、この画面は表示されません。

作成中の文書が
残っています
新規 継続

- 3 で「テープ」を選び、 で「サイズ」に移ります。

【印刷物選択】
テープ
サイズ = ----- mm
通常の設定

- 4 で「9」mmを選び、 を押します。

【印刷物選択】
テープ
サイズ = 9 mm
通常の設定

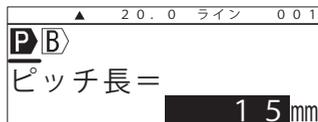
5 **⏪** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ピッチ長** を押します。

現在の設定が表示されます。



6 **1** **5** と入力して、**確定** を押します。

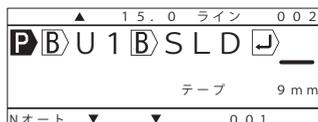
印字長/ピッチ長が「15.0」になります。



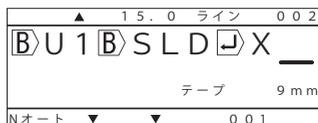
7 **▶** で **B** の直後にカーソルを合わせ、**U** **1** と入力して、**USメモリ解放し改ブロック** を押します。



8 **S** **L** **D** と入力して、**改行** を押します。



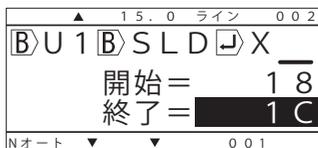
9 **X** と入力して、**語句連番** を押します。



10 **▶** で「16進数」を選び、**確定** を押します。



11 「開始」に **1** **8** と入力して **▼** で「終了」に移り、**1** **C** と入力して **確定** を押します。

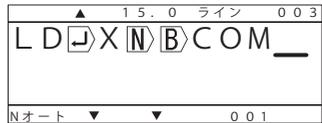


12 「すべて」を選び、**確定** を押します。

[X]の後に連続設定を示す **N** が表示されます。



13 **USBメモリ/差し直し改ブロック** を押して **C** **0** **5行** **M** **+** と入力します。

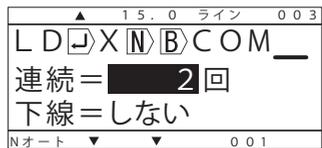


14 **枠囲連続** で **2** と入力して、**確定** を押します。

カーソルのあるブロックの連続回数が[2]に設定されます。



以上で入力は終了です。続けて印刷してみましょう。



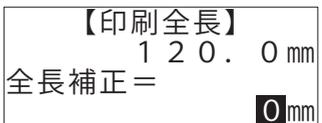
15 **空送り印刷** を押します。

16 【印刷範囲】を確認して、**確定** を押します。

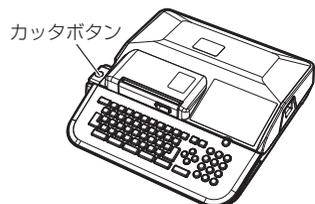


17 【印刷全長】・【全長補正】を確認して、**確定** を押します。

印刷を開始します。

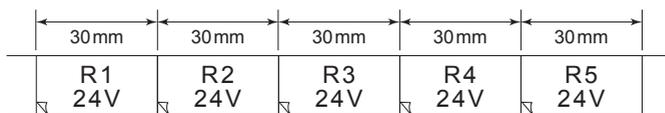


18 印刷が終了したら、本体左横のカッタボタンを押し、テープをカットします。



<電源やスイッチに貼るテープ>

次のようなテープを作ってみましょう。



印刷物	: テープ
サイズ	: 12mm
ピッチ長	: 30mm
ピッチカット	: ハーフカット

- 1 インクリボンカセットとテープをセットし、電源を ONにします。



- 2 **K** で「新規」を選び、**確定** を押します。

前に操作したときに入力した文書がない場合は、この画面は表示されません。

作成中の文書が 残っています
新規 継続

- 3 **K** **R** で「テープ」を選び、**▼** でサイズに移ります。

【印刷物選択】
テープ
サイズ=----- mm
通常の設定

- 4 **K** **R** で「12」mmを選び、**確定** を押します。

【印刷物選択】
テープ
サイズ= 12 mm
通常の設定

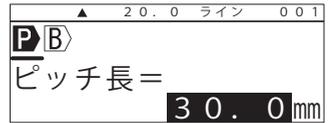
- 5 **K** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ピッチ長** を押します。

現在の設定が表示されます。

▲ 20.0 ライン 0.01
P B
ピッチ長 =
20.0 mm

6 ③ ① と入力して、**確定** を押します。

印字長/ピッチ長が「30.0」になります。



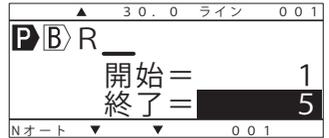
7 **▶** で **B** の直後にカーソルを合わせ、**R** と入力して、**語句連番** を押します。



8 **▶** で「10進数」を選び、**確定** を押します。



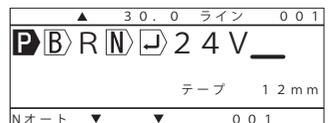
9 「開始」に ① と入力して **▼** で「終了」に移り、⑤ と入力して **確定** を押します。



10 「すべて」を選び、**確定** を押します。
[R]のあとに連続設定を示す **N** が表示されます。



11 **改行** を押して ② ④ **V** と入力します。



12 **シフト** + **シフト+ピッチ長** を押します。

現在のピッチカットの設定が表示されます。

【ピッチカット】
なし **実線** 点線
ハーフカット

13 **▼** で「ハーフカット」を選び、**確定** を押します。

以上で入力は終了です。続けて印刷してみましょう。

【ピッチカット】
なし 実線 点線
ハーフカット

14 **空送り** **印刷** を押します。

15 [印刷範囲]を確認し、**確定** を押します。

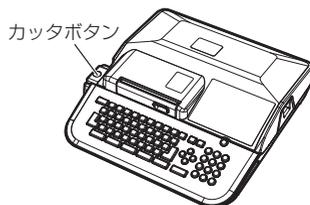
【印刷範囲】
部数 : 1
開始ブロック : **1**
終了ブロック : 1

16 [印刷全長]・[印刷補正]を確認し、**確定** を押します。

印刷を開始します。

【印刷全長】
150.0 mm
全長補正 = **0** mm

17 印刷が終了したら、本体左横のカッタボタンを押し、テープをカットします。

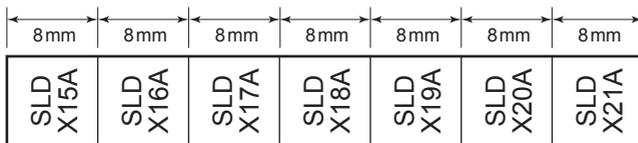


3-3 記名板に印刷する (LM-550W2 のみ)

■ここがポイント！

- 使用できる記名板は、塩ビ製、厚さ0.5mm、幅8mm、8.5mm、9.5mm、10.0mm、10.7mm、12.0mmです。
- 設定できるピッチ長は2.5～60mm、最大印字長は5mです。
- 必ず付属の専用記名板アタッチメントを使用して印刷してください。
- インクリボンカセットはLM-IR500B (黒) をご使用ください。
- ファイバー素材や表面がザラザラしていたり、表面に凹凸のある記名板には印字できません。

次のような端子記名板を作ってみましょう。



印刷物：記名板 (0.5mm厚)
 サイズ：9.5mm
 ピッチ長：8.0mm
 ピッチカット：実線

- 1 インクリボンカセットと記名板をセットし、電源を ONにします。



- 2 で「新規」を選び、 を押します。

前に操作したときに入力した文書がない場合は、この画面は表示されません。

作成中の文書が
残っています
新規 継続

- 3 で「記名板 (0.5mm厚)」を選び、 で「サイズ」に移ります。

【印刷物選択】
 記名板 (0.5mm厚)
 サイズ = ----- mm
 通常の設定

- 4 で「9.5」mmを選び、 を押します。

【印刷物選択】
 記名板 (0.5mm厚)
 サイズ = **9.5** mm
 通常の設定

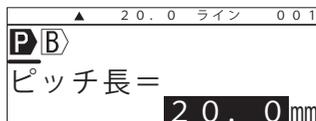
- 5 **シフト** + **縦・横
字・行間** を押し、**◀▶** で「縦書き」を
選び、**確定** を押します。

縦書きのインジケータが点灯します。



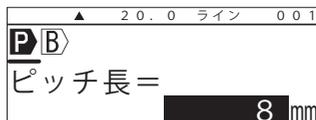
- 6 **◀▶** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ひずりか
ピッチ長** を
押します。

現在の設定が表示されます。



- 7 **8** と入力して、**確定** を押します。

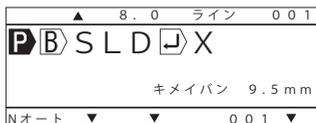
印字長/ピッチ長が「8.0」になります。



- 8 **◀▶** で **B** の直後にカーソルを合わせ、
S **L** **D** と入力して、**改行** を押します。



- 9 **X** と入力して、**語句
連番** を押します。



- 10 **◀▶** で「10進数」を選び、**確定** を押します。



- 11 「開始」に ① ⑤ と入力して ▼ で「終了」に移り、② ① と入力して **確定** を押します。

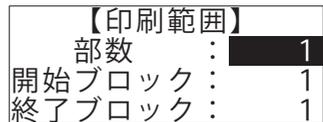


- 12 「すべて」を選び、**確定** を押します。
[X]のあとに連続設定を示す **N** が表示されます。

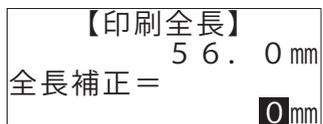


以上で入力は終了です。続けて印刷してみましょう。

- 13 **印刷** を押します。
[印刷範囲]を確認し、**確定** を押します。

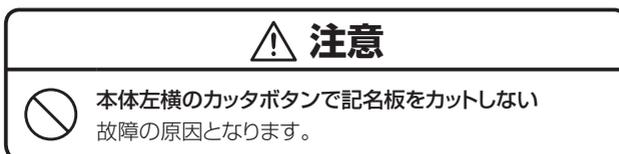


- 14 [印刷全長]・[全長補正]を確認して **確定** を押します。



印刷を開始します。

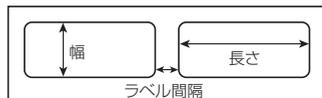
- 15 印刷が終了したら、市販のハサミで記名板をカットしてください。



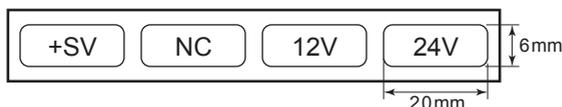
3-4 デバイ斯拉ベルに印刷する (LM-550W2 のみ)

■ここがポイント！

- 使用できるラベルは、幅5~10mm、長さ7.3~40mm、ラベル間隔0~10mmです。
- ピッチ長は設定できません。最大印字長は1mです。
- 必ず専用ラベルアタッチメントLM-LA500 (別売) を使用して印刷してください。
- 印刷後、ハサミでカットできる位置までラベルを自動で送ります。そのため続けて印刷する場合は、再度位置合わせが必要です。
- インクリボンカセットはLM-IR500B (黒) をご使用ください。



次のようなラベルを作ってみましょう。



印刷物	: MAX ラベル
サイズ	: 6×20mm
ピッチ長	: 設定不可
ピッチカット	: 設定不可

1 インクリボンカセットとラベルをセットし、電源をONにします。



2 **⏪** で「新規」を選び、**確定** を押します。

前に操作したときに入力した文書がない場合は、この画面は表示されません。

作成中の文書が
残っています
新規 継続

3 **⏪** **⏩** で「MAXラベル」を選び、**▼** で「サイズ」に移ります。

【印刷物選択】
MAXラベル
サイズ=----- mm
通常の設定

4 **⏪** **⏩** で「6×20」mmを選び、**確定** を押します。

【印刷物選択】
MAXラベル
サイズ=**6×20** mm
通常の設定

- 5 + + と入力して を押します。



- 6 * と入力して を押します。



- 7 ① ② と入力して を押します。

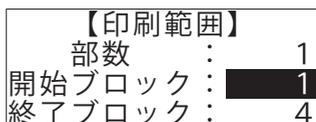


- 8 ② ④ と入力します。

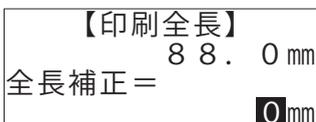


以上で入力は終了です。続けて印刷してみましょう。

- 9 を押します。
【印刷範囲】を確認し、 を押します。

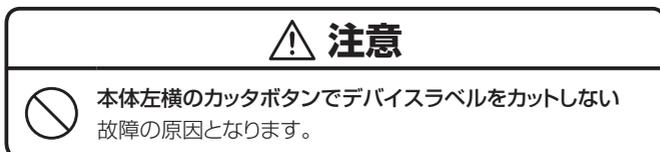


- 10 【印刷全長】・【全長補正】を確認して を押します。



印刷を開始します。

- 11 印刷が終了したら、市販のハサミでデバイスラベルをカットしてください。



第 4 章 文字や記号を入力する

4-1 英数字を入力する.....	58
4-2 ローマ字を入力する.....	59
4-3 かな入力(かなめくり方式)をする.....	60
4-4 漢字に変換する.....	62
4-4-1 熟語変換する.....	62
4-4-2 単漢字変換する.....	63
4-5 カタカナ変換する.....	64
4-6 JISコード入力をする.....	66
4-7 記号入力をする.....	67
4-8 文字を複写・貼付する.....	68
4-9 入力補助機能.....	68

第4章 文字や記号を入力する

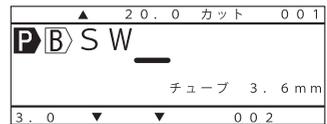
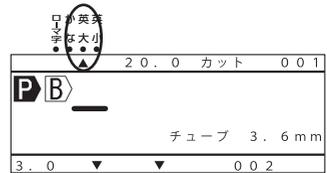
4-1 英数字を入力する

アルファベット、数字を入力します。

<例1> 「SW」と入力します。

1 を数回押して、入力モードの[▲]マークを「英大」に合わせます。

2 と入力します。



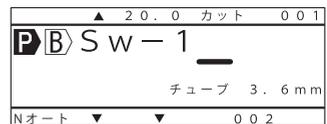
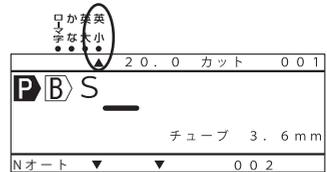
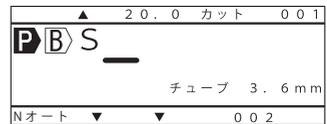
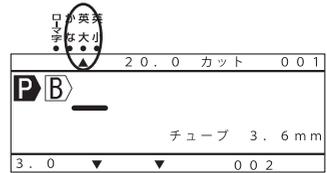
<例2> 「Sw-1」と入力します。

1 を数回押して、入力モードの[▲]マークを「英大」に合わせます。

2 と入力します。

3 を1回押して、入力モードの[▲]マークを「英小」に合わせます。

4 と入力します。



MEMO

☆入力を間違えた場合は、 または で1文字ずつ削除し、正しい文字を入力します。

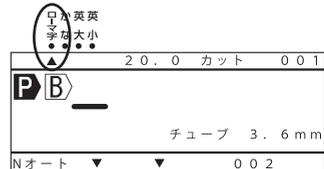
☆電源を ON にした時の入力モードの初期値は「英大」です。

4-2 ローマ字を入力する

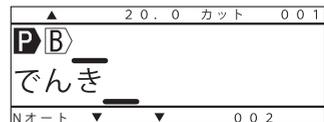
ローマ字でひらがなを入力します。

<例> 「でんき」と入力します。

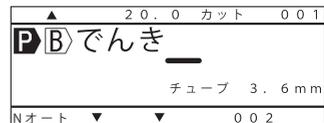
1 を数回押して、入力モードの [▲] マークを「ローマ字」に合わせます。



2 と入力します。



3 を押します。
「でんき」が確定されます。



MEMO

- ☆入力を間違えた場合は、 または で1文字ずつ削除し、正しい文字を入力します。
- ☆電源を ON にした時の入力モードの初期値は「英大」です。

4-3 かな入力 (かなめくり方式) をする

かなめくり方式でひらがなを入力します。

(かなめくり方式入力規則表)

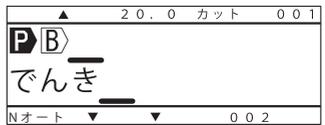
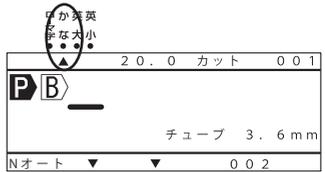
あ行	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お→あ
か行	か→き→く→け→こ→か→け→か
さ行	さ→し→す→せ→そ→さ
た行	た→ち→つ→て→と→つ→た
な行	な→に→ぬ→ね→の→な
は行	は→ひ→ふ→へ→ほ→は
ま行	ま→み→む→め→も→ま
や行	や→ゆ→よ→や→ゆ→よ→や
ら行	ら→り→る→れ→ろ→ら
わ行ん	わ→を→ん→ぬ→ぬ→ぬ→ヴ→わ→わ
が行	が→ぎ→ぐ→げ→ご→が
ざ行	ざ→じ→ず→ぜ→ぞ→ざ
だ行	だ→ぢ→づ→で→ど→だ
ば行	ば→び→ぶ→べ→ぼ→ば
ぱ行	ぱ→ぴ→ぷ→ぺ→ぽ→ぱ

<例1> 「でんき」と入力します。

1 **入力** を数回押して、入力モードの[▲]マークを「かな」に合わせます。

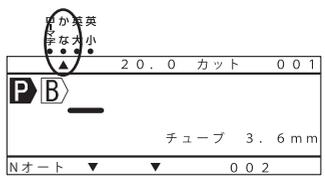
2 **F** だ行 を4回、**P** わ行ん を3回、**W** か行 を2回押します。

3 **確定** を押します。
「でんき」が確定されます。

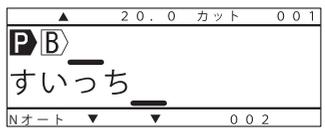


<例2> 「スイッチ」と入力します。

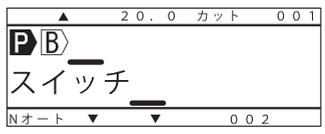
1 **入力** を数回押して、入力モードの[▲]マークを「かな」に合わせます。



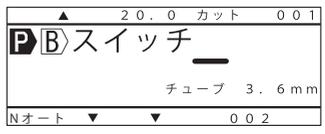
2 **E** を3回、**Q** を2回、**R** を6回、**▶** を1回、**R** を2回押します。



3 **入力** を押します。
ひらがながカタカナに変換されます。



4 **確定** を押します。
「スイッチ」が確定されます。



MEMO 

- ☆入力を間違えた場合は、**BS** または **全文削除** で1文字ずつ削除し、正しい文字を入力します。
- ☆電源を ON にした時の入力モードの初期値は「英大」です。

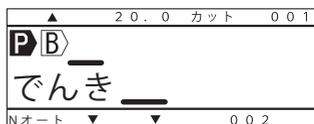
4-4 漢字に変換する

ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」を漢字に変換します。

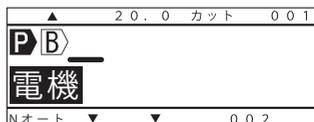
4-4-1 熟語変換する

例：「電機」と入力します。

1 「でんき」とよみを入力します。

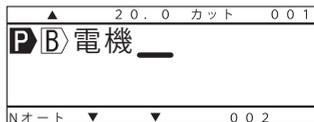


2 「電機」が表示されるまで を押します。



3 を押します。

「電気」が確定されます。



(熟語変換でのキーの役割)

キー	役割
<input type="button" value="単漢字変換"/>	よみを漢字に熟語変換します。(最長一致方式)
<input type="button" value="印刷物取消"/>	漢字変換を中止します。変換前の場合はよみ入力をクリアします。
	次の変換候補を表示します。
	1つ前の変換候補を表示します。
	変換するよみの範囲を短く(長く)します。

MEMO

☆入力を間違えた場合は、 または で1文字ずつ削除し、正しい文字を入力します。

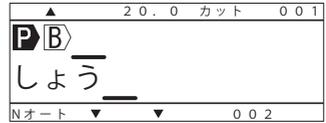
☆電源を ON にした時の入力モードの初期値は「英大」です。

4-4-2 単漢字変換する

よみを入力し **シフト** + **単漢字変換** を押すと、漢字の候補を一覧で表示します。

例：「硝」と入力します。

1 「しょう」とよみを入力します。



2 **シフト** + **単漢字変換** を押します。



3 候補が表示されるまで **▼** を押します。

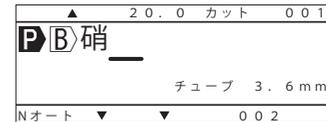


4 **◀** **▶** で「硝」にカーソルを合わせます。



5 **確定** を押します。

「硝」が確定します。



MEMO

- ☆単漢字変換する場合は、漢字のよみを「音読み」で入力します。
- ☆単漢字変換では、よみに該当する漢字がない場合はよみのみを表示します。
- ☆よみがわからない場合は、「4-6 JIS コード入力する」66 ページを参照してください。

(単漢字変換でのキーの役割)

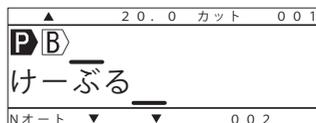
キー	役割
	よみを単漢字変換で漢字に変換します。
	変換中の場合は、変換を中止しよみ入力状態に戻します。 読み入力状態の場合は、よみ入力をクリアします。
	変換候補のカーソルが移動します。
	次の変換候補群を表示します。
	1つ前の変換候補群を表示します。

4-5 カタカナ変換する

ローマ字入力やかな入力を入力した「よみ」をカタカナに変換します。

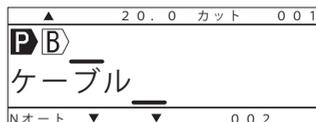
例1 : 「ケーブル」と入力します。

1 「けーぶる」とよみを入力します。



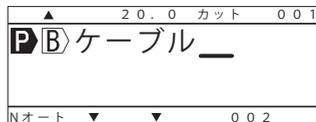
2  を押します。

ひらがながカタカナに変換されます。



3  を押します。

「ケーブル」が確定します。



例2 : 「シーケンス制御」と入力します。

1 「しーけんすせいぎょ」とよみを入力します。



2 を押します。

よみがカタカナに変換されます。



3 で「シーケンス」だけを反転表示させます。



4 を押します。

「シーケンス」が確定します。



5 を押して「セイギョ」を漢字に変換します。



6 を押します。

「制御」が確定します。



(カタカナ変換でのキーの役割)

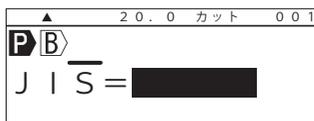
キー	役割
<input type="button" value="入力"/>	よみをカタカナに変換します。
<input type="button" value="印刷物取消"/>	よみ入力をクリアします。
<input type="button" value="⏪"/> <input type="button" value="⏩"/>	変換するよみの範囲を短く(長く)します。

4-6 JISコード入力をする

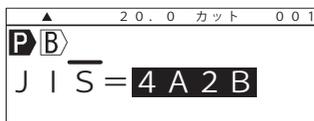
よみがわからない漢字や記号などは、本書P152の「JISコード一覧表」を参照してJISコードによる入力ができます。

例：「鮒」と入力します。

1  +  を押します。



2 本書P152の「JISコード一覧表」にしたがって [4] [A] [2] [B] と入力します。



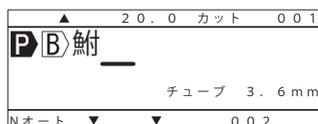
JISコード一覧表の見方

※「鮒」の場合、[4A20] + [B] となり [4] [A] [2] [B] と入力します。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950				不	付	埠	夫	婦	富	宮	布	府	佈	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	諸	負	賦	赴	阜	附	侮
	4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	露	伏	副	復	幅	服
	4A20	福	腹	核	覆	瀾	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A30	漬	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰		文	聞				

3  を押します。

「鮒」が確定します。



(JISコード入力でのキーの役割)

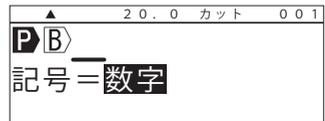
キー	役割
 + 	JISコード入力モードにします。
	JISコード入力を中止し入力画面に戻ります。
	入力中のコードの末尾1桁を削除します。
	入力中のコードをクリアします。
	JISコード入力モードの場合、該当コードを含んだ候補一覧を表示します。

4-7 記号入力をする

記号を入力します。

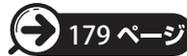
例：「cm」と入力してみます。

1  を押します。



2   で「単位」を選び、 を押します。

「単位」の記号一覧が表示されます。



記号グループは次の通り切り替わります

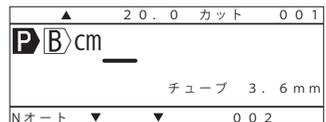
「数字」⇔「英字丸囲み」⇔「単位」⇔「事務記号」⇔「上付文字」⇔「下付文字」⇔
「電設①」⇔「電設②」⇔「電設③」⇔「筆記体」⇔「ギリシャ文字」⇔「数字」⇔

3   で「cm」にカーソルを合わせます。



4  を押します。

「cm」が確定します。



(記号入力でのキーの役割)

キー	役割
 + 	記号入力モードにします。
	記号入力を中止し入力画面に戻ります。
	記号グループの選択画面（手順2）で押すと工場出荷時のグループが表示されます。
 + 	キートップの右下の記号を入力します。（例では#を入力）  、  、  、  、  、  、  、  、  、  、 

4-8 文書を複写・貼付する

文書をブロック単位で複写し、ブロックの設定値（文字高さ/文字幅/連続/連番）とともに指定位置に貼り付けます。複写できる最大文字数は51文字です。

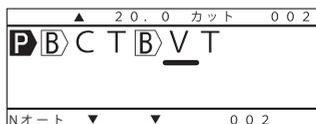
- 1 複写したい **B** またはブロックに **⏪** **⏩** でカーソルを合わせ、**シフト** + **複写** を押します。

「複写完了」と表示され、カーソル位置のブロックの内容を設定値ごと複写します。



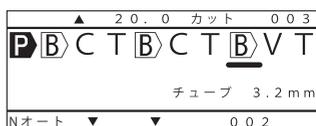
- 2 複写した内容を貼り付けたい位置に **⏪** **⏩** でカーソルを合わせます。

カーソルを合わせたブロックの直前に複写したブロックを貼り付けます。文末にカーソルを合わせると文末に貼り付けます。



- 3 **シフト** + **貼付** を押します。

「貼付完了」と表示し、複写したブロックを指定位置に設定値ごと貼り付けます。

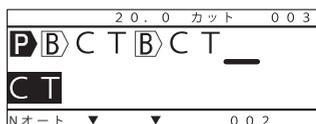
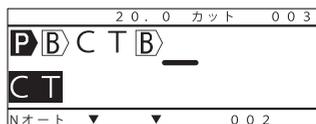


4-9 入力補助機能

前ブロックで入力した文字列を簡単に入力できます。

- 1 **シフト** + **入力** で1つ前のブロックで入力した内容が表示されます。

- 2 **確定** で入力されます。



MEMO

- ☆「複写」せずに「貼付」すると、「複写データなし」とエラーを表示し貼り付けできません。
- 「貼付」で「文字数オーバー」や「ブロック数オーバー」になる場合も、エラーを表示し貼り付けできません。
- ☆文書がないブロックを「複写」すると、「複写文字なし」とエラー表示し貼り付けできません。
- ☆入力補助機能では **B** は入力されません。

第 5 章 文字を削除する、操作を 取り消す、設定を初期化する

5-1 削除キーで文字を削除する.....	70
5-2 BSキーで文字を削除する.....	71
5-3 取消キーで操作を取り消す.....	72
5-4 入力した文字を全文削除する.....	72
5-5 設定を初期化する.....	73

第5章 文字を削除する、操作を取り消す、設定を初期化する

5-1 削除キーで文字を削除する

カーソル位置にある文字を1文字ずつ削除します。

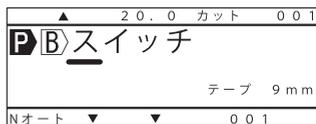
<例> 「操作スイッチ」の「操作」を削除します。

1   で「操」にカーソルを合わせます。



2  を2回押します。

「操」「作」が削除されます。



-  (ブロックマーク)にカーソルがある場合は、 およびブロックに入力された内容が削除されます。
-  (連番マーク)にカーソルがある場合は、 および連番設定が削除されます。
-  (改行マーク)にカーソルがある場合は、 を削除し行が連結されます。
-  (ピッチマーク)にカーソルがある場合は、 が削除されます。
 - ※先頭の  が削除された場合はピッチ印刷が解除され、その他の  が削除された場合は、直前の  のピッチ長がブロックに適用されます。
 - ※2つ以上の  がある場合は、先頭の  は削除できません。
- 選択項目がある画面では、選択値が初期化されます。
- 数値を入力する画面では、数値が初期化されます。

5-2 BS キーで文字を削除する

カーソル位置の直前にある文字を1文字ずつ削除します。

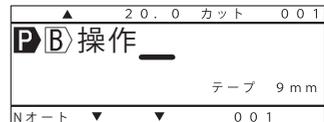
<例> 「操作スイッチ」の「スイッチ」を削除します。

1   で「スイッチ」の直後にカーソルを合わせます。



2  を4回押します。

「スイッチ」が削除されます。



-  (ブロックマーク)の直後にカーソルがある場合は、 およびブロックに入力された内容が削除されます。
-  (連番マーク)の直後にカーソルがある場合は、 および連番設定が削除されます。
-  (改行マーク)の直後にカーソルがある場合は、 を削除し行が連結されます。
-  (ピッチマーク)の直後にカーソルがある場合は、 が削除されます。
 - ※先頭の  が削除された場合はピッチ印刷が解除され、その他の  が削除された場合は、直前の  のピッチ長がブロックに適用されます。
 - ※2つ以上の  がある場合は、先頭の  は削除できません。
- 数値を入力する画面では、入力した数値の末尾1桁が削除されます。

5-3 取消キーで操作を取り消す

設定途中の操作や文字の変換を取り消します。

操作中に  を押します。

- 設定操作を取り消して、前の画面または入力画面に戻ります。
- 印刷中は、印刷が中止されます。

5-4 入力した文字を全文削除する

入力中の文字を全文削除します。

1  +  を押します。

2   で「する」を選び、 を押します。

入力中の文書が全文削除されます。

- 先頭の   は削除されず、設定値が削除前のまま残ります。



5-5 設定を初期化する

本体の設定を初期化します。

1  +  を押します。

【設定値初期化】

する しない

2   で「する」を選び、 を押します。

設定が初期化されます。

- 各設定の初期値は下表の通りです。
- 初期化操作により設定値が初期化される項目、初期化されない項目があります。
初期化されない項目は、本機使用開始後お客様が設定した値が維持されます。

初期化される項目	
設定	初期値
文字高さ	ピッチ長モード：通常オート 印字長モード：3.0mm
文字幅	標準
文字間	標準
行間	標準
ピッチ長 (ラベル除く)	チューブ：初期値設定値 その他：初期値設定値
ピッチカット (ピッチ印刷時)	チューブ(～φ6.5)：ハーフカット チューブ(φ8.0)：点線 テープ・記名板：実線 デバイスラベル：設定不可
縦・横	横書
枠囲み	なし
反転	しない
印字長	オート
左右余白	左余白：2mm 右余白：2mm
連続	チューブ：初期値設定値 その他：初期値設定値
文字配置	中央
下線	しない
印刷フォント	標準

初期化されない項目	
設定	初期値
印刷物種類	MAX チューブ
印刷物サイズ	印刷物ごとの最小サイズ
印字濃度	4
低速モード	しない
先頭空送り	しない
6.9 文字	なし
上下印字位置	0.0
カット位置	0.0mm
オートオフ	する
ピッチ長初期値	チューブ：20mm その他：10mm
連続初期値	チューブ：2回 その他：1回
連番印刷順序	連続優先
表示濃度	4
LCD バックライト	明るい
基本設定登録	なし
ラベル先端送り量	0.0mm
チューブウォーマー	OFF

第6章 機能を使いこなす

6-1	文字高さを変える.....	76	6-10-14	画面表示濃度を調整する.....	105
6-2	文字幅を変える	78	6-10-15	LCDバックライトの明るさを 変える	106
6-3	文字間隔や行間隔を 変える	79	6-10-16	印刷の基本設定を登録する...	107
6-4	文字を枠で囲む.....	80	6-10-17	ピリオドを一括で付加する.....	109
6-5	連続印刷回数を設定する...	81	6-10-18	ラベル先端送り量	110
6-6	アンダーラインを設定する...	82	6-11	メモリに保存する/呼び出す/ 削除する	111
6-7	連番を設定する	83	6-11-1	本体メモリに文書を保存する...	111
6-8	ピッチ印刷を設定する.....	84	6-11-2	本体メモリから文書を呼び出す...	112
6-8-1	ピッチ長を設定する.....	84	6-11-3	本体メモリから選択した文書を 削除する	113
6-8-2	ピッチ印刷時のピッチカット 方法を変える.....	87	6-11-4	本体メモリからすべての文書を 削除する	114
6-8-3	縦書き・横書きを設定する.....	88	6-11-5	USBメモリに文書を保存する...	115
6-9	反転印刷する.....	89	6-11-6	USBメモリから文書を 読み込む	117
6-10	オプションキーで設定 できること	90	6-11-7	USBメモリのファイルを 削除する	118
6-10-1	チューブウォーマーを使う (LM-550W2・LM-500W2のみ) ..	90	6-12	よく使う語句を登録する/ 呼び出す	119
6-10-2	書体を選択する.....	92	6-12-1	語句を登録する.....	119
6-10-3	印字濃度を調整する	94	6-12-2	登録した語句を呼び出す	120
6-10-4	低温時の印刷モード.....	95	6-12-3	登録した語句を削除する	121
6-10-5	先頭空送りする・しないを設定する...	96	6-12-4	登録した語句をすべて 削除(初期化)する.....	121
6-10-6	「6,9」の印字を変える.....	97			
6-10-7	上下印字位置を調整する.....	98			
6-10-8	ハーフカット位置を調整する.....	99			
6-10-9	オートオフ機能を設定する.....	100			
6-10-10	ピッチ長の初期値を設定する..	101			
6-10-11	連続印刷回数の初期値を 設定する	102			
6-10-12	文字配置を変える	103			
6-10-13	連番を連続印刷する際の順序を 設定する	104			

第6章 機能を使いこなす

6-1 文字高さを変える

文字の高さ(サイズ)をブロック **B** 単位で変更します。
初期値は「通常オート」で、印刷物のサイズやピッチ長に合わせ最適な文字高さに自動設定します。設定できる文字高さは以下の通りです。

6.0mm	24V	3.0mm	24V	2.0mm	24V
4.0mm	24V	2.4mm (英数、 一部の記号のみ)	24V	1.3mm	24V

- 1 文字高さを変更したい **B** またはブロックに
⏪ **⏩** でカーソルを合わせ、**印字長
文字高** を押します。

現在の設定が表示されます。



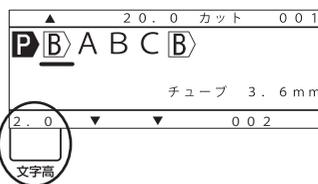
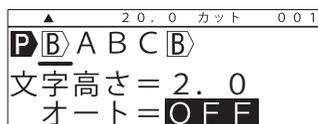
- 2 **⏪** **⏩** で文字高さを変更します。



- 3 **▼** でオートに移り、**⏪** **⏩** でON/OFFを
切り替え、**確定** を押します。

文字高さを指定する場合は、文字高さ選択後「オート」を
OFFに設定してください。または「幅オート」を選択後、
文字高さを設定してください。

設定内容により、以下の項目が画面に表示されます。



通常オート	Nオート
拡張オート	Sオート
幅オート	Wオート
OFF	文字高さ

オート機能で自動調整される項目一覧

	文字高さ	文字幅	文字間・行間
通常オート	自動調整	自動調整	狭い
拡張オート	自動調整	自動調整	自動調整
幅オート	固定(手動)	自動調整	自動調整
OFF	固定(手動)	固定(手動)	固定(手動)

MEMO

- ☆「文字高さ」を 2.4mm で設定したブロックに英数字・一部の記号以外の文字（ひらがな、カタカナ、漢字等）がある場合は、その行のすべての文字を 2.0 mm で印刷します。
- ☆「オート」を OFF にした場合、印刷物のサイズ、ピッチ長により印刷高さオーバーのエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は文字高さを小さくしてください。
- ☆印字長モードの場合、文字高さ「オート」は設定できません。
- ☆ 2.4mm で使用できる記号一覧

!	エクスクラメーションマーク	/	スラッシュ
?	クエスチョンマーク	*	アスタリスク
#	シャープ	+	プラス
(左かっこ	-	マイナス
)	右かっこ		スペース
~	チルダ	,	カンマ
=	イコール	.	ドット

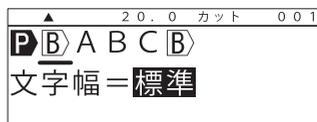
6-2 文字幅を変える

文字幅をブロック [B] 単位で変更します。設定できる文字幅は以下の通りです。
(初期値:標準)



1 文字幅に変更したい [B] またはブロックに [K] [R] で
カーソルを合わせ、 を押します。

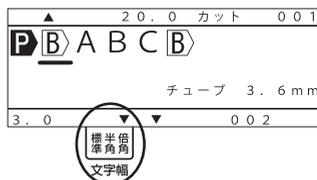
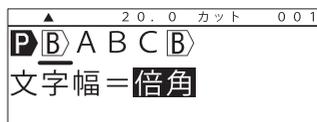
現在の設定が表示されます。



2 [K] で「標準」・「半角」・「倍角」を切り替え、

 を押します。

設定された文字幅に [▼] マークが点灯します。



MEMO

文字高さオート機能を設定時はオート機能が優先されます



6-3 文字間隔や行間隔を変える

作成した文書の「文字間隔」や「行間隔」を設定します。

「文字間隔」・「行間隔」とも「標準」・「狭い」・「密着」・「広い」から選択できます。
(初期値:標準)

1  を押します。

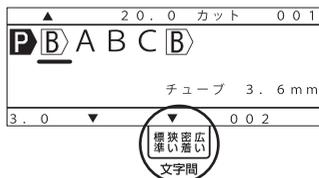
現在の設定が表示されます。

【字間・行間】
字間 = 標準
行間 = 標準

2   で「字間」・「行間」を選び、  で「標準」・「狭い」・「密着」・「広い」を切り替え、
 を押します。

設定された文字間に[▼]マークが点灯します。

【字間・行間】
字間 = 狭い
行間 = 標準



MEMO

- ☆文字間・行間ともブロック  ごとに異なる間隔を設定することはできません。文書全体で1つのみ(全ブロック共通)です。
- ☆文字間隔・行間隔設定は、文字高さ設定で「オート」がOFFのときのみ有効となります。
- ☆「印刷高さオーバー」または「ピッチ長オーバー」のエラーメッセージが表示された場合は、カーソルがあるブロックの文字サイズを小さくするか、文字間・行間を減らす調整を行ってください。

6-4 文字を枠で囲む

作成した文書すべて(全ブロック)に枠囲みを設定します。
「なし」・「狭い」・「標準」・「広い」から選択できます。(初期値:なし)



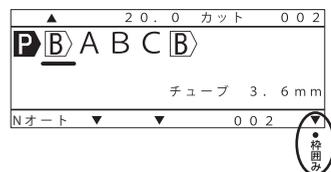
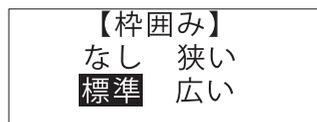
1 **シフト** + **枠囲み連続** を押します。

現在の設定が表示されます。



2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「なし」・「狭い」・「標準」・「広い」を切り替え、**確定** を押します。

「なし」以外を設定すると、「枠囲み」の▼マークが点灯します。



MEMO

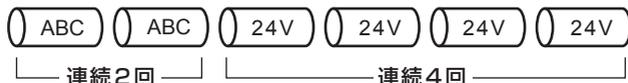
- ☆ピッチモード時はブロック毎に枠囲みします。
- ☆印字長モード時は文書全体を枠囲みします。

6-5 連続印刷回数を設定する

ブロック毎に連続印刷回数を1～300回の間で設定できます。

(初期値 チューブ: 2回、 テープ・記名板・ラベル: 1回)

初期値は [オプション] - [各種設定] - [連続初期値] で設定できます。



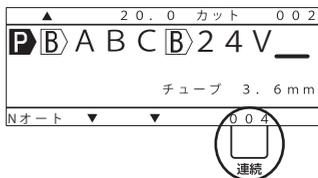
- 1 連続印刷回数を変更したい [B] またはブロックに [左向き矢印] [右向き矢印] でカーソルを合わせ、 [印刷/連続] を押します。

現在の設定が表示されます。



- 2 数字キーで値を入力するか、 [左向き矢印] [右向き矢印] で値を増減して、 [確定] を押します。

設定された連続印刷回数が表示されます。



MEMO

☆印字長モード時は、文書全体で1つの連続印刷数設定となります。

☆印字長モード時に「連続」印刷回数を設定すると、ブロック間の処理は自動的にハーフカットになります。

6-6 アンダーラインを設定する

ブロック毎にアンダーラインを設定できます。

(COM) (COM) (X01) (X01)

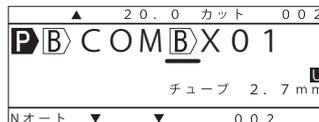
- 1 アンダーラインを設定したい **B** またはブロックに **◀▶** でカーソルを合わせ、**枠囲み連続** を押します。
(図ではX01にアンダーラインを入れます。)



- 2 **▼** で下線=しないにカーソルを合わせ **◀▶** で下線=するに設定し、**確定** を押します。



- 3 アンダーラインが設定されたブロックにカーソルを合わせるとアンダーラインマークが表示されます。



MEMO

- ☆アンダーライン設定はブロック毎に設定できますが、ブロック内の特定の文字だけを設定することはできません。
- ☆下線は枠囲み設定や反転印刷設定されている場合には印刷されません。

6-7 連番を設定する

文書に連番を設定します。設定できる連番種類は以下の通りです。

連番種類	設定範囲	印字イメージ
8進数	0～7777	<input type="radio"/> MC5 <input type="radio"/> MC6 <input type="radio"/> MC7 <input type="radio"/> MC10 <input type="radio"/> MC11
10進数	0～9999	<input type="radio"/> X001 <input type="radio"/> X002 <input type="radio"/> X003 <input type="radio"/> X004 <input type="radio"/> X005
16進数	0～FFFF	<input type="radio"/> F08 <input type="radio"/> F09 <input type="radio"/> F0A <input type="radio"/> F0B <input type="radio"/> F0C
大文字アルファベット	A～Z	<input type="radio"/> 出力A <input type="radio"/> 出力B <input type="radio"/> 出力C <input type="radio"/> 出力D <input type="radio"/> 出力E
小文字アルファベット	a～z	<input type="radio"/> モニタa <input type="radio"/> モニタb <input type="radio"/> モニタc <input type="radio"/> モニタd <input type="radio"/> モニタe
連番2個組合せ	各連番種類に依存	<input type="radio"/> A001 <input type="radio"/> B002 <input type="radio"/> C003 <input type="radio"/> D004 <input type="radio"/> E005
連番3個組合せ	各連番種類に依存	<input type="radio"/> A001a <input type="radio"/> B002b <input type="radio"/> C003c <input type="radio"/> D004d <input type="radio"/> E005e

1 連番を設定したい位置に でカーソルを合わせ、 を押します。



2 で連番種類を選び、 を押します。



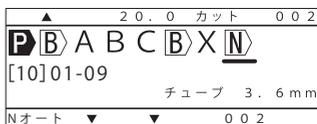
3 「開始」の値を入力して で「終了」に移り、値を入力して を押します。

4 で印刷したい範囲を「すべて」「奇数のみ」「偶数のみ」から選び、 を押します。



連番設定を示す が表示されます。

にカーソルを合わせると連番種類と設定範囲が表示されます。



MEMO

- ☆連番 は1ブロックあたり3個、文書全体で45個まで設定できます。
- ☆開始に「10」、終了に「1」を入力すると「10、9、8、7…3、2、1」と連番を降順で設定できます。
- ☆印字長モード時に連番 を設定すると、強制的にハーフカットされます。また、印字長モード時には文書全体で1個のみ設定できます。
- ☆1ブロックあたり連番を2個または3個設定時、それぞれの印刷個数が異なる場合、少ない個数を優先し、それ以上は印刷されません。

6-8 ピッチ印刷を設定する

6-8-1 ピッチ長を設定する

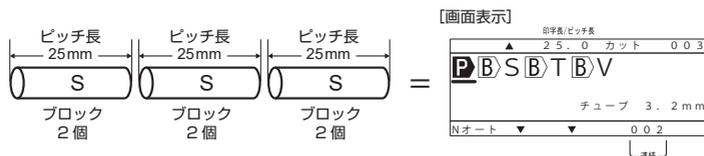
ピッチ長を設定します。カーソル位置のブロックの先頭に **P** があるときは、設定されたピッチ長を変更し、**P** がいないときは、ブロックの先頭にピッチ長設定とともに **P** を挿入します。

ピッチ長の設定範囲、初期値は以下の通りです。

印刷物	設定範囲 (0.1 mm単位)	初期値
チューブ	10 ~ 60mm または オート	20mm
テープ	3.5 ~ 60mm または オート	10mm
記名板	2.5 ~ 60mm または オート	10mm
デバイスラベル	設定不可	設定不可

初期値は、「オプション」→「各種設定」→「ピッチ長初期値」で設定・変更することができます。

<すべてのブロックのピッチ長を25mmに設定する>



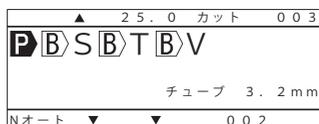
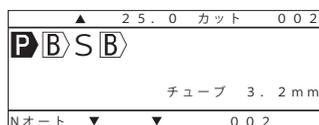
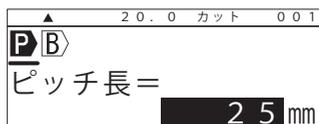
1 **⏪** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ピッチ長** を押します。

2 **2** **5** と入力して、**確定** を押します。

3 **⏪** **⏩** で **B** の直後にカーソルを合わせ、**S** と入力して **USBメモリ取外し改ブロック** を押します。

4 **T** と入力して **USBメモリ取外し改ブロック**、続けて **V** と入力します。

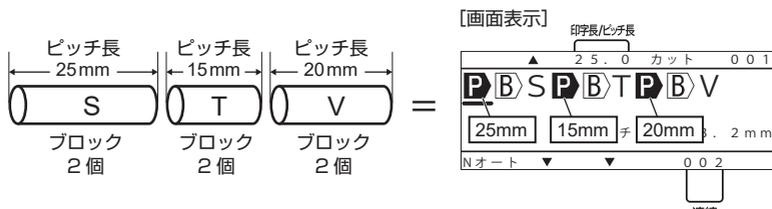
3ブロックともピッチ長が25mmのため、**P** は1つだけ設定されます。



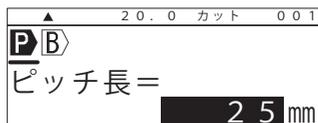
<ブロック毎に異なるピッチ長を設定する>

1文書に**P**を最大999個まで設定できます。

「ピッチ長」が変わるごとに複数の**P**が表示されます。

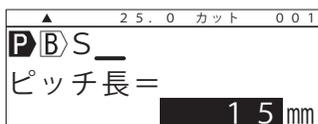


1 **K** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ピチカト** を押します。



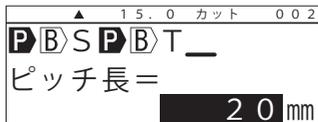
2 **2** **5** と入力して、**確定** を押します。

3 **B** の直後にカーソルを合わせ、**S** が行 と入力します。



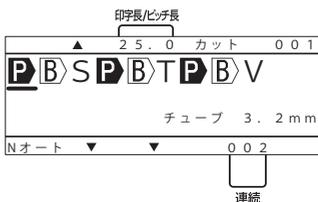
4 **ピチカト** を押し、**1** **5** と入力して **確定** を押します。

5 **P** と **B** が挿入されるので、**B** の後に **T** が行 と入力します。



6 ピッチ長を押し、**2** **0** と入力して、**確定** を押します。

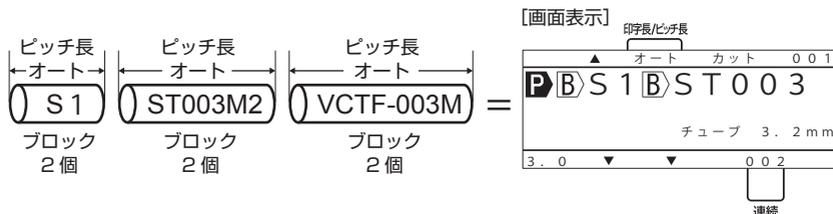
7 **P** と **B** が挿入されるので、**B** の後に **V** と入力します。



ピッチ長が3ブロックとも異なるため、ブロックごとに **P** が設定されます。

<ピッチ長オートを設定する>

ピッチ長オートとは、入力された文字数に応じてピッチ長を自動で変える機能です。
ピッチ長オートは入力中の文書全体に設定され、ピッチ長指定の **P** と混在できません。



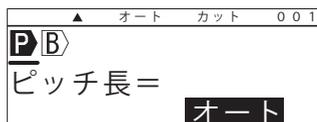
1 **⏪** で先頭の **P** にカーソルを合わせ、**ピッチ長** を押します。

2 **▲** **▼** で「オート」を選び、**確定** を押します。

3 **S** **が**行 **1** と入力して **USBメモリ取し改ブロック** を押します。

4 **S** **が**行 **T** **な**行 **0** **0** **3** **M** **+** **2** と入力して **USBメモリ取し改ブロック** を押します。

5 **V** **=** **C** **~** **T** **な**行 **F** **だ**行 **長音** **-** **0** **0** **3** **M** **+** と入力します。



MEMO

- ☆ 1 文書の中に **P** を最大 999 個まで入力できます。1000 個以上入力しようとすると「**P** 数オーバー」とエラーを表示します。
- ☆ 設定したピッチ長が直前の **P** と同じ場合には、**P** は追加されません。
- ☆ 文書内に複数の **P** がある場合、先頭の **P** は削除できません。必ず先に他の **P** を削除してください。
- ☆ ピッチ長オート設定時の最小ピッチ長は、「オプション」 - 「各種設定」 - 「ピッチ長初期値」で設定した長さです。

6-8-2 ピッチ印刷時のピッチカット方法を変える

ピッチ印刷時のブロック間の処理（ピッチカット）を設定します。
設定範囲、初期値は以下の通りです。

印刷物	設定範囲	初期値
MAX チューブ (～φ 6.4)	なし・実線・点線・ハーフカット	ハーフカット
MAX チューブ (φ 8.0)	なし・実線・点線・ハーフカット	点線
その他チューブ (～φ 6.5)	なし・実線・点線・ハーフカット	ハーフカット
その他チューブ (φ 8.0)	なし・実線・点線	点線
テープ	なし・実線・点線・ハーフカット	実線
記名板	なし・実線・点線	実線
デバイスラベル	設定不可	設定不可

1 + を押します。

現在の設定が表示されます。



2 で「なし」・「実線」・「点線」・「ハーフカット」を切り替え、 を押します。



現在のピッチカット設定が以下の通り画面に表示されます。

なし	: —
実線	: ライン
点線	: テンセン
ハーフカット	: カット



MEMO

☆印字長モードにはピッチカットは設定できません。

☆ハーフカットは記名板および MAX 純正以外のφ 6.5 より太いチューブでは設定できません。

6-8-3 縦書き・横書きを設定する

作成した文書の印刷方向（縦書き / 横書き）を設定します。（初期値：横書き）

1 **シフト** + **縦・横
字・行間** を押します。

現在の設定が表示されます。

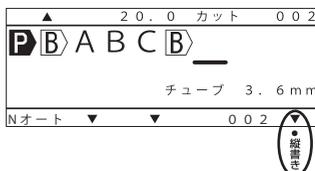


2 **左向き矢印** **右向き矢印** で「縦書き」・「横書き」を切り換え、

確定 を押します。



「縦書き」を設定すると、「縦書き」の[▼]マークが点灯します。



MEMO

☆チューブとチューブ以外（テープ、記名板、ラベル）では縦書きのレイアウトが異なります。

入力例 **P B X 1 O B X 2 O B X 3 O**

チューブの場合： **(X - O) X 2 O (X 3 O)**

テープ・記名板・ラベルの場合： **X 1 O X 2 O X 3 O**

入力例 **P B X 1 O A S B X 2 O A S B X 3 O**

チューブの場合： **(X A S O) X 2 O (X 3 O)**

テープ・記名板・ラベルの場合： **X 1 A S X 2 A S X 3 O**

☆また、ピッチ印刷をしない場合でも縦書きのレイアウトは異なります。

入力例 **B X 1 O B X 2 O B X 3 O**

チューブの場合： **(X - O X 2 O X 3 O)**

テープ・記名板・ラベルの場合： **X - O X 2 O X 3 O**

入力例 **B X 1 O A S B X 2 O A S B X 3 O**

テープ・記名板・ラベルの場合： **X A S O X 2 A S O X 3 O**

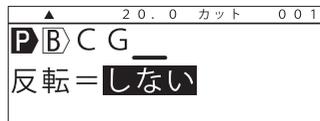
6-9 反転印刷する

印刷領域を塗りつぶし、入力されている文字を抜き文字として印刷します。



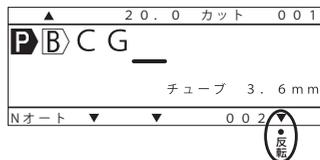
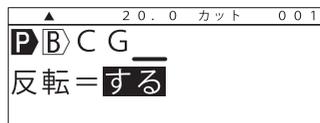
- 1 反転印刷を設定したい **B** またはブロックに **⏪** **⏩** でカーソルを合わせ、**シフト** + **反転文字権** を押します。

現在の設定が表示されます。



- 2 **⏪** **⏩** で「する」・「しない」を切り替え、**確定** を押します。

「する」を設定すると、「反転」の **▼** マークが点灯します。



MEMO

- ☆ 文書全体に反転印刷を設定するには、**P** にカーソルを合わせ、反転を設定してください。
- ☆ 反転印刷の場合、印刷物にリボンが貼りついてしまうなど印字不良の原因となることがあります。その場合は 94 ページにしたがい、印字濃度を低く設定することをおすすめします。

6-10 オプションキーで設定できること

では以下の項目が設定できます。

PCダイレクト印刷: 専用PCソフトからの直接印刷機能を有効にします。

PCファイル転送: 専用PCソフトからのデータ転送機能を有効にします。

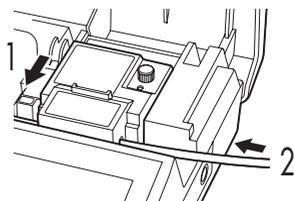
チューブウォーマー: 低温時、チューブを温め柔らかくして印字品質を向上させるチューブウォーマー機能を有効にします。

各種設定: 「印刷フォント」「印字濃度」、「低速モード」、「先頭空送り」、「6、9印字」、「上下印字位置」、「カット位置」、「オートオフ」、「ピッチ長初期値」、「連続初期値」、「文字配置」、「連番印刷順序」、「表示濃度」、「LCDバックライト」、「基本設定登録」、「ピリオド付加」、「ラベル先端送り量」

6-10-1 チューブウォーマーを使う(LM-550W2、LM-500W2のみ)

気温 20℃以下の環境では、チューブが硬くなり印字がかすれたり、欠けたりする場合があります。この場合は、チューブウォーマーを使うことでチューブを温め柔らかくして印字品質を向上させることができます。(使用可能チューブ径：φ 2.5 ～φ 4.2)

1 文書入力後、チューブウォーマーをカチッとなるまで下にスライドします。



2 入口からチューブを挿入します。

3  を押し、 で「チューブウォーマー」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

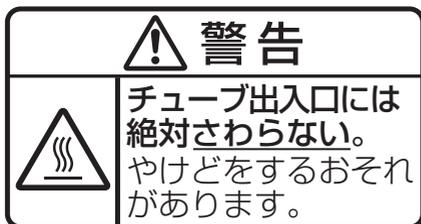
4   で「ON」を選び、 を押します。

ウォーマー部のLEDランプが点灯し、加温します。

※一定温度になると自動的に加温を停止し、LEDランプは消灯します。

※一定温度を下回ると再度LEDランプが点灯し、加温を開始します。

※チューブが硬い場合は、チューブや気温に合わせて温度調整ダイヤルを回して調整してください。



5  を押します。

印刷を開始します。

MEMO

- ☆チューブウォーマーで使えるチューブ径は、内径φ 2.5 ~ 4.2 mmまでです。
- ☆上記以外のチューブ径、またはチューブ以外の印刷物を設定している場合は、チューブウォーマーを ON に設定できません。
- ☆チューブウォーマーを ON に設定後、対応サイズ外のチューブ、チューブ以外の印刷物を選択すると、チューブウォーマーは OFF 設定になります。
- ☆電源 OFF すると、チューブウォーマー設定は OFF になります。
- ☆チューブウォーマーを ON にした状態でチューブをセットしたままにすると、チューブが温まり過ぎて正常に印字できない場合がありますので、ご注意ください。
- ☆充電電池使用時は、チューブウォーマーは使用できません。
- ☆低温下(概ね 15℃以下)で使用する場合は、必ず AC アダプタでご使用ください。低温下では電池性能が低下し、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。

6-10-2 書体を選択する

英数字の印刷書体を「標準」・「太字」・「明快」・「正方形」の4書体から選択します。

設定範囲：標準・太字・明快・正方形

初期値：標準

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「印刷フォント」を選び、 を押します。

【各種設定】 ▲
印刷フォント
印字濃度
低速モード ▼

4     で「標準」・「太字」・「明快」・「正方形」から書体を選択し、 を押します。

【印刷フォント】
標準 太字
明快 正方形

MEMO

- ☆英数字のみ「標準」・「太字」・「明快」・「正方形」の書体を選択できます。
- ☆「太字」・「明快」・「正方形」を設定した場合、英数字と英数字以外の文字（漢字・かな・カナ・記号）が組み合わせさせた文書では、文字のバランスが悪くなる場合があります。
- ☆実際に印刷される文字高さは書体・文字によって異なります。

本モデルでは従来の標準書体・太字書体に加え、特徴あるオリジナル書体を搭載しております。

明快書体: 文字判別性を向上させる目的で作られた、特徴を持たせた書体です。

書体例

0	0(オー)と区別する為に斜線が入っています。
6 9	8と見間違えないよう、形状を変えています。
8	上下がわかるよう上の円を小さくしています。

正方形書体: 全体的に太く、縦横比を1:1に統一した書体です。
注:実際の文字サイズは設定した文字サイズより小さくなります。
文字サイズを調整してお使いください。

6-10-3 印字濃度を調整する

印字の濃度（印刷される文字の濃さ）を調整します。

設定範囲：1～8（8段階）

初期値：4（薄い方から4番目）

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「印字濃度」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
印刷フォント
印字濃度
低速モード ▼

4   で調整し、 を押します。

【印字濃度】
■ ■ ■ ■ □ □ □ □
薄 ← → 濃

MEMO

☆インクリボンとチューブが貼りついてしまうときは、印字濃度を薄めにしてお試しください。

6-10-4 低温時の印刷モード

気温20℃以下の環境では、チューブへの印字がかすれる場合があります。
この場合は「低速モード」（印字速度20mm/秒）を設定してお試してください。

設定範囲：「する」・「しない」

初期値：「しない」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「低速モード」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
印刷フォント
印字濃度
低速モード ▼

4   で「する」・「しない」を切り替え、 を押します。

【低速モード】

する しない

MEMO

☆低速モードの設定は、再度設定を変更するまで有効です（電源OFFでは初期化されません）。

6-10-5 先頭空送りする・しないを設定する

冬の低温時など、チューブが硬くなり、先頭の2～3個で印字がかすれたり欠けたりする場合があります。この場合は先頭空送り「する」に設定し、先端部分（約57mm）を空送りしてから印刷を行ってください。

設定範囲：「する」「しない」

初期値：「しない」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「先頭空送り」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
先頭空送り
6、9印字
上下印字位置 ▼

4   で「する」・「しない」を切り替え、 を押します。

【先頭空送り】

する しない

MEMO

☆先頭空送り「しない」設定でも、機能構造上先端に約17mmの余白が付きます。

6-10-6 「6、9」の印字を変える

文書中の「6」と「9」の印字方法を設定します。

設定範囲：標準「6 9」、下線「6 9」、付点「6. 9.」

初期値：標準「6 9」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「6、9印字」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
先頭空送り
6、9印字
上下印字位置 ▼

4   で「標準」・「下線」・「付点」を切り替え、 を押します。

【6、9印字】
標準 (6 9)
下線 (6 9)
付点 (6. 9.)

6-10-7 上下印字位置を調整する

印字位置が上下にずれているときは、上下位置を微調整します。

設定範囲：-10 ~ +12 (1ドット/約0.085mm単位)

初期値：0

プラスの設定値で印字位置が上に、マイナスの設定値で印字が下に移動します。

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「上下印字位置」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
先頭空送り
6、9印字
上下印字位置 ▼

4   で数値を変更し、 を押します。

印字が下にずれている場合：+1~+12 (印字が上に移動)

印字が上にずれている場合：-1~-10 (印字が下に移動)

【上下印字位置】
+ 1 0

プラス設定値



マイナス設定値

6-10-8 ハーフカット位置を調整する

印字位置が中央からずれているときは、ハーフカットの位置を調整します。

設定範囲 : -2.0 ~ +2.0mm (0.1mm単位)

初期値 : 0.0mm

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「カット位置」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
カット位置
オートオフ
ピッチ長初期値 ▼

4   で数値を変更し、 を押します。

印字位置が中央から右にずれている場合：

+0.1 ~ +2.0mm (印字が左に移動)

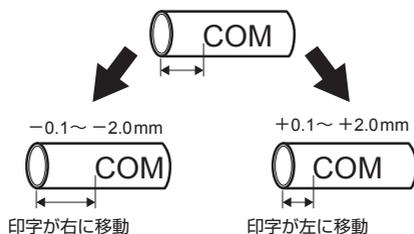
印字位置が中央から左にずれている場合：

-0.1 ~ -2.0mm (印字が右に移動)

【カット位置】

0.5mm

印字位置が中央からずれている場合



6-10-9 オートオフ機能を設定する

自動で電源OFFにする「オートオフ」機能を設定します。最後にキー操作してから5分経過すると自動で電源がOFFになります。

設定範囲：「する」・「しない」

初期値：「する」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「オートオフ」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
カット位置
オートオフ
ピッチ長初期値 ▼

4   で「する」・「しない」を切り替え、 を押します。

【オートオフ】

する **しない**

MEMO

☆電池使用時は、「する」・「しない」の設定に関わらず5分経過すると自動で電源がOFFになります。

6-10-10 ピッチ長の初期値を設定する

ピッチ印刷する場合のピッチ長の初期値を設定します。ここで設定した値は、ピッチ長設定時の初期値として表示されます。



<チューブの場合>

設定範囲 : 10.0 ~ 60.0mm (0.1mm単位)

初期値 : 20.0mm

<その他(テープ・記名板)の場合>

設定範囲 : 4.0 ~ 60.0mm (0.1mm単位)

初期値 : 10.0mm

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「ピッチ長初期値」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
カット位置
オートオフ
ピッチ長初期値 ▼

4   で「チューブ」または「その他」を選び、
  で数値を変更して  を押します。

【ピッチ長初期値】
チューブ **20.0**mm
その他 10.0mm

6-10-11 連続印刷回数の初期値を設定する

連続で印刷する回数（個数・枚数）の初期値を設定します。ここで設定した回数（個数・枚数）ずつ連続で印刷します。



<チューブの場合>

設定範囲：1～300回

初期値：2回

<その他（テープ・記名板・ラベル）の場合>

設定範囲：1～300回

初期値：1回

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「連続初期値」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】
連続初期値
文字配置
連番印刷順序

4   で「チューブ」または「その他」を選び、  で数値を変更して  を押します。

【連続初期値】
チューブ 4回
その他 1回

6-10-12 文字配置を変える

印字長モード時の文書の文字配置を変更します。
ピッチ長モード時には文字配置変更はできません。

設定範囲：「前」・「中央」・「後」

初期値：「中央」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「文字配置」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
連続初期値
文字配置 ▼
連番印刷順序

4   で「前」・「中央」・「後」を切り替え、 を押します。

【文字配置】
前 中央 後

6-10-13 連番を連続印刷する際の順序を設定する

連番を連続で印刷するときの出力順序を設定します。

設定範囲：

「連続優先」					
X1	X1	X2	X2	X3	X3

「連番優先」					
X1	X2	X3	X1	X2	X3

初期値：「連続優先」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「連番印刷順序」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】	
連続初期値	
文字配置	
連番印刷順序	

4   で「連続優先」・「連番優先」を切り替え、

 を押します。

【連番印刷順序】
連続優先 11 22 33
連番優先 123 123

MEMO

- ☆連番印刷順序の設定は「連番機能」を使用して入力した連番にのみ有効です。手入力した連番は対象外です。
- ☆内部メモリおよび外部メモリに文書を保存する際、連番印刷順序の設定は保存されません。

6-10-14 画面表示濃度を調整する

画面の表示濃度を調整します。

設定範囲 : 1~8 (8段階)

初期値 : 4 (薄い方から4番目)

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「表示濃度」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
表示濃度
LCDバックライト
基本設定登録 ▼

4   で調整し、 を押します。

【表示濃度】
■ ■ ■ ■ ■ ■ □ □
薄 ← → 濃

MEMO

☆表示画面が判読できない状態になったときは、電源 ON した直後に **P** または **L** を押すことで表示濃度を1目盛ずつ調整できます。

P : 表示濃度を1目盛濃くします。

L : 表示濃度を1目盛薄くします。

6-10-15 LCDバックライトの明るさを変える

LCDバックライトの明るさを変更できます。

「暗」に設定すると、明るい場所で作業をする場合の省電力モードとして使用できます。

設定範囲：「明」・「暗」

初期値：「明」

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「LCDバックライト」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
表示濃度
LCDバックライト
基本設定登録 ▼

4   で「明」・「暗」を切り替え、 を押します。

【バックライト】

明 

6-10-16 印刷の基本設定を登録/適用する

印刷の基本設定（印字濃度・上下印字位置・カット位置）を組み合わせで登録しておき、印刷物選択の際に指定することができます。登録できる組み合わせは6パターンです。印刷物ごとにオリジナルの印刷設定を適用することができます。

基本設定項目と設定範囲

基本設定項目	設定範囲
印字濃度	8段階（1～8）
上下印字位置	-10～+12（1ドット/約0.085mm単位）
カット位置	-2.0～+2.0mm（0.1mm単位）

- 1  を押します。
- 2   で「各種設定」を選び、 を押します。
- 3   で「基本設定登録」を選び、 を押します。
【基本設定登録画面】が表示されます。
- 4   で登録したい行を「NO.1」～「NO.6」から選び、 を押します。
- 5   で印字濃度を調整し、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

【各種設定】 ▲
表示濃度
LCDバックライト
基本設定登録 ▼

【基本設定登録】
NO. 1
NO. 2
NO. 3

【基本設定登録】
・印字濃度
■ ■ ■ ■ □ □ □ □
薄 ← → 濃

6   で「上下印字位置」の数値を変更し、
 を押します。

【基本設定登録】
・上下印字位置
+ 1

7   で「カット位置」の数値を変更し、
 を押します。

【基本設定登録】
・カット位置
+ 0.1

8 登録名を英数字で入力します。
既存で表示された登録名は新規に文字を入力すると削除
されます。

【基本設定登録】
・登録名
TUBE-05 ■

9  を押します。
設定が登録されます。

<登録した基本設定を適用するには>

1 本機の電源をONにします。
文書入力後に適用する場合は  +  を
押します。

2 「印刷物」「サイズ」を順に選び、 で「通常の
設定」に移ります。

【印刷物選択】
一般チューブ
サイズ= 3.2 mm
通常の設定

3   で適用したい基本設定を選び  を
押します。
選択した基本設定が適用されます。

【印刷物選択】
一般チューブ
サイズ= 3.2 mm
TUBE-05

MEMO

☆通常設定のまま  を押すと、「オプション」-「各種設定」の「基本設定登録」では
なく「印字濃度」、「上下印字位置」、「カット位置」で個別に設定した値が適用されます。

6-10-17 ピリオドを一括で付加する

全ての行の末尾にピリオドを一括で付加することができます。

1  を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

3   で「ピリオド付加」を選び、 を押します。

【各種設定】 
ピリオド付加
ラベル先端送り量 

4 「付加」を選択し、確定を押します。
解除でピリオドが削除されます。

【ピリオド付加】
付加 解除

5 入力画面に戻るとピリオドが入力された状態で表示されます。

6-10-18 ラベル先端送り量 (LM-550W2のみ)

デバイスラベルに印字する際、アタッチメントの位置合わせラインとラベルの先端 (左端) が合っていないかったり、送りローラーが摩耗したりすると、印字がずれる原因になります。そのような場合は、ラベルの送り量を調整して再度印刷してください。

設定範囲 : -2.0 ~ +20.0mm (0.1mm単位)

初期値 : 0.0mm

1  を押します。

2  で「各種設定」を選び、 を押します。

PCダイレクト印刷
PCファイル転送
チューブウォーマー
各種設定

※LM-500F2ではこの画面は表示されません。

3   で「ラベル先端送り量」を選び、 を押します。

現在の設定が表示されます。

【各種設定】 ▲
ピリオド付加
ラベル先端送り量 ▼

4   で数値を変更し、 を押します。

【ラベル先端送り量】

+ 0.3mm

印字位置が中央から右にずれている場合:
-0.1 ~ -20.0mm (ラベル送り量を減らす)

+SV NC 12V 24V

印字位置が中央から左にずれている場合:
+0.1 ~ +20.0mm (ラベル送り量を増やす)

+SV NC 12V 24V

6-11 メモリに保存する/呼び出す/削除する

作成した文書や設定情報は、本体のメモリおよび USB メモリに保存、呼び出しできます。

6-11-1 本体メモリに文書を保存する

本体メモリに文書を保存します。

レタツイン本体には、最大50ファイルまで文書を保存できます。

1ファイルあたりの文字数は最大5,000文字、全体の合計文字数は最大250,000文字です。

1 文書入力後、 を押します。

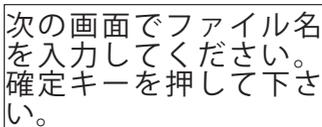
2     で「保存」を選び、 を押します。



3 数字を直接入力するか、  で保存する文書番号を選び、 を押します。



4 右の画面が表示されます。
 を押します。

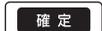


5 ファイル名を10文字以内で入力し、
 を押します。



「保存中」の表示が消えたら保存完了です。

※すでに同じ番号で文書が登録済みの場合、確認メッセージが表示されるので、  で「する」を選び、

 を押します。

既存データを消去して
上書きします
 

6-11-2 本体メモリから文書を読み出す

本体メモリから文書を読み出します。

1  を押します。

2     で「呼出」を選び、 を押します。

【本体メモリ】
 保存
削除 初期化

3 数字を直接入力するか、  で呼び出す文書番号を選び、 を押します。

【文書呼出】画面では以下が表示されます。

1行目: 文書番号 (1~50)

2行目: ファイル名

3行目: データ

【文書呼出】
文書番号 = 
MAX
  C O M  C T

4 メッセージが表示されるので、  で「する」を選び、 を押します。

作成中の文書は
消去されます
 しない

「呼出中」の表示が消えたら呼び出し完了です。

MEMO

☆メモリに保存されるのは次の情報です。

- 印刷物 (チューブ / テープ / 記名板 / ラベル) ●入力文字 ●文字高さ ●文字幅 ●連番
- 連続 ●ピッチ長 (印字長) ●余白 ●反転 ●縦書き / 横書き ●ピッチカット
- 枠囲み ●文字配置 ●文字間 ●行間 ●印刷フォント ●アンダーライン

☆保存ファイルがない場合、「保存ファイル無し」と表示されます。

6-11-3 本体メモリから選択した文書を削除する

本体メモリに保存された文書を削除します。

1  を押します。

2     で「削除」を選び、 を押します。

【本体メモリ】
呼出 保存
削除 初期化

3 数字を直接入力するか、  で削除する文書番号を選び、 を押します。

【文書削除】画面では以下が表示されます。

1行目: 文書番号 (1~50)

2行目: ファイル名

3行目: データ

【文書削除】
文書番号 = 
MAX
P B C O M B C T

4 確認メッセージが表示されるので、  で「する」を選び、 を押します。

「削除中」の表示が消えたら削除完了です。

選択した文書を
消去します
 しない

MEMO

☆保存ファイルがない場合、「保存ファイル無し」と表示されます。

6-11-4 本体メモリからすべての文書を削除する

本体メモリ内の文書をすべて削除（初期化）します。

1  を押します。

2     で「初期化」を選び、 を押します。

【本体メモリ】
呼出 保存
削除 **初期化**

3 確認メッセージが表示されるので、  で「する」を選び、 を押します。
「初期化中」の表示が消えたら削除完了です。

【文書初期化】
する しない

MEMO

☆文書の初期化にはデータ量によって時間がかかる場合があります。故障の原因となりますので、初期化の最中に電源を OFF したり電源プラグをコンセントから抜かないでください。

6-11-5 USBメモリに文書を保存する(書き出す)

市販のUSBメモリを使用して、作成した文書の保存、呼び出しができます。USBメモリには、レタツイン専用のLMFファイル形式、またはCSVファイル形式で保存できます。

各ファイル形式で保存できる主な内容は以下の通りです。

保存項目	LMF形式	CSV形式
文字	○	○
選択した印刷物(チューブ・テープ等)	○	×
設定値(文字高さ・ピッチ長等)	○	×

1 文書入力後、本体のUSBポートにUSBメモリを挿し込みます。



2  +  を押します。

3   で「書出」を選び、 を押します。



4 フォルダ、拡張子、ファイル、日付の順に設定し、 を押します。



詳細は次ページを参照してください。

項目の設定内容および入力規則は以下の通りです。

項目	設定内容	入力可能文字
フォルダ	新規でフォルダ名を付けるか、   ですすでにあるフォルダ名を選び、保存先を指定します。	英大文字 (A ~ Z) および数字 (0 ~ 9) のみ、8文字以内。
拡張子	  で LMF・CSV のいずれかを選びます。LMF 形式では文書内容のほか、印刷物 (チューブ / テープ / 記名板 / ラベル) と設定値 (文字高さ、ピッチ長など) も保存されます。CSV 形式は文書内容のみ保存されます。	LMF・CSV のいずれかを選ぶ。
ファイル	作成した文書にファイル名を付けます。	英大文字 (A ~ Z) と数字 (0 ~ 9) を組み合わせて 8 文字以内で入力可。
日付	保存するファイルの日付 (年 / 月 / 日) を指定します。	年 / 月 / 日とも2桁ずつ (例: 17/08/01) 入力。数字 (0 ~ 9) のみ入力可。

5 「する」を選び、 を押します。

USBメモリに文書が保存されます。

初めてUSBメモリに保存する場合や新規でフォルダ名を付けた場合には、「フォルダ作成?」と表示されます。

フォルダ作成?

「する」を選び を押すと、「書込中」と表示され USBメモリに文書が保存されます。

登録済みのフォルダに同じファイル名、拡張子で保存する場合は、「上書き?」と表示されます。

上書き?

「する」を選び を押すと、「書込中」と表示され USBメモリに文書が保存されます。

MEMO

- ☆セキュリティ機能のある USB メモリは使用できません。
- ☆本機にセットした USB メモリにパソコンから直接データを保存したり、呼び出したりすることはできません。
- ☆ USB メモリを外すキー操作をした後、再度読み込み可能とするためには、USB メモリを一旦外してから、再度装着してください。

6-11-6 USBメモリから文書を読み込む

USBメモリに保存してある文書を読み込みます。

読み込める拡張子は、レタツイン専用のLMFファイル形式、またはCSVファイル形式です。

1 本体のUSBポートにUSBメモリを挿し込みます。



2 **シフト** + **USBメモリ** を押します。

3 **◀▶** で「読込」を選び、**確定** を押します。



4 フォルダ、拡張子、ファイルの順に指定し、読み込みたいファイルを選んで **確定** を押します。



5 **◀▶** で「する」を選び、**確定** を押します。

選択した文書が本体に読み込まれます。



MEMO

☆	LMF データ互換機種
LM-550W2	LM-550W2、LM-500W2、LM-500F2、LM-550W、LM-500W、LM-500、LM390T/W、LM-390T、LM-340T、LM-380T/PC、LM-380T、LM-330T、LM370TX、LM-320TX
LM-500W2 / LM-500F2	LM-500W2、LM-500F2、LM-500W、LM-500、LM-340T、LM-330T、LM-370TX、LM-320TX

- ☆ 保存ファイルと現在選択中の印刷物が異なっていても読み込むことができます。
- ☆ LMF 形式でファイルバージョンが合わない場合は「このファイルは読み込めません」と表示し、読み込むことはできません。
- ☆ セキュリティ機能のある USB メモリは使用できません。使用できない USB メモリの場合、「USB メモリ識別不可」と表示されます。

6-11-7 USBメモリのファイルを削除する

USBメモリに保存した文書を削除します。

1 本体のUSBポートにUSBメモリを挿し込みます。



2  +  を押します。

【USBメモリ】

読込 書出 削除

3   で「削除」を選び、 を押します。

【USBメモリ】

読込 書出 削除

4 フォルダ、拡張子、ファイルの順に指定し、削除したいファイルを選んで  を押します。

【USBメモリ削除】

▶フォルダ	LETATWIN
カクチョウシ	LMF
ファイル	MAX003
ヒツケ	17/01/30

5   で「する」を選び、 を押します。

選択したファイルが削除されます。

削除しますか？

する しない

MEMO

☆選択されたファイルがパソコンで「読み取り」専用として設定されている場合、「読み取り専用ファイルです」とメッセージを表示した後、ファイルを削除せずに【USBメモリ削除】画面に戻ります。

6-12 よく使う語句を登録する / 呼び出す

よく使う語句を 30 個（最大 15 文字）まで保存して呼び出せます。

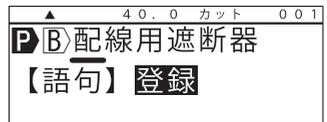
ただし改行マーク、ブロックマーク、ピッチマーク、連番マークは登録できません。

6-12-1 語句を登録する

1 登録したい語句を入力し、**シフト** + **語句連番** を押します。

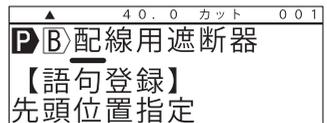


2 **⏪** **⏩** で「登録」を選び、**確定** を押します。



3 登録したい語句の先頭の文字に **⏪** **⏩** でカーソルを合わせ **確定** を押します。

※語句として登録できる文字数は、1語あたり15文字までです。16文字以上はカーソルが移動せず、指定できません。



4 登録したい語句の最後の文字に **⏪** **⏩** でカーソルを合わせ **確定** を押します。



5 1~30の数字を直接入力するか **⏪** **⏩** で登録番号を選び、**確定** を押します。

「保存中」と表示され、元の入力画面に戻れば登録完了です。



語句未登録の番号を選ぶと「一語句未保存」と表示し、登録済みの番号を選ぶと登録語句の先頭10文字を表示します。

6-12-2 登録した語句を呼び出す

呼び出した語句はカーソルの位置に挿入されます。
挿入したい位置にカーソルを合わせて操作してください。

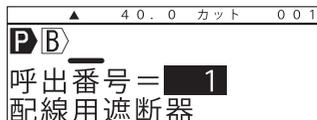
1 語句を挿入したい位置にカーソルを合わせ、 +  を押します。

2 「呼出」と表示されるので  を押します。



3 1～30の数字を直接入力するか、  で呼び出したい語句の番号を選び  を押します。

元の入力画面に戻り、呼び出した語句を表示します。



語句未登録の番号を選ぶと「-語句未保存-」と表示し、登録済みの番号を選ぶと登録語句の先頭10文字を表示します。

MEMO

☆呼び出して挿入する文字が、すでに入力済みの文字と合わせて最大入力文字数 (5000 文字) を超える場合は、「文字数オーバー」と表示し、規定文字数に収まるだけの文字を挿入・表示します。

6-12-3 登録した語句を削除する

1  +  を押します。

2   で「削除」を選び、 を押します。



3 1~30の数字を直接入力するか、  で削除したい語句の番号を選び  を押します。

「削除中」と表示され、元の入力画面に戻れば削除完了です。

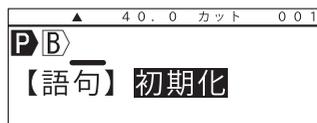


語句未登録の番号を選ぶと「-語句未保存-」と表示し、登録済みの番号を選ぶと登録語句の先頭10文字を表示します。

6-11-4 登録した語句をすべて削除(初期化)する

1  +  を押します。

2   で「初期化」を選び、 を押します。



3   で「する」を選び、 を押します。

「初期化中」と表示され、元の入力画面に戻れば初期化完了です。



第 7 章 印刷オプションを設定する

7-1 印刷イメージを確認する	124
7-2 印刷範囲(部数、開始/終了ブロック)を指定する	125
7-3 180°回転印刷を設定する(チューブのみ)	126
7-4 印刷物全体の長さを補正する	127
7-5 ピッチ印刷ではない印刷方法(印字長モード)	128

第7章 印刷オプションを設定する

7-1 印刷イメージを確認する

入力した文字の印刷イメージを表示します。

1 文字を入力後、を押します。

印刷全長を表示後、印刷物を画面右から左にスクロールしながら表示します。
終了すると元の入力画面に戻ります。



2 イメージを中止する場合は、スクロールの途中で
を押します。



MEMO

- ☆スクロールを一時停止するには  を押し続けます。
- ☆スクロールを速めるには  を押し、スクロールを遅くするには  を押します。
- ☆入力文字がない状態で  を押すと「作成文書なし」とエラーを表示し、イメージ表示しません。

7-2 印刷範囲(部数、開始/終了ブロック)を指定する

入力した文字の印刷範囲を指定して印刷します。

1  を押します。

印刷範囲(部数、開始/終了ブロック)を指定する必要がない場合は、1~4を省略し  を押して印刷全長補正画面に進んでください。

2 数字を直接入力するか、  で印刷する部数を設定します。

部数は1~30まで設定できます。

部数を指定する必要がない場合は、 を押して次の項目に移ってください。

【印刷範囲】	
部数	: 1
開始ブロック	: 1
終了ブロック	: 1 2

3  で「開始ブロック」を選び、数字を直接入力するか、  で番号を指定します。

開始ブロックを指定する必要がない場合は、 を押して次の項目に移ってください。

【印刷範囲】	
部数	: 1
開始ブロック	: 1
終了ブロック	: 1 2

4  で「終了ブロック」を選び、数字を直接入力するか、  で番号を指定します。

終了ブロックを指定する必要がない場合は、 を押してください。

【印刷範囲】	
部数	: 1
開始ブロック	: 1
終了ブロック	: 1 2

5  を押して、印刷全長補正画面に進みます。



チューブの場合は、印刷設定画面に進みます。



MEMO

☆ピッチ印刷をしない場合( を削除した場合) は、 を押すとすぐに印刷を開始します。

☆デバイスラベル(MAXラベル、一般ラベル)は部数設定ができません。

7-3 180°回転印刷をする(チューブのみ)

それぞれの印刷データに対し180°回転したものを対で複製し印刷します。



前ページ「7-2印刷範囲(部数、開始/ブロック)を設定する」に続き、「180°印刷」を設定します。

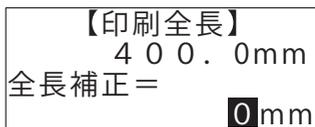
1   で180°回転を選択し、 を

押します。

現在の設定が表示されます。



2 印刷全長補正画面に進みます。



3 180°回転したものが対になって印刷されます。

MEMO

☆ 180°回転したものは自動で複製されます。(2倍の数量で印刷されます)
予め連続印刷回数を2に設定している場合は(初期値2回)連続印刷数を1に設定してお使い
ください。



7-4 印刷物全体の長さを補正する

実際の印刷長さとして設定した長さに差がある場合、印刷物全体の長さを補正して印刷することができます。実際の印刷長さとして設定した長さとの「差」を補正值として入力します。

設定範囲：

実際の印刷長さが設定した長さより「短い」場合：プラス補正值 ～印刷全長の5% (0.1mm単位)

実際の印刷長さが設定した長さより「長い」場合：マイナス補正值 ～印刷個数×0.3mm (0.1mm単位)

初期値：0mm

MEMO

☆本機は、実際の印刷長さとして設定した長さに差が生じないように出荷時に調整を行っておりますが、より精度の高い印刷を行うためには、お客様のご使用環境、ご使用の印刷物で補正をお願いいたします。

7-2 「印刷範囲（部数、開始 / 終了ブロック）を設定する」に続き、全長補正值を設定します。

印刷全長を補正する必要がない場合は、補正值の設定を省略し、 を押して印刷を開始してください。

1   で補正值を設定します。

設定例：実際の印刷長さが設定した長さより2mm短い

→補正值=+2.0mm

実際の印刷長さが設定した長さより1.5mm長い

→補正值=-1.5mm

【印刷全長】
400.0mm
全長補正 =
+1.0mm

2  を押して、印刷を開始します。

MEMO

☆同一種類の印刷物（チューブ⇄チューブ、テープ⇄テープ）間であれば、印刷全体に変更があった場合でも、長さに応じて補正值を自動で調整します。印刷物の種類を変更（チューブ⇄テープ、テープ⇄記名板）した場合、設定した補正值はリセットされます。

7-5 ピッチ印刷ではない印刷方法(印字長モード)

各ブロックをピッチ長に割り当てて連続印刷する「ピッチ印刷」ではなく、設定した長さの中にすべてのブロックを印刷します。主にテープ印刷で、下記のような印刷が可能です。

印刷イメージ



入カイメージ



複数のブロックを1つの印字長の中に印刷できます。

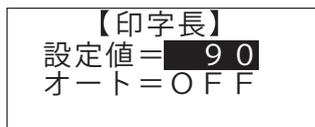
1 先頭の **P** にカーソルを合わせて、 を押します。

P が削除されます。

2  +  を押します。

3   でオートを「OFF」にし、 で「設定値」に移り、印字長を入力して  を押します。

設定できる範囲は10～300mmです。



4 余白の「左」に値を入力して  で「右」に移り、値を入力して  を押します。

設定できる範囲は左右とも2～30mmです。



MEMO

- ☆ピッチ印刷時（先頭に **P** がある場合）には、この操作は無効です。
- ☆印字長の設定値が 65mm 以下の場合に「合計○○ mm 以下で入力」と表示されます。
指示にしたがって左右余白の値を入力してください。「○○ mm」には、設定した印字長 -6 の値が表示されます。
- ☆印刷後、設定した印字長でハーフカットします。（一般チューブのφ 8、記名板は点線を印刷）
- ☆印字長モードは部数印刷できません。

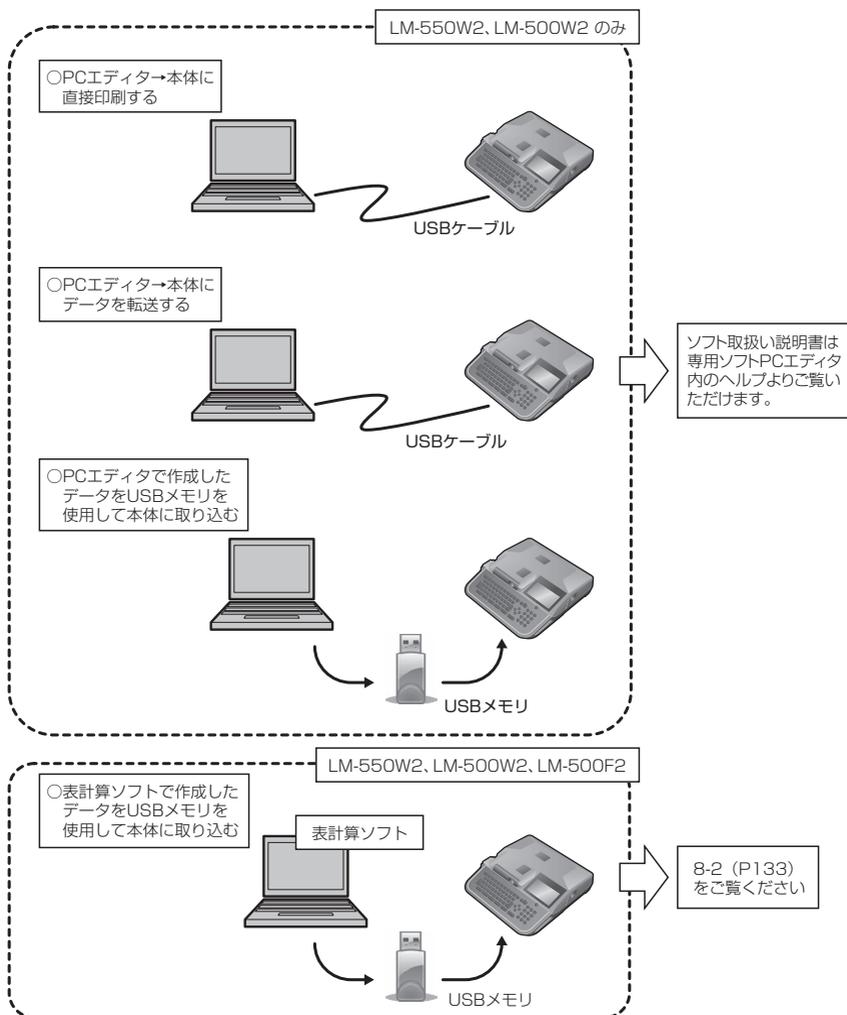
第 8 章 パソコンで作成した データを活用する

8-1 パソコンで作成したデータの活用方法.....	132
8-2 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む	133

第8章 パソコンで作成したデータを活用する

8-1 パソコンで作成したデータの活用方法

パソコンで作成したデータの活用方法には、以下の4種類があります。
専用ソフト「レタツインPCエディタ」のインストールについては、P23をご参照ください。



8-2 表計算ソフトで作成したデータを本体に取り込む

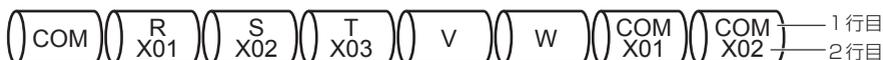
Excel等の表計算ソフトで作成したCSV形式のファイルを、USBメモリを使用して本機に取り込みます。LM-550W2、LM-500W2、LM-500F2で可能です。

<ご注意>

- ・本機能にはUSBメモリが必要です。
- ・表計算ソフトで文字を入力する際は、以下の入力ルールに基づき入力してください。

CSV ファイル	A列	B列	C列	D列	E列 以降
印刷ブロック	1 行目	2 行目	3 行目	4 行目	無効

CSVファイルのA列に入力した文字が印刷ブロックの1行目、B列に入力した文字が印刷ブロックの2行目になります。



1 行目	2 行目	3 行目	4 行目		
A	B	C	D	E	F
COM					
R	X01				
S	X02				
T	X03				
V					
W					
COM	X01				
COM	X02				

1 本機での操作

インクリボンと印刷物をセットし、電源をONにします。

2 パソコンでの操作

Excel等の表計算ソフトを起動し、必要なデータを入力します。

※ExcelはMicrosoft社の登録商標です。

3 パソコンでの操作

「ファイル」－「名前を付けて保存」を選び、「保存先」でUSBメモリを指定します。このときUSBメモリ内に任意のフォルダを作成してください。

4 パソコンでの操作

「ファイルの種類」から「CSV (カンマ区切り) (*csv)」を選び、作成したフォルダ内に名前を付けて保存します。

5 パソコンでの操作

所定の操作でUSBメモリをパソコンから取り外します。

6 本機での操作

本体側面のUSBポートにUSBメモリを挿入します。



7 パソコンでの操作

外部メモリ呼出操作にしたがって、保存したファイルを呼び出します。

➔ 117 ページ

MEMO 

- ☆セキュリティ機能のある USB メモリは使用できません。
- ☆ USB メモリのルートに直接 CSV ファイルを保存すると本機で読み込むことができません。必ずフォルダを作成し、フォルダの中に保存をしてください。
- ☆フォルダ名とファイル名は、半角英数字 8 文字以内にしてください。8 文字を超えると本機で正常に読み込むことができない場合があります。
- ☆所定の操作をせずに USB メモリを取り外すとデータを壊す場合があるのでご注意ください。

第 9 章 お手入れのしかた

9-1 プラテンローラをクリーニングする.....	136
9-2 プリンタヘッドをクリーニングする.....	137

第9章 お手入れのしかた

9-1 プラテンローラをクリーニングする

快適にお使いいただくため、本機の定期的なお手入れをお願いいたします。
次のような症状が見られたら、お手入れの時期です。ご使用頻度やご使用の環境により異なりますが、1ヶ月に1回以上のお手入れが目安です。

<症状>

- ・印刷したチューブの長さが設定値より2mm以上短い。
- ・文字がチューブやテープの左側に寄って印刷される。

<原因>

チューブの汚れやホコリがプラテンローラに付着し、チューブやテープの送りに影響しています。

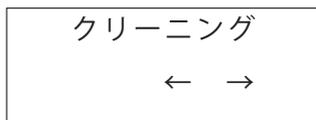
<準備いただくもの>

- ・水に濡らしかたく絞った布、またはアルコールを付けた柔らかい布
(糸くずが出やすい布は使用しないでください)

<お手入れのしかた>

1  を押しながら電源をONにします。

クリーニングモードが起動します。

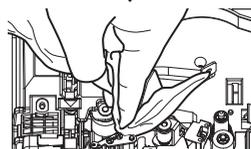
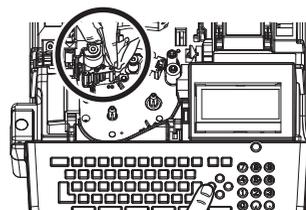


2 カセットカバーを開け、 の位置に布を押しあてながら  (または ) を押します。

 : 押している間、プラテンローラが送り方向に正転します。

 : 押している間、プラテンローラが戻し方向に逆転します。

ローラの表面の白い汚れがとれたらクリーニング終了です。



3 電源をOFFにしてください。

注意



クリーニング中は、指や髪の毛が巻き込まれケガをするおそれがあります。
作業は十分注意して行ってください。

9-2 プリンタヘッドをクリーニングする

<症状>

- ・印刷した文字に白く細い横スジが入る。

<原因>

チューブの汚れやホコリがプリンタヘッドに付着し、インクリボンの転写に影響しています。

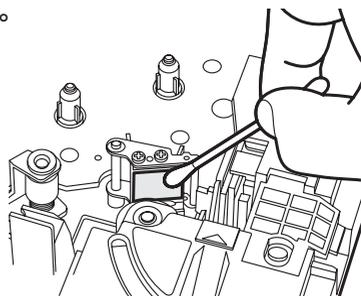
<準備するもの>

- ・アルコールを浸した綿棒（IPA：イソプロピルアルコールが適しています）
※乾拭きでも効果はありますが、アルコールを使用するとさらに効果的です。

<お手入れのしかた>

1 電源をOFFにした状態でカセットカバーを開けます。

2 図に示すプリンタヘッド部を綿棒で丁寧に拭きます。



お願い

- ☆プリンタのクリーニングは、必ず電源をOFFにして行ってください。
- ☆プリンタヘッドに指で直接触れないでください。故障の原因となります。
- ☆ローラクリーニング、ヘッドクリーニングをしても症状が改善しない場合は、第10章のトラブルシューティングをご参照ください。

第10章 **トラブルシューティング**

10-1 エラーメッセージ一覧.....	140
10-2 こんなときは.....	144

第10章 トラブルシューティング

10-1 エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	内容	対応	参照ページ
文字数オーバー	入力文書の文字数が制限の5000文字を超えています。	5000文字を超える入力ではできません。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	P.111
行数オーバー	入力文書の行数が4行を超えています。	最大入力行数は4行です。余分な改行マークを削除してください。	P.70
ブロックオーバー	入力文書のブロック数が999を超えています。	入力できるブロック数は最大999ブロックまでです。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	P.111
入力位置エラー	先頭の P の位置で文字入力や改ブロックをしようとしています。または P と B の間で改行しようとしています。	先頭の P の位置では文字入力や改ブロックはできません。また、 P と B の間で改行はできません。カーソルを移動して入力してください。	-
ブロック内に3個	1ブロック内で4個の連番を設定しました。	連番は1ブロックにつき3つまで設定できます。	P.83
文書内45個まで	ピッチ印刷モード時に46個以上の連番を設定しようとしています。	ピッチ印刷モード時、連番は入力文書全体で45個までです。	P.83
 数オーバー	複製/貼付機能を使った時に、文書全体の連番設定数が45個を超えました。	ピッチ印刷モード時、連番は入力文書全体で45個までです。	P.83
印字長時 1 個まで	印字長モード時に2個以上の連番を設定しようとしています。	印字長モード時、連番は入力文書全体で1個までです。メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	P.83
他の P から削除	複数の P がある時に、先頭の P を削除しようとしています。	入力文書中に複数の P マークが存在する場合は先頭の P マークは削除できません。次ブロックジャンプ () を用いて2つ目以降の P マークを見つけて削除してください。先頭以外の P がなくなった状態でのみ、先頭の P が削除できます。	P.84
文頭でのみ設定可	印字長モード時に文頭以外でピッチ設定を行ないました。	印字長モード(= P の無い状態)からピッチ印刷モード(=先頭に P がある状態)へ移行するには、文頭位置にカーソルをあわせてピッチ長設定をしてください。	P.84
ラベル時は設定不可	印刷物でラベルを設定しているときに、ピッチ長設定を行ないました。	印刷物でラベルを設定しているときは、ピッチ長の設定はできません。	P.84
P 数オーバー	入力文書中で999箇所を超えるピッチ長設定 (P の挿入)を行ないました。	ピッチ長設定(= P)は、同一文書に999個まで入力できます。超える分は、メモリ機能を利用するなどして、分割して入・出力してください。	P.84
ピッチ長変更なし	新たに設定したピッチ長が直前のピッチ設定と同じでした。	直前のピッチとピッチ長が同じ場合は、新たにピッチ長を設定する必要はありません。	P.84

エラーメッセージ	内容	対応	参照ページ
複写データなし	文書を複写せずに貼付け操作をしました。	複写で一時保存したメモリは電源 OFF/ON でクリアされます。再度複写操作してください。	P.68
複写容量オーバー	ブロック内の文字が 51 文字を超えるブロックを複写しました。	文字数が 51 文字を超えているブロックは複写できません。	P.68
複写文字なし	ブロック内に文字がないブロックを複写しました。	入力文字の無いブロックは複写できません。	P.68
範囲内奇数なし	設定した連番範囲内に奇数がありません。	開始 / 終了の値を再設定するか、「すべて」を選択してください。	P.83
範囲内偶数なし	設定した連番範囲内に偶数がありません。	開始 / 終了の値を再設定するか、「すべて」を選択してください。	P.83
全文削除後に有効	作成中の文書がある状態で設定値初期化操作を行いました。	設定初期化機能は入力文書が無い状態のみ有効です。全文削除 ( + ) してから設定初期化操作を行ってください。	P.72 P.73
電池残量不足	電池の残量がありません。	充分電池残量のある eneloop スタンダードモデル (BK-3MCC) をセットして再度印刷を実行してください。	P.22
印刷高さオーバー	文字高さの設定が印字物の高さ方向に対しオーバーしています。	エラーメッセージ表示後、該当する文字へカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 【ピッチ印刷モードの場合】 [テープ / 記名板] [横書]：行間を減らす / 文字サイズを小さくする / 行数を減らす [縦書]：文字間を減らす / 文字サイズを小さくする / 文字幅を減らす / 文字数を減らす [チューブ] [横書]：行間を減らす / 文字サイズを小さくする / 行数を減らす [縦書]：行間を減らす / 文字サイズを小さくする / 行数を減らす 【印字長モードの場合】 [テープ / 記名板] [横書]：行間を減らす / サイズを小さくする / 行数を減らす [縦書]：行間を減らす / サイズを小さくする / 行数を減らす [チューブ] [横書]：行間を減らす / サイズを小さくする / 行数を減らす [縦書]：行間を減らす / サイズを小さくする / 行数を減らす	P.76 P.78 P.79
保存ファイル無し	本体メモリに保存ファイルがありません。	“6-11-1 本体ファイルに文書を保存する”を参照し、文書を保存してからファイル呼出・削除を行ってください。	P.111

エラーメッセージ	内容	対応	参照ページ
ピッチ長オーバー	いずれかのブロックで入力文字がピッチ長をオーバーしています。	エラーメッセージ表示後、該当する文字へカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 【テープ / 記名板】 【横書】：文字間を減らす / サイズを小さくする / ピッチ長を広げる / 文字幅を減らす / 文字数を減らす 【縦書】：行間を減らす / サイズを小さくする / ピッチ長を広げる / 行数を減らす 【チューブ】 【横書】：文字間を減らす / サイズを小さくする / ピッチ長を広げる / 文字幅を減らす / 文字数を減らす 【縦書】：文字間を減らす / サイズを小さくする / ピッチ長を広げる / 文字幅を減らす / 文字数を減らす	P.76 P.78 P.79 P.84
印字長オーバー	文字が設定印字長をオーバーしています。(オート設定時は300mm超の時)	エラーメッセージ表示後、該当する文字へカーソルがジャンプしています。該当箇所を以下のいずれかの方法で修正してください。 左右余白を減らす / 文字間を減らす / サイズを小さくする / 文字幅を減らす / 印字長を伸ばす / 文字数を減らす	P.76 P.78 P.79 P.128
全長オーバー	最大印刷長さを超えています。	一度に印刷できるのは、チューブの場合：最長100m、テープの場合：最長5mです。 【ピッチ印刷モード】 印刷範囲設定にて複数回に分割して印刷してください。 【印字長モード】 連続/連番の枚数を減らして印刷してください。	P.81 P.83 P.125
部数印刷オーバー	入力された部数を印刷すると、最大部数印刷全長を越えてしまいます。	一度に印刷できる最大部数印刷全長は、チューブの場合：最長100m、テープ/記名板の場合：最長7mです。部数を減らして印刷してください。	P.125
印字物なし	印字物がセットされていません。	印字物をセットして印刷してください。	P.27 P.32 P.34 P.36
インクリボンなし	(1) インクリボンがありません。 (2) インクリボンがたるんでいます。 (3) 印刷物の詰まりなどで印刷物が正常に送れません。	(1) 新しいインクリボンに交換してください。 (2) インクリボンの緑色のコアが動くまで黒色の巻き取りコアを回転させてタルミを取ってください。 (3) 印刷物をセットし直してください。	P.26
カバーの開放中	印刷途中でカバーが開きました。	カバーを閉めてください。開けた状態では印刷できません。	—

エラーメッセージ	内容	対応	参照ページ
ヘッド温度異常	(1) 印刷時にヘッドの温度が異常に上昇しました。 (2) ヘッド温度が正常に検知できません。	修理が必要です。最寄の弊社サービス拠点までお問合せください。	—
カッター異常	ハーフカットが正常に行なえませんでした。	①空送り( + )した後、再度印刷してください。 ②ハーフカッターを交換してください。 ③低温下(おおむね 15℃以下)では、充電電池での使用はできません。 AC アダプタで使用してください。	P.22 P.38
USB メモリ識別不可	USB メモリ内のデータに正常アクセスできません。	①本機では、セキュリティ機能付きの USB メモリは使用できません。セキュリティ機能の無いタイプをご使用ください。 ②今までご使用できていた場合は、USB メモリ内のフォーマットが壊れていることが想定されます。この場合、PC 上でフォーマットし直してください。ただし、保存されていたメモリは失われます。	—
USB メモリなし	(1) USB メモリをセットせずに外部メモリ機能を実行しました。 (2) セットした後、USB メモリの取り出し機能を使用してオフライン状態になっています。	USB メモリをセットしなおしてください。 ※ USB メモリ取り出し操作後に、キー操作で再度使用可能な状態にすることはできません。一度、USB メモリを取り外し、再度セットしてください。	P.39
容量オーバー	USB メモリ書き込み時に、USB メモリの容量をオーバーしました。	不要なファイルを削除するなどしてから、保存しなおしてください。	—
このファイルは読み込めません。	読み込もうとした USB メモリ内ファイルの内部形式が異なります。	再度、レタツイン用 PC エディタにてファイルを作成後、呼び出してください。	P.117
読み取り専用ファイルです。	(1) USB メモリ内の読み取り専用属性ファイルに書き保存しようとした。 (2) USB メモリ内の読み取り専用属性ファイルを削除しようとした。	USB メモリ内の読み取り専用属性ファイルを上書き / 削除することはできません。PC 上でファイルのプロパティを開き、読み取り専用属性をはずしてください。	—
印刷を実行する前に印字物のセットを行ってください。	PC ダイレクト印刷を選択して PC 通信モードに入るときに、印字媒体が本体にセットされていませんでした。	印刷する PC ファイル設定に即した印字物を本体にセットしてください。	P.27 P.32 P.34 P.36
【PC 通信】データエラー	PC 通信モードで PC から受信したデータが異常です。	本機では専用 PC アプリ以外からは受信できません。  を押して受信を中止し、再度専用 PC アプリから USB 接続を確認の上、印刷してください。	—
【PC 通信】コマンドエラー	PC 通信モードで PC から受信したコマンドが異常です。	本機では専用 PC アプリ以外からは受信できません。  を押して受信を中止し、再度専用 PC アプリから USB 接続を確認の上、印刷してください。	—

10-2 こんなときは

現象	確認事項	対処方法
電源が入らない	電源コードは正しくコンセントや AC アダプタに接続されていますか？	正しく接続してください。
	専用 AC アダプタまたは eneloop スタンダードモデル (BK-3MCC) を使用していますか？	AC アダプタを正しく接続するか、電池残量のある eneloop スタンダードモデル (BK-3MCC) を使用してください。
表示が暗い	バックライト調整が「暗い」になっています。	本書 106 ページにしたがって設定値を変更してください。
	画面表示濃度調整が適正ではありません。	本書 105 ページにしたがって設定値を変更してください。
印字しない	カセットカバーが閉まっていますか？	カセットカバーを閉じてください。
チューブに正常に印字できない ・印字位置がずれる (上下) ・印字位置がずれる (左右) ・チューブが設定より短い ・印字がかすれる	チューブは正しくセットされていますか？	本書 27 ページにしたがってチューブを正しくセットしてください。
	チューブがリールなどに絡まっていますか？	チューブが軽く (200gf 程度) 引き出せるようにしてください。
	チューブに油やゴミなどが付着していませんか？	油やゴミのついたものは使用できません。特に油は拭いても使えない場合があります。新しいきれいなチューブをセットしてください。
	チューブがねじれてセットされていませんか？	ねじれを直して再度セットしてください。
	チューブ径の設定とセットしたチューブ径は合っていますか？	チューブ径の設定が異なると、正しい印字位置に印刷しません。セットしたチューブ径に設定を合わせてください。
	上下印字位置設定が適正ではありません。	上下印字位置設定はチューブとの適しによって変わることがあります。上下印字位置設定を適切にセットしてください。
	カット位置調整が適正ではありません。	ハーフカット位置を適正にセットしなおしてください。
	室温が 15℃ を下回っていませんか？	LM-550W2、LM-500W2：本書 90 ページにしたがってチューブウォーマーをご使用ください。 LM-500F2：本書 95 ページにしたがって印字速度を低速に設定してください。改善しない場合は、15℃以上の室温を確保できる場所でご使用ください。

現象	確認事項	対処方法
チューブに正常に印字できない	送りローラやプリンタヘッドが汚れていませんか?	本書 136、137 ページにしたがってクリーニングをしてください。
	チューブのカスが機械内部につまっていますか?	つまっているカスを取り除いてください。
	アタッチメントは正しくセットされていますか?	本書 29、30 ページにしたがって、アタッチメントを正しくセットしてください。
チューブが出てこない	チューブが出口付近でつまっていますか?	本書 136 ページにしたがって、クリーニングモードを起動し、プラテンローラを逆回転させてください。
テープカセットがセットできない	切り替えレバーの位置がチューブの位置になっています。	本書 32 ページにしたがって、テープカセットの位置にしてからセットしてください。
テープに印字できない	テープカセットが正しくセットされていますか?	テープカセットをきちんと底面まで押し込んでください。
テープに正常に印字できない ・印字位置がずれる	テープ幅の設定は、セットしたテープと合っていますか?	セットしたテープカセットの幅と同じ幅を設定してください。
	15℃以下や 35℃以上の使用環境になっていませんか?	15℃以上 35℃未満の室内でご使用ください。
	チューブやテープのカスが機械内部にたまっていませんか?	チューブやテープのカスを取り除いてから再度印字してください。
テープが設定より短くなる	送りローラが汚れていませんか?	本書 136 ページにしたがって送りローラをクリーニングしてください。
記名板に正常に印字できない	記名板用アタッチメントは正しくセットされていますか?	本書 35 ページにしたがって、アタッチメントを正しくセットしてください。
	記名板用アタッチメントは幅 8.0/8.5/9.5/10.0mm 用、幅 10.7/12.0mm 用を正しく使用していますか?	本書 35 ページにしたがって、アタッチメントを正しくセットしてください。
	リングアタッチメントは正しくセットされていますか?	本書 34 ページにしたがって、アタッチメントを正しくセットしてください。
ハーフカットできない	ハーフカットユニットが正しく取り付けられていますか?	本書 38 ページにしたがって、ハーフカットユニットを正しく取り付けてください。

現象	確認事項	対処方法
ハーフカット動作はするが、跡がつくだけで切れない	刃が古くなっていませんか？	ハーフカッタ寿命は 5000 カットが目安です。新しいハーフカッタユニットに交換してください。(品番: LM-HC340)
	ハーフカッタの深さ調整レバーが適切にセットされていますか？	本書 38 ページにしたがって、ハーフカット深さ調整レバーを正しく調整してください。
ハーフカットが切れすぎてしまう	ハーフカッタの深さ調整レバーが適切にセットされていますか？	本書 38 ページにしたがって、ハーフカット深さ調整レバーを正しく調整してください。気温やチューブ適性によって切れ方が変わる場合があります。
手動のフルカットができない (切れない)	チューブやテープのカスが機械内部にたまっていませんか？	チューブやテープのカスを取り除いてください。
	刃が古くなっていませんか？	カッタ寿命は 30,000 カットが目安です。新しいカッタユニットに交換してください。(お預かり修理となります。)

付 録

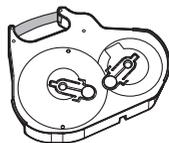
付録-1	消耗品・オプション品一覧	148
付録-2	製品仕様	150
付録-3	ローマ字入力規則表	151
付録-4	JISコード一覧表	152
付録-5	記号類一覧表	179

付 録

付録 -1 消耗品・オプション品一覧

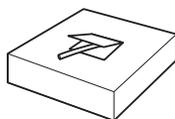
【インクリボンカセット】

- 黒：LM-IR500B (110m巻)
黒：LM-IR500BP (110m巻、熱収縮・非塩ビチューブ用)
白：LM-IR500W (70m巻、熱収縮・非塩ビチューブ用)



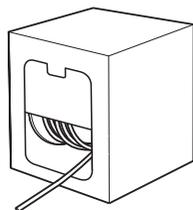
【丸チューブ】

- 内径φ3.2mm：LM-TU332N2 (100m巻、UL224適合)
内径φ3.6mm：LM-TU336N2 (100m巻、UL224適合)
内径φ4.2mm：LM-TU342N2 (80m巻、UL224適合)
内径φ5.2mm：LM-TU352N2 (80m巻、UL224適合)



【ドラム式丸チューブ】

- 内径φ2.5mm：LM-TU425L2 (250m巻)
内径φ2.7mm：LM-TU427L2 (250m巻)
内径φ3.2mm：LM-TU432L2 (250m巻)
内径φ3.4mm：LM-TU434L2 (250m巻)
内径φ3.6mm：LM-TU436L2 (250m巻)
内径φ4.2mm：LM-TU442L (200m巻)
内径φ5.2mm：LM-TU452L (135m巻)
内径φ6.4mm：LM-TU464L (100m巻)
内径φ8.0mm：LM-TU480L (70m巻)

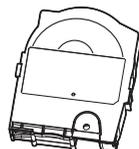


【グリップチューブ】

- 内径φ2.9mm：LM-TU29G (100m巻)
内径φ3.7mm：LM-TU37G (100m巻)

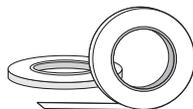
【テープカセット】

- | | 白 (16m巻) | 黄色 (8m巻) | 透明 (8m巻) |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 5mm幅 | LM-TP505W | LM-TP505Y | LM-TP505T |
| 9mm幅 | LM-TP509W | LM-TP509Y | LM-TP509T |
| 12mm幅 | LM-TP512W | LM-TP512Y | |



【記名板】

- 8.5mm幅：LM-KM485 (25m巻×5巻入り、0.5mm厚)
9.5mm幅：LM-KM495 (25m巻×5巻入り、0.5mm厚)
10.0mm幅：LM-KM410 (25m巻×5巻入り、0.5mm厚)
10.7mm幅：LM-KM4107 (25m巻×1巻入り、0.5mm厚)

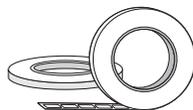


【デバイスラベル】

6 × 17mm : LM-DL617N (1300枚/巻 × 2巻入り)

6 × 20mm : LM-DL620N (1100枚/巻 × 2巻入り)

6 × 23mm : LM-DL623N (1000枚/巻 × 2巻入り)



【ハーフカッタ】

LM-HC340 (2個入り、黄色)



【キャリングケース】

LM-BG500

※LM-550W2、LM-500W2
には付属していません。



【レタツインPCエディタ】

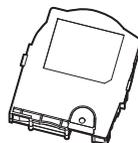
1-9 PCエディタのダウンロード参照

※LM-500F2では使用できません。

【デバイスラベル用アタッチメント】

LM-LA500

※LM-550W2専用



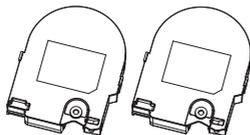
【記名板用アタッチメント】

※LM-550W2専用

・ 8.0/8.5/9.5/10.0mm用×1、

・ 10.7/12.0mm用×1

※部品扱いとなります。



【リングアタッチメント】

※φ8チューブ、記名板印刷時に使用

φ2.9、φ3.7 マックスグリップチューブに使用

※部品扱いとなります。

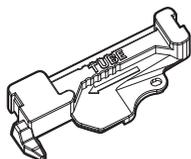


【細径チューブ用アタッチメント】

※部品扱いとなります。

※φ1.5、φ2.0塩ビチューブ、

φ2.9、φ3.7 マックスグリップチューブに使用



付録 -2 製品仕様

機種名	LM-550W2	LM-500W2	LM-500F2
入力方法	英数字 / ローマ字 / かなめくり方式 / かな入力		
最大入力文字数	最大 5,000 文字 (999 ブロック)		
漢字変換	文節漢字変換、単漢字変換、JIS コード入力		
辞書機能	約 50,000 語		
文字種類	JIS 第一水準、第二水準、その他 JIS 準拠 (かな・カナ・英数字等)		
書体	マックスオリジナル書体 / 太字書体 / 明快書体 / 正方形書体		
文字サイズ (高さ)	1.3/2/3/4/6mm 英数字、一部の記号のみ 2.4mm も選択可		
表示部	バックライト付きグラフィックLCD(64×160dot モノクロ)		
印字方式	熱転写方式 (300dpi)		
印字速度	40mm/秒 (チューブ作成個数: 52 個 / 分 φ 3.2 チューブ 20mm ピッチ、7 文字印刷時)		
最大印字長さ (1 部印刷時)	チューブ 100m、テープ 5m、記名板 5m、デバイスラベル 1m		
使用可能チューブ	塩ビチューブ (内径φ 1.5 ~ φ 8.0)、熱収縮チューブ (内径φ 2.0 ~ φ 6.4)		
使用可能テープ	専用テープカセット 5/9/12mm 幅		
記名板	8/8.5/9.5/10/10.7/12.0mm (0.5mm厚・塩ビ製) アタッチメント同梱	—	—
デバイスラベル	幅 5 ~ 10mm、長さ 7.3 ~ 40mm、ラベル間隔 0 ~ 10mm アタッチメント別売	—	—
チューブ切断方法	ハーフカット: 自動 フルカット: 手動		
本体メモリ	最大 50 ファイル、5,000 文字 / ファイル		
外部メモリ	USB メモリ		
電源	専用 AC アダプタ または eneloop スタンダード (単 3 形×4 本)		
インターフェース	USB (タイプ A) × 1、USB (タイプ B) × 1		USB (タイプ A) × 1
レタツイン PC エディタ	使用可	使用可	—
チューブウォーマー	内蔵	内蔵	—
動作環境条件	温度: 5 ~ 35℃ (5 ~ 15℃はチューブウォーマー使用時) 湿度: 20 ~ 80% (結露なきこと) ※グリップチューブは 10 ~ 15℃でウォーマー使用		温度: 15 ~ 35℃ 湿度: 20 ~ 80% (結露なきこと)
外形寸法	約 W295 × D293 × H94 (mm)		
質量	約 2,400g (AC アダプタ、消耗品、付属品除く)		約 2,300g (AC アダプタ、消耗品、付属品除く)
付属品	インクリボン (LM-IR500B)、AC アダプタ、電源コード、細径チューブアタッチメント、リングアタッチメント、取扱説明書兼保証書、キャリングケース、記名板アタッチメント、お客様登録カード	インクリボン (LM-IR500B)、AC アダプタ、電源コード、細径チューブアタッチメント、リングアタッチメント、取扱説明書兼保証書、キャリングケース、お客様登録カード	インクリボン (LM-IR500B)、AC アダプタ、電源コード、細径チューブアタッチメント、リングアタッチメント、取扱説明書兼保証書、お客様登録カード

※eneloopはパナソニックグループの登録商標です。

付録 -3 ローマ字入力規則表

あ a	い i yi	う u uu	え e	お o	にや nya	にい nyi	にゆ nyu	にえ nye	によ nyo
か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co	ひや hya	ひい hyi	ひゆ hyu	ひえ hye	ひよ hyo
さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so	みや mya	みい myi	みゆ myu	みえ mye	みよ myo
た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to	りや rya	りい ryi	りゆ ryu	りえ rye	りよ ryo
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	ぎや gya	ぎい gyi	ぎゆ gyu	ぎえ gye	ぎよ gyo
は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho	じや zya jya ja	じい zyi nyi jyi	じゆ zyu jyu ju	じえ zye jye je	じよ zyo jyo jo
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	ぢや dya	ぢい dyi	ぢゆ dyu	ぢえ dye	ぢよ dyo
や ya		ゆ yu		よ yo	でや dha	でい dhi	でゆ dhu	でえ dhe	でよ dho
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	びや bya	びい byi	びゆ byu	びえ bye	びよ byo
わ wa	ゐ wi		ゑ we	を wo	ぴや pya	ぴい pyi	ぴゆ pyu	ぴえ pye	ぴよ pyo
ん n					うあ wha	うい whi		うえ whe	うお who
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	くあ kwa qa	くい kwi qi	くう kwu	くえ kwe qe	くお kwo qo
ざ za	じ zi ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	つあ tsa	つい tsi		つえ tse	つお tso
だ da	ぢい di	づ du	で de	ど do	ふあ fwa fa	ふい fwi fi	ふう fwu	ふえ fwe fe	ふお fwo fo
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	ヴあ va	ヴい vi vvi	ヴ vu	ヴえ ve vye	ヴお vo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ヴゃ vya		ヴゅ vyu		ヴょ vyo
きゃ kya	きい kyi	きゆ kyu	きえ kye	きよ kyo	あ la	い li	う lu	え le	お lo
しゃ sha	しい syi shu	しゆ syu	しえ sye she	しよ syo sho	や lya xya		ゆ lyu xyu		よ lyo xyo
ちゃ tya cya cha	ちい tyi cyi chu	ちゆ tyu cyu	ちえ tye cye che	ちよ tyo cyo cho		わ lwa xwa		つ ltu xtu	
てや tha	てい thi	てゆ thu	てえ the	てよ tho		か lka xka		け lke xke	

付録 -4 JIS コード一覧表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
記号	2120	—	、	。	、	、	・	∴	∴	∴	?	!	*	。	、	、	、	
	2130	^	—	—	、	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	全	々	々	々	〇	—	—	—	/
	2140	\	~			…	…	‘	’	“	”	()	[]	[]	
	2150			<	>	<	>	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×	
	2160	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥	
	2170	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇		
	2220	◆	□	■		△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=		
	2230											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	
	2240	U	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∇	
	2250	∃												∠	⊥	∩	∅	
2260	∇	≡	≐	<	>	√	∞	∞	∴	f	ff							
2270			À	%	#	b	♪	†	‡	¶							○	
英数字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
	2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
	2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						
ひらがな	2420		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	
	2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	げ	そ	ぞ	た	
	2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	
	2450	ば	ば	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	り	ほ	ほ	ぼ	ま	み	
	2460	む	め	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	
	2470	ゐ	ゑ	を	ん													
カタカナ	2520	ァ	ア	イ		イ	ウ	ウ	エ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	
	2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゲ	ソ	ゾ	タ	
	2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	
	2550	バ	バ	ヒ	ビ	ビ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	リ	ホ	ボ	ボ	マ	ミ	
	2560	ム	メ	モ	ャ	ャ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	
	2570	ヰ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

付録

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ア	3020		亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
	3030	旭	葦	芦	鯨	梓	庄	翰	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
イ	3040											以	伊	位	依	偉	困
	3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	3060	萎	衣	謂	遠	遣	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	忝	溢	逸
	3070 3120	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
ウ	3120							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷄	窺	丑
	3130	確	白	渦	嘘	唄	蔚	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	3140	雲															
エ	3140		荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閔	榎	厭	円
	3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	3170	艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩									
オ	3170								於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
	3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	萩	億
	3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音				
カ	3230													下	化	仮	何
	3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
	3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	幼
	3330	外	咳	害	崖	概	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
	3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	擴	攪	格	核	殼	獲	確	穫
	3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	顎	掛	笠	壑
3360	櫃	梶	鯨	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(カ)	3370	叶	枇	樺	鞞	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	啣	鴨	栢	茅	萱	姦
	3420	粥	刈	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	歎
	3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎
	3440	汗	漢	澗	淮	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	3450	莞	覲	諫	貫	還	鑑	間	閑	閔	陷	韓	館	缶	翰	肝	艦
	3460	巖	玩	癌	眼	岩	甌	賈	雁	頊	頊	頊	頊	頊	頊	頊	頊
キ	3460											企		伎	危	喜	器
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	起
	3520		機	婦	穀	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	疑
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	杵
	3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橋	詰	砧	救
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	居
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	強
	3620		供	俠	僑	兕	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	喬	峽	鄉
	3630	彊	怯	恐	恭	扶	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	玉	興	薈	僅
	3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	晚	業	局	曲	極	芹	桐	秆	襟
	3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禽							
3660	謹	近	金	吟	銀												
ク	3660					九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駮	
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	君	
	3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	糸	栗	線	桑	鍬	勳		
	3730	薰	訓	群	軍	郡											
ケ	3730						卦	袂	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	
	3740	契	形	徑	惠	慶	慧	袂	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	
	3750	經	繼	繫	罍	荊	荊	蚩	詣	警	輕	頸	溪	芸	迎	件	
	3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	決	潔	穴	結	血	訣	月	遣	
	3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	軒	
	3820		檢	權	牽	犬	獻	研	絹	臍	肩	見	謙	賢	軒	絃	
	3830	鍵	險	顛	驗	鯁	元	原	幻	弦	減	源	玄	現			
3840	言	諺	限														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
コ	3840				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	嗣
	3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉞	礪	鋼	閣	降
	3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
	3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	迫	混	
	3A20		此	頃	今	困	坤	墜	婚	恨	懇	昏	昆	根	棍		
3A30	紺	艮	魂														
サ	3A30				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A40	娑	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在
	3A60	材	罪	財	冚	坂	阪	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	筴	册	刷	
	3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	筴	鯖	皿	晒
	3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚕	讚	贊
	3B40	酸	餐	斬	暫	殘											
シ	3B40					仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	
	3B50	姉	姿	子	屍	市	師	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
	3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	志	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
	3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時		
	3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	
	3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	
	3C40	疾	質	実	蔀	篠	悃	柴	屢	蕊	編	舍	写	射	捨	赦	
	3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	
	3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
	3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	授	樹	綬	需	囚	取	周		
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	菟		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
	3D40	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妄	娼	宵	將	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常
	3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
	3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞							
ス	3F50										箭	諏	須	酢	囃	厨	
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	隨	
	3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	梶	菅	頰	雀	裾	
	4020		澄	摺	寸												
セ	4020					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	4040	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	惜	威	斥	昔	析
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
	4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	4070	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	4120		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲								
ソ	4130									噌	塑	咀	措	曾	曾	楚	
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	阻	遡	鼠	僧	創	
	4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	搜	掃	挿	搔	
	4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	槽	綜	綜	聰	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
(ソ)	4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎		
	4220	屬	賊	族	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	
	4230				統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜			
夕	4230															他	多	
	4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	梢	陀	馱	驛	体	堆	
	4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸	
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	只	
	4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	楓	蛸	樽	誰	
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	綻	耽	
	4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箏			
	4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談				
子	4340													值	知	地		
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
	4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
	4370	註	耐	鑄	駐	梲	溺	猪	苧	著	貯	丁	兆	涸	喋	龍	眇	
	4420		帖	帳	疔	弔	張	彫	苒	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	
	4430	聽	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捺	直	肤	
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳												
ツ	4440						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	掴	
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鏢	椿	潰	坪	壺	嬢	紬	爪	吊	
	4460	釣	鶴															
テ	4460			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	
	4470	梯	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	哲	
	4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	適	鏞	濁	
	4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	貼	軛	
	4540	点	伝	殿	澱	田	電											
ト	4540							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	
	4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
	4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟	
	4570	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	4620	董	蕩	藤		討	騰	豆	踏	逃	透	錠	陶	頭	騰	鬪	働
	4630	動	同	堂	導	討	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴝	匱
	4640	得	徳	洗	特	督	禿	篤	毒	独	読	柄	橡	凸	突	椽	届
	4650	薦	苦	寅	酉	瀨	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
ナ	4660	奈	那	内	乍	凧	癩	謎	灘	捺	鍋	植	馴	繩	啜	南	楠
	4670	軟	難	汝													
ニ	4670			二		尼	弑	迤	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認								
又	4720									濡							
ネ	4720									襦	祢	寧		葱	猫	熱	年
	4730	念	捻	燃	燃	粘											
ノ	4730					乃	迺	之		埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
	4740	農	規	蚤													
ハ	4740				巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	4750	俳	糜	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	4760	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博	拍
	4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	
	4820		函	箱	筥	箸	肇	筥	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	澆	発
	4830	醜	髮	伐	罰	拔	筏	閤	鳩	嘶	搞	蛤	隼	伴	判	半	反
	4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻						
ヒ	4850												匪	卑	否	妃	庇
	4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4870	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微	枇	毘	毘	眉	美	
	4920		鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	膝	肘	彌	必	畢	筆	逼
	4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
	4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀨	貧
4950	寶	類	敏	瓶													
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950					不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	墳
	4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	
	4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	霧	文	聞						
へ	4A30					閉	陛	米	頁			丙	併	兵	塀	幣	平
	4A40	弊	柄	並	蔽	編	辺	返	遍	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	筧
	4A50	偏	変	片	篇					便	勉	婉	弁	鞭			
ホ	4A50														保	舖	舖
	4A60	團	捕	歩	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	芳	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	鋒
	4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	坊	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	貿	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	勃	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
マ	4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚		哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	4B70	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	繭	磨	万	慢	滿	
	4C20		漫	蔓													
ミ	4C20				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	糞	稔	脈	妙
	4C30	耗	民	眠													
ム	4C30				務	夢	牟	矛	霧	鵠	掠	婿	娘				
メ	4C30													冥	名	命	
	4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵		
モ	4C40															摸	模
	4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	空	勿	餅
	4C60	尤	戾	初	賁	問	悶	紋	門	匆							
ヤ	4C60										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C70	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪	鍵					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C70												愉	愈	油	癒	
	4D20		論	輸	唯	佑	優	勇	友	有	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
ヨ	4D30														予	余	与
	4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
	4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
	4D60	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4D60						羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽								
リ	4D70									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E20	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	莅	李	掠	略	劉	流	溜
	4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
	4E40	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E50	綠	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
ル	4E50													溜	墨	淚	累
	4E60	類															
レ	4E60		令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	札	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F20		連	連	鍊												
ロ	4F20					呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
	4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	壘	蠟	郎	六	麓	廊	弄	朗
	4F40	論													脇	肋	録
ワ	4F40		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	鷺	互	亘	鰐	訛	藁	蔽
	4F50	椀	湾	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
一	5020	式	丐	丕														
丨	5020					个	卯											
丶	5020							、	井									
丿	5020									丿	乂	乖	乘					
乙	5020													亂				
丿	5020 5030	舒												丿	豫	事		
二	5030	式	子	亞		亟												
一	5030					一	亢	京		毫	亶							
人	5030											从	仍	仄	仆	仂	仗	
	5040	仞	仞	仞	价	伉	侏	估	佛	佻	佗	佇	佶	侈	侏	佗	佻	
	5050	佩	佰	侑	伴	來	侖	儘	倪	佻	俎	俘	俛	侑	俚	侖	侑	
	5060	俚	倚	倨	偃	倪	侏	倅	倅	俚	倡	倩	倅	俚	俯	們	倆	
	5070	偃	假	會	偕	修	偈	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅
	5120 5130	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼	儼
儿	5130									儿	兀	兒		兌	兔	兢	競	
入	5140	兩	兪															

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	5140	兮 冀															
冂	5140				冂 冂 册 冉				冂 冂 冂 冂								
冂	5140												冂 冂 冂 冂				
	5150	冂 冂															
冂	5150	冂 冂			冂 冂 冂 冂				冂 冂 冂 冂								
几	5150												几 几 几 几				
	5160	几															
凵	5160	凵 凵															
刀	5160	刃 刃			刃 刃 刃 刃				刃 刃 刃 刃				刃 刃 刃 刃				
	5170	刃 刃 刃 刃			刃 刃 刃 刃				刃 刃 刃 刃				刃 刃 刃 刃				
	5220	刃															
力	5220	勐 勐			勐 勐 勐 勐				勐 勐 勐 勐				勐 勐 勐 勐				
	5230	勐															
勹	5230	勹 勹 勹			勹 勹 勹 勹												
匕	5230								匕								
匚	5230								匚 匚 匚				匚 匚				
匚	5230												匚 匚				
十	5240	十 卅 卅 卅			十 卅												
卜	5240				卜												

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
冂	5240								冂	卮	邛	卻	卷					
凵	5240 5250													凵	彪	厠	厦	
厶	5250			厶		參	纂											
又	5250							雙	叟		曼	變						
口	5250												叮	叨	叭	叭	吁	卮
	5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	盼	吝	呖	咏	呵	咎	叭	咳	呱	呷	咎
	5270	咒	呻	咀	嗽	咄	咐	咆	哇	罟	咸	啞	咬	哄	哈	咨		
	5320		咫	晒	屹	佬	尙	忻	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哂	
	5330	啞	喱	唧	啞	售	啜	啖	啖	昭	唸	唸	啣	喙	咯	咯	喊	
	5340	喟	啞	啞	喘	唧	單	啞	喃	喻	喇	唸	鳴	嗅	嗟	啞	嗜	
	5350	啞	噴	嘔	嗽	噴	噓	嗽	嘛	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	
	5360 5370	噫	噤	嘯	噬	噪	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙
囗	5370 5420									囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	囗	
土	5420													圪	圪	圪	圪	圪
	5430	坩	垂	堡	坡	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	圪	埃	坩	坩	坩
	5440	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	圪	毀	埭	埭	埭
	5450	墅	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	埭	圪	墟	埭	埭	埭
	5460	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
士	5460			壯		壺	壺	壺	壺	壽								
夕	5460									夕								
攴	5460											攴	攴					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	5460													夕	夕	夕	
大	5460																大
	5470	天	本	夸	夾	音	奕	奘	奎	奚	奘	奢	奠	奧	獎	奩	
女	5520	奸	妁	妝		佞	佞	妣	姐	姆	姨	姜	妍	妊	姚	娥	娟
	5530	娑	娜	娉	娉	婀	姪	婉	姍	娶	婢	婪	媚	媪	媯	媯	媯
	5540	媽	媽	媪	媪	嫩	嫵	嫵	嫵	嬌	嬋	嬋	嬋	嫩	嬋	嬋	嬋
	5550	孃	孃	孃													
子	5550			子		孕	孕	字	孛	孩	孰	孛	解	學	孛	孛	
宀	5550																宀
	5560	它	宦	宸	寃	寇	霍	寃	寐	寤	實	寢	寢	寥	寫	寢	寶
	5570	寶															
寸	5570	尅	將	專	對												
小	5570					尔	尪										
尢	5570							尢	尢								
尸	5570									尸	尹	屁		屈	屎	肩	
	5620	屣	屣	屣		屬											
屮	5620					屮											
山	5620							屮	另	屹	岌	岑	岔	岌	岫	岫	岫
	5630	岬	岬	岬	岬	峇	峙	峇	峇	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷	岷
	5640	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
	5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
ㄩ	5650																ㄩ

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	5660	巫															
巳	5660	巳 卮															
巾	5660	帟			帟 帙 帙 帛				帶 帷 幄 幃				幘 幘 幘 幘				
	5670	幘 幘 幣 帟															
干	5670				干 并												
幺	5670				幺 麼												
广	5670								广 庠 廂 廂				厦 廐 廐				
	5720	廖 廣 廝			厨 廛 廢 廛				廐 廛 廛 廛				廳 廳				
廴	5720												廴 廴				
井	5730	井 弃 井 井			井												
弋	5730				弋 弋												
弓	5730				弓				弩 弭 弭 弭				彈 彌 彎 弯				
彳	5740	彳 彳 彳 彳															
彳	5740				彳 彭												
彳	5740				彳 徬				徬 徬 徬 徬				徬 徬 徬 徬				
	5750	徬 徬 徬 徬			徬 徬												
心	5750				忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				
	5760	忖 忖 忖 忖			忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				
	5770	忖 忖 忖 忖			忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				忖 忖 忖 忖				
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
(心)	5820	悄	梭	悖	惋	悒	悃	悝	惡	悻	惠	倦	悴	悴	悽	惆		
	5830	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
	5840	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
	5850	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
	5860	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
	5870	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	
戈	5870									戈	戊	戌		戊	戔	戛		
	5920	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛									
戸	5920									扁								
手	5920									扎	扞	扣		扞	扞	扞	扞	
	5930	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
	5940	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
	5950	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
	5960	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
	5970	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
	5A20	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	
5A30	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞		
支	5A30														支	攴	攴	
	5A40	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	攴	
斗	5A40																斛	
	5A50	斛																
斤	5A50	斤	斤															
方	5A50			旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃						
无	5A50											无	无	无				
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
日	5A50													旱	皐	昊	
	5A60	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	昷	晝	晝	晝	晝
	5A70	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝
	5B20																
日	5B20									日	日	日	日				
月	5B20													肫	肫	肫	肫
	5B30	肫	肫														
木	5B30			朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B40	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B50	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B60	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5B70	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C20	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C30	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C40	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C50	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C60	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5C70	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
	5D20	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
5D30	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	
欠	5D30									欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
	5D40	欠	欠	欠	欠	欠											
止	5D40					止											
歹	5D40					歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹	歹
	5D50	歹	歹	歹	歹	歹											
攴	5D50					攴	攴	攴	攴	攴							

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
母	5D50									母 毓								
毛	5D50									毛				毳 毫 毳 毳				
	5D60	麤 毳																
氏	5D60	氏																
气	5D60	气				氣 氫 氣												
水	5D60									汞				汕 泚 汪 沂 沔 沚 沁 沛				
	5D70	汾	汨	汜	沒	沐	泄	決	泓	汨	汨	汨	汨	沚	沮	沱	沽	
	5E20		泗	泛	汎	汨	洩	洩	衍	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5E30	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5E40	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5E50	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5E60	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5E70	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5F20	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5F30	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
	5F40	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩
5F50	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	洩	
火	5F50					炙 炒 炯				炯 炬 炸 炳				炮 烟 休 烝				
	5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙
	5F70	煨	熨	熬	爛	熹	熾	燒	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉
	6020	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉	燉
爪	6020					爭				爬 爰 爲								
爻	6020									爻				俎				
月	6020													月 牀 牆				
	6030	牀 牘																

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
牛	6030			抵	牯	犁	犁	犇	犒	犖	犘	犙					
犬	6030											犹		豺	狙	狎	狄
	6040	狎	狒	貉	狼	狡	狹	狷	倏	猗	猗	猜	狙	猝	猴	獮	猩
	6050	猥	猾	獾	獾	默	獬	獯	獨	獯	默	獮	獻	獮			
玉	6050													珈	玳	玳	
	6060	玻	珀	珥	珮	珞	璠	琅	琊	琥	琚	琲	珉	瑕	璵	瑟	璠
	6070	瑁	瑤	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	瑛	
瓜	6120		瓠	瓣													
瓦	6120				灶	甦	瓮	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
	6130	甌	甌	甌													
甘	6130			管													
生	6130				甦												
用	6130				甦												
田	6130						𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳	𦉳
	6140	畧	畫	畧	畧	當	疆	疇	疇	疊	疊	疊					
病	6140											疔		疾	疝	疥	疣
	6150	痲	疖	痲	疝	疽	疽	疼	疱	癩	痊	痒	瘡	疔	疔	痲	痿
	6160	痲	瘡	痲	痺	癩	癩	癩	瘍	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6170	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
	6220			癩													
𦉳	6220		𦉳	癩	發												
白	6220					皂	兒	飯		皐	皎	皖	皓	皙	皚		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
皮	6220														皸 皹			
	6230	鞞 鞞 鞞																
皿	6230	盂				盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂
目	6230													矚 矚 矚				
	6240	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇
	6250	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇
	6260	矚	矚															
矛	6260	矚																
矢	6260	矚																
石	6260					矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚
	6270	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚
	6320	矚 矚 矚 矚				矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚	矚
示	6320														祀			
	6330	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
禺	6330														禺	禺		
禾	6330														秉 秣 秣 秣			
	6340	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
	6350	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣	秣
穴	6350					穹 穹				窈 窈 窈 窈				窈 窈 窈 窈				
	6360	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
立	6360														竝 竝 竝 竝			
	6370	竝 竝 竝																
竹	6370	笱				笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
	6420	笱 笱 笱				笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(竹)	6430	筭	筭	籊	筭	筭	筭	筭	筭	筭	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊
	6440	筭	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊
	6450	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊
	6460	籊	籊														
米	6460		杵	枇		秬	粵	稂	粳	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬
	6470	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬
糸	6470													紵	紵	紵	紵
	6520	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6530	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6540	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6550	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
	6560	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵	紵
缶	6570													缸	缸		
	6620		罇	罇	罇	罇	罇										
网	6620							网	罕	罔	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟
	6630	罟	罟	罟	罟	罟											
羊	6630					羌	羔	羴		羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
	6640	羴	羴														
羽	6640		翅	翠		翊	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕	翕
老	6640														耆	耆	耆
耒	6650	耒	耒	耒	耒	耒	耒										
耳	6650							耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聒	聒	聒
	6660	聒	聒	聒	聒	聒	聒										
聿	6660							聿	聿	聿	聿	聿					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
肉	6660											肛	育	肚	納	胃	肱
	6670	胛	胥	胙	胠	青	胚	胛	脉	胯	肱	脛	脩	脣	脯	腋	
	6720		隋	腴	脾	腓	腑	胛	腿	腮	脛	腦	腴	膾	膈	膊	膀
	6730	膂	膠	膈	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑	膑
	6740	臉	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍				
臣	6740											臍					
至	6740											臺	臻				
白	6740													臍	臍	臍	臍
	6750	與	舊														
舌	6750			舍	舐	舖											
舟	6750					舩	舩	舩		舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
	6760	舩	舩	舩	舩	舩											
艮	6760					艮											
色	6760					艷											
艸	6760								艸	艾	芍	芒	芫	芫	芫	芫	芫
	6770	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫	芫
	6820		茵	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	6830	我	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅	荅
	6840	萱	董	崑	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽	菽
	6850	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢	莢
	6860	葯	施	高	翁	蓋	兼	高	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯	葯
	6870	莠	蔡	宿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔕	蔕	蔕	蔕	蔕	蔕	蔕	蔕	蔕
	6920		蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁	蕁
	6930	薛	預	蓄	菴	藉	齊	藏	臺	貌							
	6940	蘋	蘋	蘭	蘆	蘆	蘆	蘆	蘆								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
虍	6940									虍	虍	虍	虍	虍			
虫	6940																虱
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠋	虻	蚶	蛞	蛞	蛞
	6960	蛟	蛛	蛭	蛭	蜆	蜈	蜀	蟹	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞
	6970	蝮	蜻	蜥	蜥	蜆	蝠	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟	蝟
	6A20		蟪	游	蟪	蠅	螢	螟	螂	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
	6A30	螳	墓	蟆	螻	螻	蟲	蟠	蠍	蠍	蟾	螳	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻
	6A40	蠕	蟲	蟲	蟲	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶
血	6A40									衄	衄						
行	6A40										衞	衞		衞	衞		
衣	6A40																衫
	6A50	衾	袂	袂	衾	衾	衾	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6A60	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6A70	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
	6B20																袂
雨	6B20									雨	雨	雨	雨				
見	6B20																覓
	6B30	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓								覓
角	6B30									觚	觚	觚	觚	觚	觚		
言	6B30																訖
	6B40	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
	6B50	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
	6B60	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
	6B70	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
	6C20																訖

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
谷	6C20																衍 豁
	6C30	谿															
豆	6C30		豈	豌	豎	豐											
豕	6C30					豕	豨	豨	豨								
豸	6C30									豸	豺	貂	貉	貅	貉	狸	貌
	6C40	貔	貔	貔													
貝	6C40				賤	質	貪	貽	貲	貳	貳	貳	賈	賈	賤	賈	賈
	6C50	賽	賺	賻	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄
赤	6C50																赧
	6C60	赭															
走	6C60	走	走	走	走	走											
足	6C60					跂	趾	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖
	6C70	跟	跖	跖	跖	跟	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖	跖
	6D20		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
	6D30	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
身	6D30												躬	軀	體	躰	躰
	6D40	軀	軀														
車	6D40			軛	軛	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
	6D50	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
	6D60	輿	輿	輿													
辛	6D60			辛	辟	辣	辭	辯									
辶	6D60									辶	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
	6D70	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
	6E20		迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
	6E30	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E30								邨	邨	邱	邵	郢	郤	扈	郚	鄂
	6E40	鄒	鄒	鄒	鄰												
酉	6E40					酏	酏	醞	醞	酥	醕	醕	醞	醋	醉	醢	醢
	6E50	醫	醞	醞	醞	醞	醞	醞	費								
采	6E50									秬	釋						
里	6E50													釐			
金	6E50												釳	釳	釳	釳	釳
	6E60	釳	鉞	鉞	鉞	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔
	6E70	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔
	6F20					鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹
	6F30	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹
	6F40	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹
	6F50	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹	鏹
門	6F50									門	閑	閑		閑	閑	閑	閑
	6F60	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑
	6F70	閑	閑	閑	閑												
阜	6F70					阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡
	7020		陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
隶	7030	隶	隶														
隹	7030		隹	隹		隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹				
雨	7030												電	電	電	電	電
	7040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
青	7050	靜															
非	7050		非														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	7050	皃 靦				靨											
革	7050					勒 鞞 鞞				鞞 鞞 鞞 鞞				鞞 鞞 鞞 鞞			
	7060	鞞 鞞 鞞 鞞				鞞 鞞 鞞 鞞				鞞 鞞							
韋	7060									韋 韋							
韭	7060													韭 韭 韭			
音	7060													竟			
	7070	詔 韻															
頁	7070	頤 頤				頤 頤 頤 頤				頤 頤 頤 頤				頤 頤 頤			
	7120	頤 頤 頤															
風	7120					颯 颯 颯 颯				颯 颯 颯							
食	7120									飩				飩 飩 飩 飩			
	7130	餽 餽 餽 餽				餽 餽 餽 餽				餽 餽 餽 餽				餽 餽 餽 餽			
	7140	餽 餽 餽 餽															
首	7140					馘 馘											
香	7140					馥											
馬	7140					馭				馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭			
	7150	馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭			
	7160	馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭				馭 馭 馭 馭			
骨	7160													骸 骸 骸 骸			
	7170	骸 骸 骸 骸															
高	7170					禱											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髟	7170					髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
	7220		髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟								
鬥	7220									鬥	鬥	鬥	鬥	鬥	鬥		
鬯	7220																鬯
鬲	7220																鬲
鬼	7230	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼	鬼								
魚	7230								魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
	7240	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
	7250	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
	7260	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴
鳥	7260											鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7270	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7320	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7330	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	7340	鳧	鳧	鳧													
鹵	7340			鹵	鹵	鹵											
鹿	7340					鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿	鹿		
麦	7340																麦
	7350		麦	麦	麦												麦
麻	7350				麻												
黄	7350					黄											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黍	7350					黎	黏	糳									
黒	7350									黔	黜	黠	黝	黠	黠	黠	黠
	7360	黠	黠	黠													
黼	7360			黼		黼	黼										
黽	7360					黽	黽	黽									
鼓	7360									鼓	黠						
鼠	7360											鼠	黠				
鼻	7360													鼻			
齊	7360														齊		
齒	7360																齒
	7370	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒				
龍	7370													龍			
龜	7370													龜			
龠	7370														龠		
その他漢字	7420		堯	楨	遙	瑤	凜	熙									

付録 -5 記号類一覽表

項目	記号										項目	記号										
数字	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	上付文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		-	+	()	a	b	c	x	y	z		
	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13		α	β	γ								
	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23		下付文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33			-	+	()	a	b	c	x	y	z	
	'34	'35	'36	'37	'38	'39	'40						α	β	γ							
英字丸囲い	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	電設①	♂	♂	⊥	☎	☎	☎	☎	☎	☎	☎	
	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x		⊙	⊗	⊗	⊙	⊙	⊙	⊗	⊙	⊙	⊙	
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)		⊙	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)		⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
単位	mm	cm	km	mm ²	cm ²	m ²	km ²	ha	mm ³	cm ³	電設②	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕					
	m ³	cc	mℓ	dℓ	ℓ	mg	kg	Å	°C	°K		⊙	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
	caℓ	mV	kV	mA	ns	μs	ms	mW	kW	VA		⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
	Ω	kΩ	Pf	nF	μF	Hz	kHz	MHz	GHz	dB		⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
事務記号	No.	KK	TEL	FAX	(株)	(有)	(代)				筆記体	α	β	c	d	e	f	g	h	i	j	
												k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	
												u	v	w	x	y	z					
ギリシャ文字											電設③	⊙	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
												⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
												⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
												⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
												⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	
										ギリシャ文字	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K		
											Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ		
											Φ	X	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ		
											η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π		
											ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω				

付録

ご不明な点は下記へお問合せください

<https://wis.max-ltd.co.jp/op>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**（土日・祝日・当社指定休日を除く）

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

支店・営業所

札幌、仙台、東京、静岡、名古屋、大阪、四国、広島、福岡

修理に関するお問合せは

マックスエンジニアリングサービス株式会社

※最新の連絡先についてはマックスホームページよりご確認ください。

東日本／東京サービスステーション

〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-19

西日本／大阪サービスステーション

〒553-0014 大阪府大阪市西区北堀江3-9-10

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

修理代替機貸出サービス

修理・メンテナンスでお客様の商品をお預かりしている期間中、ご希望のお客様に修理代替機を有償にてお貸し出しするサービスです。修理期間中、仕事や作業でLETATWINをご利用になりたいお客様におすすめです。

●詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_rental.html

見積レス修理

お客様の修理品をお預かりするにあたり、よりスピーディーにお客様の修理対応を行う為に「見積レス修理」のご承諾をお願いしております。「見積レス修理」は、お客様のご承諾の下、修理内容が「基準修理金額」以下の場合に、見積提示をせず直ぐに修理対応を行うサービスです。

●詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_estimate.html